

版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.56 / Ver.2.55

目次

※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
	ヤマト運輸(2017年)の送り状に対応	2
	【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】	
	[在庫順位表]メニューで「在庫数量のあるもの」だけを集計する設定を追加	
B	証憑を関連付ける伝票を検索できる機能を追加	2
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
	【オプションの機能アップ内容】	
	引当機能を強化	3
	<『入出荷管理オプション』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで 利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

● ヤマト運輸(2017年)の送り状に対応

ヤマト運輸の送り状が順次切り替わっています。

今回より、[随時処理]-[送り状印刷]メニューの送り状フォームで「0009:ヤマト運輸(2017 年)」が選択できるようになります。

※[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューにも、[送り状座標登録 - 複写元データ選 択]画面の「テンプレートデータ」に「[ORG]ヤマト運輸(2017年)」が追加されています。

蔵奉行V ERPの機能アップ内容

● [在庫順位表]メニューで「在庫数量のあるもの」だけを集計する設定を追加 今までは、[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニューは、「在庫管理する商品すべて」 が集計の対象でした。

今回より、「在庫数量のあるもの」だけを集計できるようになりました。 在庫がない商品を集計する必要がない場合に、「在庫数量のあるもの」だけを集計できま

[詳細設定]ページの集計対象で設定します。

【録 ● 証憑を関連付ける伝票を検索できる機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー・[仕入管理]-[支払処理]-[支払 伝票証憑一括添付]メニューで、証憑を関連付ける伝票を目視ではすぐに見つけられないと きに、証憑上の取引先の名称や金額で検索できるようになりました。

集計結果画面で検索を押すと検索できます。

● 引当機能を強化

<『入出荷管理オプション』をお使いの場合>

- 引当処理について、以下の①~④の内容が強化されました。
- ①引当処理が済んでいない受注明細と生産予定明細を合わせて一括で引当処理したり、引当状況 を確認できるようになりました。

受注と生産、共通で使う商品がある場合は、まとめて引当できるので便利です。

≪ 新メニュー ≫

- ・[在庫管理]-[受注・部品引当処理]-[受注・部品在庫引当]メニュー
- ・[在庫管理]-[受注・部品引当処理]-[受注・部品引当状況確認]メニュー
- ②引当処理が済んでいない生産予定明細に、一括で引当処理できるようになりました。 今までは、[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー、[在庫管理]-[構成品処理]-[部品引当処理]-[部品引当状況確認]メニューで個別に引当処理していました。 今回より、自動的に一括で引当処理できるようになります。

≪ 新メニュー ≫

- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[部品引当処理]-[部品在庫引当]メニュー
- ③[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー、[在庫管理]-[構成品処理]-[部品引当処理]-[部品引当状況確認]メニューで優先的に引当処理を行う生産予定明細を指定できるようになりました。

[在庫管理]-[構成品処理]-[部品引当処理]-[部品在庫引当]メニュー、[在庫管理]-[受注・部品引当処理]-[受注・部品在庫引当]メニューでは、優先指定されている生産予定明細から順に引当処理が行われます。

- ④[販売管理]-[引当処理]-[引当状況確認]メニュー、[在庫管理]-[構成品処理]-[部品引当処理]-[部品引当状況確認]メニューに、①の新メニューと同等の以下の機能が追加されました。
 - ・並び順で「商品別〇〇順」が指定できるようになりました。 在庫が不足していて一括で在庫を引き当てできない商品があった場合などに、商品ごと に引当状況を確認・調整しやすくなりました。
 - ・出力項目に「引当可能数量」が追加されました。 引当の数量を確認して調整できます。
 - ・受注伝票・生産予定にジャンプできるようになりました。 結果画面に表示される受注明細・生産予定明細を選択して、該当の受注伝票・生産予定 にジャンプできます。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.54 / Ver.2.53

目次

※ 「マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行∨ ERPの機能アップ内容】	
	契約書を「契約期間(終了)」で検索できるように変更	2
	【蔵奉行∨ ERPの機能アップ内容】	
B	電子証憑を仕入伝票・支払伝票に関連付けできる機能を追加	3
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで 利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERPの機能アップ内容

契約書を「契約期間(終了)」で検索できるように変更 契約書を「契約期間(終了)」で検索できるようになりました。 指定した期間内に契約期間が終了する契約書を検索できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[随時処理]-[データー括削除]-[販売データー括削除]-[契約書データー括削除]メニュ
- ・[随時処理]-[承認処理]-[契約書承認]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー

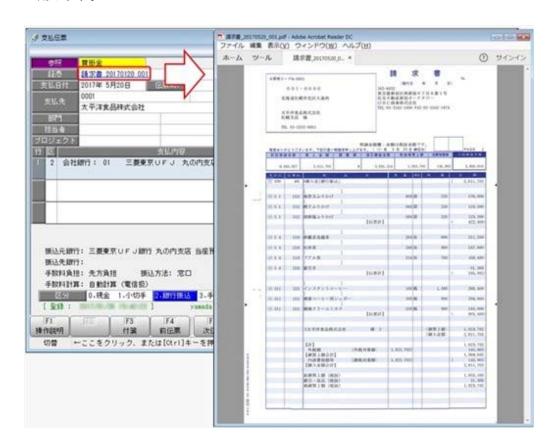


■電子証憑を仕入伝票・支払伝票に関連付けできる機能を追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

受領した納品書・請求書などを「紙」ではなく「電子データ」で保存し、仕入伝票([仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー)・支払伝票([仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー)に関連付けできるようになりました。

関連付けることで、伝票の検索から電子証憑の追跡ができるため、証憑確認などの業務の煩雑さを軽減できます。

- 〇[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの電子証憑設定を設定すると、仕入伝票・支払伝票に証憑を関連付けできるようになります。
- 〇伝票を登録してから証憑を一括で関連付ける場合は、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票 証憑一括添付]メニュー・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニューを使 用します。





版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.52

※【*マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利 用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERPの機能アップ内容

≪販売管理≫-



[ি禄 ● OMSSの業務サービス「日本郵便Webレター向け請求書ファイル出力」を用意 <「OMSS」」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

「OMSS」にご加入いただいているお客様向けに、「日本郵便Webレター向け請求書フ ァイル出力」を新たにご用意しました。

当システムの[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューから、日本郵便の「Webレ ター」サービス向けに、請求書の内容をファイルで出力します。

(※以下、日本郵便の「Webレター」は、「Webレター」と記載します。)

出力したファイルを日本郵便のホームページにアップロードすると、お客さまに代わって日 本郵便が請求書を印刷・封入封かん・発送します。

請求書の作業負担を軽減でき、また人件費などのトータルコストも下げることができます。

※当システムから出力したファイルを日本郵便のホームページにアップロードし、請求書の 印刷・封入封かん・発送を行えるサービスは、2016年11月以降に行える予定です。

参考

- 〇詳細は、操作説明の「「Webレター」向けに請求書のファイルを出力する」をご参照く ださい。
- ○「Webレター」の詳細は、以下のサイトをご参照ください。 http://www.post.japanpost.jp/service/web/file cooperation.html
- ○「OMSS」の詳細については、以下のサイトをご参照ください。 http://www.obc.co.ip/click/omss/
- ◉ [請求書再発行]メニューに請求書の内容を再転送する機能を追加 <「OMSS」にご加入の場合>

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで請求内容をファイルに転送した後に、フ ァイルを誤って削除した場合など、ファイルの転送だけをやり直す場合の手順が変更されま した。

今までは、[販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニューで請求締を取り消し、再度[請求 書発行]メニューを実行する必要がありました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「請求情報の保護」にチェッ クが付いている場合は、[販売管理]−[請求締処理]−[請求書再発行]メニューで行えるように なりました。

これまでより少ない手順で再転送できます。

※請求内容の金額が変わるなど、ファイルの転送だけでなく、請求締をやりなおす必要があ る場合は、今までと同様の手順で行います。

請求書の請求先欄に得意先情報を出力する場合に、得意先情報として得意先コード・ 得意先名だけを出力する設定を追加

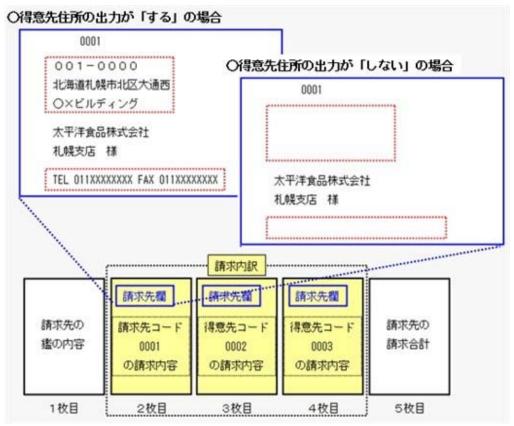
今までは、複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合に、請求書を得意先ごとに改ページして、請求先欄に得意先情報を出力すると、得意先コード・得意先名の他に得意 先住所などの情報も出力されていました。

今回より、得意先住所などの情報を出力するか選択できるようになりました。

得意先コードと得意先名があれば、どの得意先の請求データか分かるため、住所などの情報を出力する必要がない場合に、[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページ・[合計請求書]ページの「得意先住所の出力」で「しない」を選択します。 得意先住所の出力で「しない」を選択すると、以下の得意先情報が出力されなくなります。

得意先郵便番号 得意先住所 1 · 2 得意先電話番号 得意先FAX番号

▼例 (明細請求書)



※得意先コード0002、得意先コード0003の請求内訳の請求先欄も同様です。

- ※以下の設定の場合に、請求書の請求先欄に得意先情報を出力できます。
 - 〇明細請求書・伝票請求書の場合
 - ・[請求書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:得意先
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」: する
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの請求先欄内訳情報の出力:する
 - 〇合計請求書の場合
 - ・[請求書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:得意先
- ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[合計請求書]ページの「内訳ごとの出力」:する
- ※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

≪仕入管理≫

● 支払明細書の支払先欄に仕入先情報を出力する場合に、仕入先情報として仕入先コード・仕入先名だけを出力する設定を追加

今までは、複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合に、支払明細書を仕入先ごとに改ページして、支払先欄に仕入先情報を出力すると、仕入先コード・仕入先名の他に 仕入先住所などの情報も出力されていました。

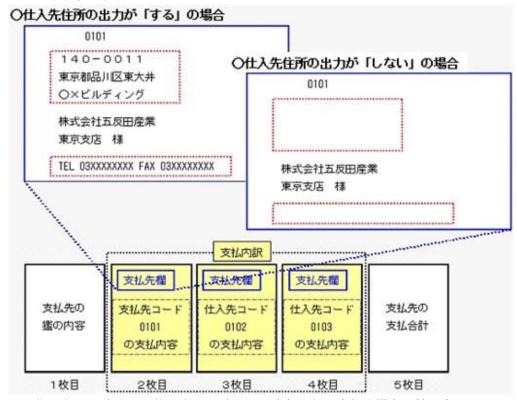
今回より、仕入先住所などの情報を出力するか選択できるようになりました。

仕入先コードと仕入先名があれば、どの仕入先の支払データか分かるため、住所などの情報を出力する必要がない場合に、[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・ 伝票支払明細書]ページ・[合計支払明細書]ページの「仕入先住所の出力」で「しない」を選択します。

仕入先住所の出力で「しない」を選択すると、以下の仕入先情報が出力されなくなります。

仕入先郵便番号	仕入先住所 1・2	仕入先電話番号	仕入先FAX番号
---------	-----------	---------	----------

▼例 (明細支払明細書)



※仕入先コード0102、仕入先コード0103の支払内訳の支払先欄も同様です。

- ※以下の設定の場合に、支払明細書の支払先欄に仕入先情報を出力できます。
 - 〇明細支払明細書・伝票支払明細書の場合
 - ・[支払明細書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:仕入先
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの改ページ」:する
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払先欄内訳情報の出力」: する

〇合計支払明細書の場合

- ・[支払明細書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」: 仕入先
- ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[合計支払明細書]ページの「内訳ごとの出力」: する
- ※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.51

目次

【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
≪伝票≫	
伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付を伝票ごとに設定するように変更	2
伝票の入力時に、誤って[中止]を押したときに確認メッセージを表示するように変更	2
伝票で担当者を検索する際に、指定済みの部門で絞り込む条件を変更	2
≪販売管理・仕入管理≫	
管理資料の印刷機能を強化	2
【商奉行V ERPの機能アップ内容】	
得意先元帳で、売上伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化	3
【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】	
仕入先元帳で、仕入伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化	4

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで 利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪伝票≫−

● 伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付を伝票ごとに設定するように変更

今までは、伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付は、「システム日付」「前回登録日付」のどちらかを伝票共通で設定していました。

今回より、伝票ごとに設定できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「初期日付設定」で設定します。

※これにより、[会社機能設定]メニューの初期表示設定内の「伝票の初期日付」の設定はなくなりました。

毎日登録する売上伝票は「システム日付」、月末にまとめて登録する入金伝票は「前回登録 日付」など、伝票ごとに初期値を設定できて便利です。

● 伝票の入力時に、誤って[中止]を押したときに確認メッセージを表示するように変更

伝票の入力時に、誤って[中止]ファンクションキーを押したときに、入力していた明細が すべてクリアされてしまうのを防ぐため、確認メッセージを表示するようになりました。

● 伝票で担当者を検索する際に、指定済みの部門で絞り込む条件を変更

今までは、伝票で部門が指定済みの場合に、担当者の検索画面を表示すると、必ず指定済みの部門コードが検索条件に追加されていました。

今回より、以下の場合は、指定済みの部門コードが検索条件に追加されなくなりました。

- ・すべての担当者に[導入処理]-[担当者登録]-[担当者登録]メニューの[基本]ページの部門を設定していない場合
- ・部門権限を使用する場合で、担当者に設定されている部門すべてに「〇:許可」の権限が ない場合

担当者に部門を設定せずに運用している場合など、部門で絞り込みしたくない場合に、検索 条件を都度クリアする手間がなくなります。

《販売管理·仕入管理》------

● 管理資料の印刷機能を強化

[印刷設定]ページで設定できる項目が増えます。

○罫線なしで印刷できるようになりました。

罫線を印字するかどうかを選択できるようになりました。

罫線が不要な場合にご利用ください。

〇フォントサイズを変更できるようになりました。フォントサイズを「8~12」から選択できるようになりました。お客様の見やすさに合わせてフォントサイズを調整できます。

商奉行V ERPの機能アップ内容

● 得意先元帳で、売上伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化

〇売上明細の「商品名2~6」を出力できるようになりました。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、 [項目選択...] ボタンをクリックして、「商品名2~6」を選択済項目に設定すると、出力できます。

「商品名2~6」に規格やサイズを入力している場合など、取引内容をチェックする際に、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

〇出力する売上明細の項目を任意に選択できるようになりました。

今までは、出力する売上明細の項目は、「単価」「入数(・入数2)・箱数」「備考」 「表示しない」からいずれか1つを選択していました。

今回より、以下の項目を自由に組み合わせて出力できるようになりました。

組み合わせできる項目			
商品名 2 ~ 6			
箱数	数量	単位	単価

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、[項目選択...] ボタンをクリックして、出力する項目を選択済項目に設定すると、出力できます。

例えば、単価と備考を同時に確認したい場合など、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

〇商品コードを出力するかを選択できるようになりました。

今までは、商品コードは必ず出力されていました。

今回より、出力するかを選択できるようになります。

出力しない場合は、[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの商品コードの出力で「しない」を選択します。

商品コードの出力が不要な場合にご利用ください。

〇応用用紙の印刷時に、各項目の項目幅を変更できるようになりました。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式が「拡張形式」の場合で、応用用紙に印刷する場合に、各項目の項目幅を変更できます。

[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、 [補正値...] ボタンをクリックして表示される[補正値]画面で、項目ごとに補正後の長さを設定します。

例えば、出力項目が多く2枚に分かれてしまう場合に、各項目の余白部分を詰めて1枚に 収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。 ● 仕入先元帳で、仕入伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化

〇仕入明細の「商品名2~6」を出力できるようになりました。

[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの仕入明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、[項目選択...] ボタンをクリックして、「商品名2~6」を選択済項目に設定すると、出力できます。

「商品名2~6」に規格やサイズを入力している場合など、取引内容をチェックする際に、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

〇出力する仕入明細の項目を任意に選択できるようになりました。

今までは、出力する仕入明細の項目は、「単価」「入数(・入数2)・箱数」「備考」 「表示しない」からいずれか1つを選択していました。

今回より、以下の項目を自由に組み合わせて出力できるようになりました。

組み合わせできる項目			
商品名2~6	備考	入数	入数 2
箱数	数量	単位	単価

[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの仕入明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、[項目選択...] ボタンをクリックして、出力する項目を選択済項目に設定すると、出力できます。

例えば、単価と備考を同時に確認したい場合など、都度伝票にジャンプしなくても確認で きるようになるため、便利です。

〇商品コードを出力するかを選択できるようになりました。

今までは、商品コードは必ず出力されていました。

今回より、出力するかを選択できるようになります。

出力しない場合は、[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの商品コードの出力で「しない」を選択します。

商品コードの出力が不要な場合にご利用ください。

〇応用用紙の印刷時に、各項目の項目幅を変更できるようになりました。

[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの仕入明細の出力形式が「拡張形式」の場合で、応用用紙に印刷する場合に、各項目の項目幅を変更できます。

[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、 [補正値...] ボタンをクリックして表示される[補正値]画面で、項目ごとに補正後の長さを設定します。

例えば、出力項目が多く2枚に分かれてしまう場合に、各項目の余白部分を詰めて1枚に 収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.50

【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
≪全般≫	
明細表の出力機能を強化	2
≪データ領域管理≫	
データ領域ごとにパスワードを設定できるメニューを追加	2
≪導入処理≫	
マイナンバー制度(「社会保障・税番号制度」)の導入に伴い、法人番号の入力欄を追加	2
[運用設定]メニューの設定を変更する場合の手順を変更	3
≪販売管理・仕入管理≫	
元帳に「摘要2」「摘要3」を出力する設定を追加	3
FAX送信機能が、リモートデスクトップ環境で「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバ	3
をお使いの場合に対応	
≪オリジナルフォーム≫	
オリジナルフォームの背景画像を設定する際に使用する単位を変更	4

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫-

● 明細表の出力機能を強化

〇集計条件に関わらず、伝票上の「商品名」「商品名 2 ~ 6」を出力できるようになりました。

今までは、「商品別」「商品コード2~5別」で集計した場合などは、伝票入力時に変更した「商品名」「商品名2~6」を明細表に出力できませんでした。

今回より、「商品別」「商品コード2~5別」で集計した場合も、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「伝票の商品名を出力する」にチェックを付けることで、伝票上の「商品名」「商品名2~6」を出力できるようになります。

〇「摘要2」「摘要3」を確認できるようになりました。

伝票の「摘要2」「摘要3」に入力した内容も、明細表で確認できるようになります。 集計条件によって、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「出力項目」または「摘要の出力」で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー

≪データ領域管理≫--

● データ領域ごとにパスワードを設定できるメニューを追加

[データ領域管理]-[データ領域保守]-[データ領域パスワード設定]メニューが追加され、データ領域に対してパスワードを設定できるようになりました。

データ領域を使用する際に、パスワードの入力が必要になります。この機能を使用することにより、簡単にセキュリティを強化できます。

≪導入処理≫-

■ マイナンバー制度(「社会保障・税番号制度」)の導入に伴い、法人番号の入力欄を 追加

平成27年10月から事業主へ法人番号の通知が開始されます。

これに伴い、当システムでは、[導入処理]-[会社情報登録]メニューに「法人番号」の入力欄が追加されました。

● [運用設定]メニューの設定を変更する場合の手順を変更

[導入処理]-[運用設定]メニューの各メニューの設定を変更する場合は、 修正 修正 を押して から設定を変更するように手順が変更されました。

他のメニューを同時に操作したことが原因で設定を変更できない場合に、今までは設定を変更 した後のタイミングでメッセージが表示されたため、再度同じ設定をしなおす必要がありまし た。

今回より、設定を変更する前の<u>修正</u>を押したタイミングでメッセージが表示されるように変更されます。

設定の変更前にメッセージが表示されるため、再度同じ設定をしなおす手間がなくなります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニュー
- ・[導入処理]-[運用設定]-[コード桁数/項目名称設定]メニュー

《販売管理·仕入管理》------

● 元帳に「摘要2」「摘要3」を出力する設定を追加

〇[販売管理]-[得意先元帳]メニューで、売上伝票の「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。

売上伝票の「摘要2」「摘要3」に入力した内容も、得意先元帳で確認できるようになります。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの伝票の表示形式によって、[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「売上伝票の摘要出力」または「売上伝票の出力項目」で設定します。

〇[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、仕入伝票の「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。

仕入伝票の「摘要2」「摘要3」に入力した内容も、仕入先元帳で確認できるようになります。

[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの伝票の表示形式によって、[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「仕入伝票の摘要出力」または「仕入伝票の出力項目」で設定します。

■ FAX送信機能が、リモートデスクトップ環境で「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバをお使いの場合に対応

今までは、リモートデスクトップ環境で運用している場合で、かつ「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバをお使いの場合に、FAX送信機能を使用できませんでした。 今回より、使用できるようになります。

≪オリジナルフォーム≫-----

● オリジナルフォームの背景画像を設定する際に使用する単位を変更

オリジナルフォームの[レイアウト基本設定]-[背景設定]ページの背景画像を設定する際に使用する単位が「pixel (ピクセル)」から「mm(ミリ)」または「inch(インチ)」に変更されました。

※「mm (ミリ)」または「inch (インチ)」は、[レイアウト基本設定]-[基本設定]ページの単位の指定によって決まります。

用紙のサイズや項目の印字位置を設定する際に使用する単位と統一されたため、背景画像の表示位置やサイズを調整しやすくなりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニュー



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.13

※ 「マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
≪全般≫	
商品コード2~5の前ゼロを表示しない設定を追加	
マスター情報や管理資料の印刷機能を強化	
マスターの検索画面に設定した条件を保存し、次回以降も同じ条件で検索できる機能を <『奉行V ERP8』をお使いる	
伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できる設定を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの	の場合>
バックアップデータのファイルサイズが小さくなるように変更(OBC専用モードの場1)
≪販売管理・仕入管理≫	
集計表から明細表へのジャンプ機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの	の場合>
パターン管理できるメニューを追加 <『奉行V ERP8』をお使いる	の場合>
元帳に先頭ページのページ番号を指定する設定を追加	
FAX送信機能が64ビット版(x64)のOSの環境に対応	
≪随時処理≫	
OMSSの業務サービス「請求データ出力」を用意 <「OMSS」にご加入の	の場合>
「預り品受払帳」・[仮出荷受払帳]・[仮入荷受払帳]メニューの出力項目を追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いる	の場合>
≪販売管理・仕入管理≫	
<『奉行V ERP8』の『受発注同時入力オプション』をお使い	の場合>
売上仕入同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 <『奉行V ERP8』の『売上仕入同時入カオプション』をお使いる	の場合>
	の場合>
[FB入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基 メニューの絞込項目を追加	基準]]
<『個別案件管理オプション』をお使い	の場合>
[支払一覧表]メニュー・[支払締取消]メニューの絞込項目を追加	2 TE V
<『個別案件管理オプション』をお使いる	り場合>

≪オリジナルフォーム≫	
納品書に「発注No. (仕入No.)」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」の印字項目 を追加	12
<『奉行V ERP8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合> <『奉行V ERP8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫-

● 商品コード2~5の前ゼロを表示しない設定を追加

商品コード2~5について、前ゼロを表示しないように設定できるようになりました。 [導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「前ゼロ表示設定」で「商品コード2~ 5」のチェックを外すと、数字だけで構成されている商品コード2~5について、前ゼロが表 示されなくなります。

前ゼロを表示しないルールの場合や、前ゼロの表示がない方が見やすい場合に設定します。

【除 ●マスター情報や管理資料の印刷機能を強化

○「A4縦・A4横・B4縦・B4横」の用紙サイズに対応

マスターの情報や管理資料の印刷で用紙サイズを「A4縦・A4横・B4縦・B4横」に変更した場 合に、用紙サイズにあわせて印字位置が自動で調整されるようになりました。

用紙サイズは、各メニューの[印刷等条件設定]画面の[プリンタ設定]ページで変更できま

例えば、印刷の向きを「縦」に変更すると縦方向に印刷できるデータの数が増えるため、印 刷枚数を節約できる場合があります。

〇各項目の項目幅を変更する設定を追加

マスターの情報や管理資料の印刷時に、項目幅を変更できるようになりました。

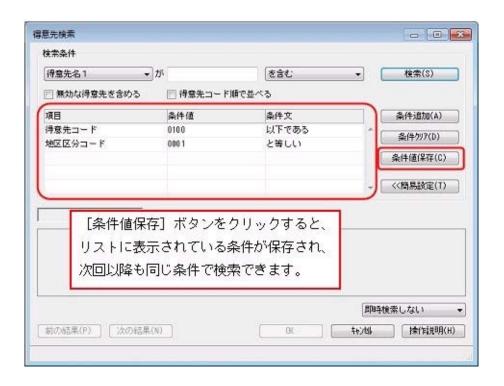
[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、[補 正値...]ボタンをクリックして表示される[補正値]画面で、項目ごとに補正後の長さを設定 します。

例えば、これまで出力項目が多く2枚に分かれてしまっていた場合に、各項目の余白部分を 詰めて1枚に収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。

■ マスターの検索画面に設定した条件を保存し、次回以降も同じ条件で検索できる機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

マスターの検索画面のリストに追加した条件を保存できるようになり、毎回同じ条件で検索する場合に、設定する手間を省けるようになりました。



◆ 伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できる設定を追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できるようになりました。

例えば[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]・[仕入データ受入]・[在庫データ受入]メニューの各メニューで受け入れた伝票のうち、修正登録されていない伝票だけを検索する場合は、[検索条件設定]画面の[基本条件]ページの作成区分で「汎用受入」、修正区分で「修正なし」を選択します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・「販売管理]-「見積処理]-「見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受注発注同時入力オプション』 をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫内振替伝票]メニュー(『ロット管理オプション』を お使いの場合)
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- バックアップデータのファイルサイズが小さくなるように変更(OBC専用モードの場合)
 バックアップデータを「OBC専用モード」で作成した際に、バックアップデータが自動的に 圧縮されるようになり、サイズが小さくなりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[データ領域管理]-[バックアップ/復元]-[一括バックアップ]メニュー
- ・[随時処理]-[バックアップ]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行バックアップ]メニュー(『自動実行管理オプション』をお使いの場合)

《販売管理·仕入管理》------

● 集計表から明細表へのジャンプ機能を追加

<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

今までは、[OO集計表]メニューに集計された金額や数量について、集計元となる明細を確認する場合は、[OO明細表]メニューを起動し、再度同じ条件で集計を行っていました。

今回より、集計表の結果画面から確認したいデータを選択して明細表にジャンプし、選択した データの集計元の明細を一覧で確認できるようになりました。

明細表からは伝票にもジャンプすることができますので、集計表から伝票画面まで金額や数量 を追跡できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注残集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上集計表]メニュー
- ・「仕入管理]-「発注処理]-「発注集計表]メニュー
- ・「仕入管理]-「発注処理]-「発注残集計表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入集計表]メニュー

パターン管理できるメニューを追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。 20日締め・月末締めなどの集計条件を、パターンとして管理できるため便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニュー

● 元帳に先頭ページのページ番号を指定する設定を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニューで得意先元帳・[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで仕入先元帳を印刷する際に、[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページで、先頭ページのページ番号を指定できるようになりました。

前回の印刷ページの後から続けてページ数を付番できるようになるため、請求先単位や支払先単位でまとめてバインダなどに保管するときに、連番などにすることで管理しやすくなります。

■ FAX送信機能が64ビット版(x64)のOSの環境に対応

64ビット版(x64)のOSの環境で、FAX送信機能を使用できるようになりました。

≪ 対応ドライバ ≫

- ・「株式会社 リコー」のFAXドライバ
- ・「キヤノン 株式会社」のFAXドライバ
- ・「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバ

● 伝票消去処理によって消去しない伝票の条件を変更

○今までは、[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、請求日付・入金日付が伝票消去処理日より前の日付でも、[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで請求書を発行していない伝票(売上仕入同時・売上伝票・入金伝票)は、消去されませんでした。

今回より、請求日付・入金日付と伝票消去処理日の間に請求書を発行済みの期間がある場合は、請求書を発行していない伝票でも消去されるようになりました。

▼例

≪ 条件 ≫

〇請求先A(締日区分が「99:月末締め」)の売上伝票が以下のように登録されています。

	伝票区分	請求日付
売上伝票①	掛売上	2015/10/01
売上伝票②	掛売上	2015/11/01
売上伝票③	掛売上	2015/12/01

〇以下の請求履歴があります。

請求先	請求期間
請求先A	2015/11/01~2015/11/30

≪ 結果 ≫

伝票消去処理日「2015/12/31」で、伝票消去処理を実行した場合は、「売上伝票①②」の伝票を消去します。

「売上伝票①」は、請求書を発行していない伝票ですが、請求日付と伝票消去処理日の間に 請求書を発行済みの期間があるため、消去されます。

- ※「売上伝票③」は、請求書を発行していない伝票で、請求日付と伝票消去処理日の間に請求書を発行済みの期間がないため、消去されません。
- 〇今までは、[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、精算日付・支払日付が伝票消去処理日より前の日付でも、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで支払明細書を発行していない伝票(売上仕入同時・仕入伝票・支払伝票)は、消去されませんでした。今回より、精算日付・支払日付と伝票消去処理日の間に支払明細書を発行済みの期間がある場合は、支払明細書を発行していない伝票でも消去されるようになりました。

▼例

≪ 条件 ≫

〇支払先A(締日区分が「99:月末締め」)の仕入伝票が以下のように登録されています。

	伝票区分	精算日付
仕入伝 票①	掛仕入	2015/10/01
仕入伝票②	掛仕入	2015/11/01
仕入伝票③	掛仕入	2015/12/01

〇以下の支払履歴があります。

支払先	精算期間
支払先A	2015/11/01~2015/11/30

≪ 結果 ≫

伝票消去処理日「2015/12/31」で、伝票消去処理を実行した場合は、「仕入伝票①②」の伝 票を消去します。

「仕入伝票①」は、支払明細書を発行していない伝票ですが、精算日付と伝票消去処理日の 間に支払明細書を発行済みの期間があるため、消去されます。

※「仕入伝票③」は、支払明細書を発行していない伝票で、精算日付と伝票消去処理日の間 に支払明細書を発行済みの期間がないため、消去されません。

商奉行V ERPの機能アップ内容



III ● OMSSの業務サービス「請求データ出力」を用意

<「OMSS」にご加入の場合>

「OMSS」にご加入いただいているお客様向けに、「請求データ出力」を新たにご用意しま

「請求データ出力」を利用すると、請求書の内容をファイルに転送できます。 転送したファイルは、例えば請求書の発行を代行するサービスなどに利用できます。

注意

請求書の内容をファイルに転送するには、あらかじめ、請求書の内容を転送する請求先に対 して、「導入処理]-「得意先登録]-「得意先登録]メニューの[請求]ページの請求書発行方法で 「1:転送」を設定する必要があります。

参 考

「OMSS」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

http://www.obc.co.ip/click/omss/

● [請求書発行]メニューでパターン管理できるように変更

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューについても、集計条件をパターンとして管理 できるようになりました。

請求書発行方法などの集計条件を、パターンとして管理できるため便利です。

蔵奉行V ERPの機能アップ内容

● [預り品受払帳]・「仮出荷受払帳]・「仮入荷受払帳]メニューの出力項目を追加 く『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品受払帳]メニュー・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷受払 帳]メニュー・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷受払帳]メニューの一覧確認画面に、「摘 要」「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。

《販売管理·仕入管理》--

● 受発注同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 <『奉行∨ ERP8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合>

案件ごと・取引ごとに受発注同時の伝票を入力している場合に、発注だけの明細の金額や発注 の値引額を含めて、伝票単位で粗利益を確認したり、「原価割れチェック」「粗利益チェッ ク」を行えるようになりました。

発注だけの明細の金額や発注の値引額を含める場合は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票同時入力の表示設定」内にある「受発注同時入力」-「原価の計算」で、「伝票ごと(発注だけの明細の金額・発注の値引額を含める)」を選択します。

- ※伝票の粗利益は、[受発注同時入力 設定]画面の[表示設定]ページで粗利計表示が「する」の場合に、粗利計に表示されます。
- ※原価割れチェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」の設定でチェックされます。
- ※粗利益チェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定でチェックされます。

▼例

≪ 条件 ≫

- 〇商品Aを10.000円で受注しました。
- ○自社に在庫がないため、6,000円で発注して得意先に直送します。
- 〇送料無料として販売しており、仕入先から得意先への送料1,000円は自社で負担します。
- 〇仕入先から500円の値引を受けたので、得意先へも500円値引します。

受発注同時で以下を入力します。

	商品名	明細区分	受発注区 分	税抜受注 金額	税抜受注 原価	税抜発注 金額
1 明細目	商品A	0:売上・ 仕入	0:受発注	10,000円	6,000円	6, 000円
2 明細目	送料	5:運賃	2:発注	_	-	1,000円
3 明細目	値引	2:値引	0: 受発注	-500円	_	-500円

≪ 結果 ≫

原価と粗利計を計算するために必要な金額を整理すると、以下のようになります。

	税抜受注金額	税抜受注原価	受発注区分が	明細区分が「2:
			「2:発注」の 税抜発注金額	値引」かつ 受発注区分が
			"你 "从无。正证假	文光/26/7/5/ 「0:受発注」の 税抜発注金額
1 明細目	10,000円	6,000円	_	_
2明細目	-	-	1,000円	_
3 明細目	-500円	-	_	-500円
伝票合計	9,500円(※1)	6,000円 (※2)	1,000円 (※3)	-500円(※4)

上記をもとに原価と粗利益を計算すると、以下のようになります。

〇[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「受注明細ごと」の場合は、1 明細目の商品Aの受注分だけで原価が計算されます。

原価(※5) = 6,000円 粗利計(※6) = 3,500円

※5:原価 = 税抜受注原価の合計(※2)

※6:粗利計 = 税抜受注金額の合計(※1) - 原価(※5)

〇[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「伝票ごと(発注だけの明細の金額・発注の値引額を含める)」の場合は、自社で負担した送料と発注の値引額を含めて原価が計算されます。

原価(※7) = 6,500円 粗利計(※8) = 3,000円

※7:原価 = 税抜受注原価の合計(※2)

- + (受発注区分が「2:発注」の税抜発注金額の合計) (※3)
- + (明細区分が「2:値引」かつ受発注区分が「0:受発注」の税抜発注金額 の合計) (※4)
- ※8:粗利計 = 税抜受注金額の合計(※1) 原価(※7)
- 売上仕入同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 <『奉行∨ ERP8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>

案件ごと・取引ごとに売上仕入同時の伝票を入力している場合に、仕入だけの明細の金額や仕入の値引額を含めて、伝票単位で粗利益を確認したり、「原価割れチェック」「粗利益チェック」を行えるようになりました。

仕入だけの明細の金額や仕入の値引額を含める場合は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票同時入力の表示設定」内にある「売上仕入同時入力」-「原価の計算」で、「伝票ごと(仕入だけの明細の金額・仕入の値引額を含める)」を選択します。

- ※伝票の粗利益は、[売上仕入同時入力 設定]画面の[表示設定]ページで粗利計表示が「する」の場合に、粗利計に表示されます。
- ※原価割れチェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」の設定でチェックされます。
- ※粗利益チェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定」の設定でチェックされます。

▼例

≪ 条件 ≫

- 〇商品Aを10,000円で売り上げました。
- ○自社に在庫がないため、6,000円で仕入れて得意先に直送します。
- 〇送料無料として販売しており、仕入先から得意先への送料1,000円は自社で負担します。
- 〇仕入先から500円の値引を受けたので、得意先へも500円値引します。

売上仕入同時で以下を入力します。

	商品名	明細区分	売上仕入 区分	税抜売上 金額	税抜売上 原価	税抜仕入 金額
1 明細目	商品A	0:売上・ 仕入	0:売上仕 入	10,000円	6,000円	6, 000円
2 明細目	送料	5:運賃	2: 仕入	_	_	1,000円
3 明細目	値引	2:値引	0:売上仕 入	-500円	-	-500円

≪ 結果 ≫

原価と粗利計を計算するために必要な金額を整理すると、以下のようになります。

	税抜売上金額	税抜売上原価	売上仕入区分が 「2:仕入」の 税抜仕入金額	明細区分が「2: 値引」かつ 売上仕入区分が 「0:売上仕入」 の税抜仕入金額
1 明細目	10,000円	6,000円	-	-
2 明細目	-	-	1,000円	-
3 明細目	-500円	_	-	-500円
伝票合計	9,500円(※1)	6,000円 (※2)	1,000円 (※3)	-500円 (※4)

上記をもとに原価と粗利益を計算すると、以下のようになります。

〇[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「売上明細ごと」の場合は、1 明細目の商品Aの売上分だけで原価が計算されます。

原価(※5) =	6,000円	粗利計(※6) =	3, 500円
----------	--------	-----------	---------

※5:原価 = 税抜売上原価の合計(※2)

※6:粗利計 = 税抜売上金額の合計(※1) - 原価(※5)

〇[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「伝票ごと(仕入だけの明細の金額・仕入の値引額を含める)」の場合は、自社で負担した送料と仕入の値引額を含めて原価が計算されます。

原価(※7) = 6,500円 粗利計(※8) = 3,000円

※7:原価 = 税抜売上原価の合計(※2)

- + (売上仕入区分が「2:仕入」の税抜仕入金額の合計) (※3)
- + (明細区分が「2:値引」かつ売上仕入区分が「0:売上仕入」の税抜仕入 金額の合計) (※4)

※8:粗利計 = 税抜売上金額の合計(※1) - 原価(※7)

● [請求一覧表]メニュー・[請求締取消]メニューの絞込項目を追加 <『個別案件管理オプション』をお使いの場合>

プロジェクト区分1~10を指定して、絞り込むことができるようになりました。

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューでプロジェクト区分1~10を指定して発行した請求書について、[販売管理]-[請求締処理]-[請求・覧表]メニューで内容を確認したり、 [販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニューで請求締を一度に取り消すことができるようになります。

各メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで設定できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の売上伝票と入金 伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクト区分1~10を指定できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニュー
- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニュー

● [FB入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[電子記録債権入金伝票作成 [回収予 定基準]]メニューの絞込項目を追加

<『個別案件管理オプション』をお使いの場合>

プロジェクトを指定して、消し込む回収予定を絞り込むことができるようになりました。 請求先ごとプロジェクトごとに回収消込を行う場合に、消し込みたいプロジェクトの回収予定 だけを集計できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の売上伝票と入金 伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクトで絞り込みできます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金伝票作成]-[FB入金伝票作成 [回収 予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー(「OMSS」にご加入の場合)
- [支払一覧表]メニュー・[支払締取消]メニューの絞込項目を追加 <『個別案件管理オプション』をお使いの場合>

プロジェクト区分1~10を指定して、絞り込むことができるようになりました。

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューでプロジェクト区分1~10を指定して発行した支払明細書について、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで内容を確認したり、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払締取消]メニューで支払締を一度に取り消すことができるようになります。

各メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで設定できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の仕入伝票と支払 伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクト区分1~10を指定できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払締取消]メニュー

≪オリジナルフォーム≫------

● 納品書に「発注No. (仕入No.)」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」の 印字項目を追加

<『奉行∨ ERP8』の『受発注同時入力オプション』、または『奉行∨ ERP8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューに、印字項目「発注No. (仕入No.)」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」が追加されます。

- 〇『奉行V ERP8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合は、[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニューから納品書を印刷する際に、発注伝票上の「発注No.」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」を印字できるようになります。 紐付く発注伝票や仕入先を確認したい場合に、納品書の控えに印字すると便利です。
- ○『奉行∨ ERP8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合は、[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニューから納品書を印刷する際に、仕入伝票上の「仕入No.」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」を印字できるようになります。 紐付く仕入伝票や仕入先を確認したい場合に、納品書の控えに印字すると便利です。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.11 / Ver.2.12

※ 「「マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
	≪全般≫	
(F	「未承認」「1次承認済」の伝票の見積書・納品書・注文書を印刷・FAX送信できないように制 御する設定を追加	3
	見積書・注文書に「ページ番号」の印字項目を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	3
	[伝票検索一括表示] 画面の項目を設定する機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	4
	≪導入処理≫	
	[プロジェクト登録]メニューのメニュー構成を変更	4
	≪販売管理・仕入管理≫	
	パターン管理できるメニューを追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>	4
	[〇〇金振替]メニューで、振替元の伝票にジャンプして振替元の伝票を修正・複写・削除でき る機能を追加	4
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
	[取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加 <『商奉行V ERP8』と『蔵奉行V ERP8』の両製品をお使いの場合>	4
	≪その他≫	
(F	Excel ピボットグラフを作成できるメニューを追加 <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>	5
(F	よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューを追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	5
(F	クイックメニューにコピー機能(クリップボード)を追加 <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>	6
	────────────────────────────────────	
	受注残推移表を「出荷予定日」「納品期日」で集計する機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	7
(F	管理資料の出力項目に請求先(得意先・直送先)の住所・電話番号などを追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>	7
	[請求書発行]メニューの機能を強化 ①内訳単位が「得意先」の場合に、請求先を並び順の先頭に出力できるようになりました。	8
	②請求書を専用用紙で印刷する場合に、入金明細を印字しないように設定できるようにな りました。	
	③請求期間内の取引が入金明細だけの請求先の請求書を発行しないように設定できるよう になりました。	



④複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を発行 している場合の印刷方法が変更されました。 ⑤合計請求書を内訳(得意先・プロジェクト・部門)ごとに出力する場合に、売上がなく 入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。 ⑥明細請求書・伝票請求書を内訳(得意先・プロジェクト・部門)ごとに出力する場合 で、入金明細を印字しないオリジナルフォームで印刷する場合に、売上がなく、入金だ けの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。 10 消込関連メニューを部門で絞り込んだ場合の集計内容を変更 【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】 ≪仕入管理≫ 10 発注残推移表を「納品期日」で集計する機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合> 管理資料の出力項目に支払先の住所・電話番号などを追加 10 <『奉行V ERP8』をお使いの場合> [支払明細書発行]メニューの機能を強化 11 ①内訳単位が「仕入先」の場合に、支払先を並び順の先頭に出力できるようになりまし ②支払明細書を印刷する場合に、支払明細を印字しないように設定できるようになりまし ③精算期間内の取引が支払明細だけの支払先の支払明細書を発行しないように設定できる ようになりました。 ④複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払明細書を 発行している場合の印刷方法が変更されました。 ⑤合計支払明細書を内訳(仕入先・プロジェクト・部門)ごとに出力する場合に、仕入が なく支払だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。 消込関連メニューを部門で絞り込んだ場合の集計内容を変更 13 ≪在庫管理≫ 在庫管理資料の集計条件を追加 13 <『奉行V ERP8』をお使いの場合> 【オプション製品の追加】

14

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を用意

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごと にメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫-



【FARTING OF A STATE うに制御する設定を追加

「未承認」「1次承認済」の伝票の見積書・納品書・注文書を印刷・FAX送信できないように制御 できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「未承認伝票の印刷設定」で設定できます。 誤った注文書を送付したり、承認が下りていない見積書・納品書を得意先に提出してしまうミス を防ぐことができます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受注発注同時入力オプション』を お使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力オプション』 をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの 場合)
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-「仮出荷処理]-「仮出荷伝票]メニュー

● 見積書・注文書に「ページ番号」の印字項目を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

見積書・注文書に、伝票ごとのページ番号・総ページ数を印字できるようになりました。 1 伝票で複数ページを印刷する場合に、総ページ数の確認や、印刷物に漏れがないかを確認する 際に便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受注発注同時入力オプション』を お使いの場合)
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

[伝票検索一括表示]画面の項目を設定する機能を追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

[伝票検索一括表示] 画面に表示する項目を設定できるようになりました。

マスターの名称 1・2 や担当者などを表示しておくと、似たような伝票が複数枚登録されている場合に、目的の伝票を特定できて便利です。

※表示する項目の幅を変更すると、次回以降も同じ幅で表示されます。

≪導入処理≫---

● [プロジェクト登録]メニューのメニュー構成を変更

[プロジェクト登録]メニューのメニュー構成を変更しました。

〇変更前:[導入処理]-[プロジェクト登録]メニュー

〇変更後:[導入処理]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニュー

≪販売管理・仕入管理≫---

● パターン管理できるメニューを追加

<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。 20日締め・月末締めなどの集計条件をパターンとして管理できるため便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- [○○金振替]メニューで、振替元の伝票にジャンプして振替元の伝票を修正・複写・削除できる機能を追加
 - **<『奉行V ERP8』をお使いの場合>**

処理区分が「振替」の場合に、<u>ジャンプ</u>を押して振替元の伝票にジャンプし、振替元の伝票 を修正・複写・削除できるようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金振替]メニュー
- ・[販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニュー
- ・「仕入管理]-「前払金振替]-「前払金振替]メニュー
- [取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加
 - <『商奉行V ERP8』と『蔵奉行V ERP8』の両製品をお使いの場合>

[販売管理]-[取引実績一覧表]メニューで、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

〇これまでは、受注・発注の内容を集計する際には、受注日付・発注日付が集計期間内の受注伝票・発注伝票を集計していました。

今回より、集計する際に基準とする日付を以下から選択できるようになりました。

- 受注伝票:受注日付、出荷予定日、納品期日
- 発注伝票: 発注日付、納品期日

[取引実績一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「基準日付」で設定します。

例えば受注の内容を出荷予定日・納品期日を基準として集計することで、将来の売上見込の内容を確認できます。

〇「差益」の計算方法を選択できるようになりました。[取引実績一覧表 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「差益の計算方法」で設定します。

受注や発注の内容などを考慮して差益を出力できます。

〇出力項目に「受注原価」「受注残」「受注残原価」「売上原価」「発注残」を選択できるよう になりました。

≪その他≫-



IBT ● Excel ピボットグラフを作成できるメニューを追加 < 「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

当システムの基幹データをもとに、業務情報の集計表(ピボットテーブル)やグラフ(ピボット グラフ) に出力し、ピボット分析ができるメニューが追加されました。

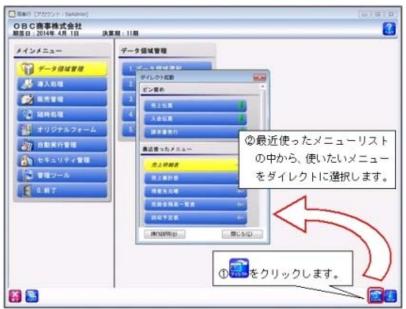
≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注推移表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上推移表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上対比表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入対比表]メニュー

【録 ● よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューを追加 < 『奉行 V ERP8』をお使いの場合>

ダイレクト起動メニューを利用すると、最近使ったメニューを簡単に開くことができます。 さらに、よく使うメニューをリストに固定表示することで、毎日使用しているメニューをすばや く起動できます。

▼イメージ図



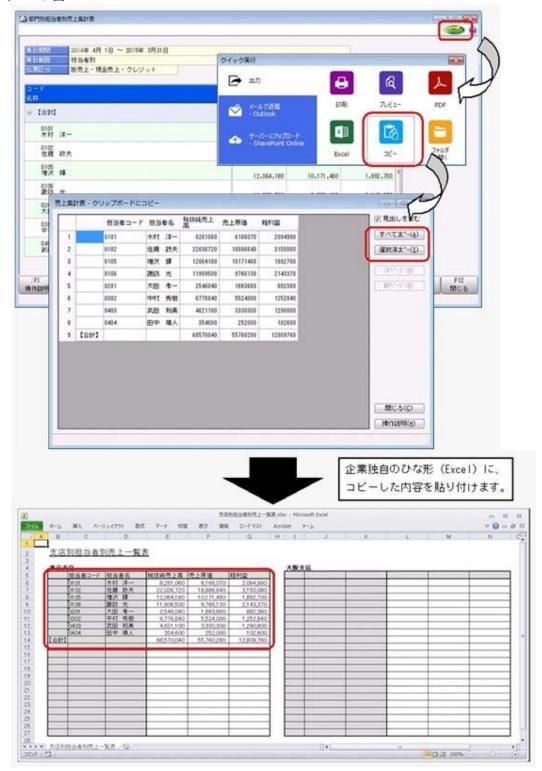


【録 ● クイックメニューにコピー機能(クリップボード)を追加

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

画面の表示内容をコピーして、企業独自のひな形(Excel)に貼り付けて帳票を作成できるように なりました。

▼イメージ図



≪販売管理≫--

● 受注残推移表を「出荷予定日」「納品期日」で集計する機能を追加 **<『奉行V ERP8』をお使いの場合>**

今までは、[販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表]メニューの集計期間は「受注日付」で指定し ていました。

今回より、集計期間の日付を「受注日付」「出荷予定日」「納品期日」から選択できるようにな りました。

受注してから出荷・納品までにかかる日数が長い場合などに、出荷予定日・納品期日ごとに受注 実績や受注残を把握できます。

将来の売上見込の推移を確認する場合などに便利です。

【除 ● 管理資料の出力項目に請求先(得意先・直送先)の住所・電話番号などを追加 **<『奉行V ERP8』をお使いの場合>**

管理資料を請求先別(得意先別・直送先別)で集計する場合に、請求先(得意先・直送先)の住 所・電話番号などの情報を出力できるようになりました。

追加された出力項目				
請求先名 1 (※ 2)	請求先名2(※	〇〇郵便番号	〇〇住所 1	〇〇住所2
〇〇電話番号	OOFAX番号	〇〇担当者名	〇〇担当者部署 名(※3)	〇〇担当者役職 名(※3)
〇〇担当者電話 番号(※3)	〇〇担当者携帯 番号(※3)	〇〇担当者FAX 番号(※3)	OO担当者E- Mail (※3)	〇〇敬称

※1:「〇〇」は、集計範囲での選択によって異なります。

※2:[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニューで出力できます。

※3:集計範囲が「直送先別」の場合は、出力できません。

以下の場合などに便利です。

- 〇売上実績がある得意先を絞り込み、DM(ダイレクトメール)を送付するリストを作成する場
- ○「売掛金(未収入金)の内訳書」や「残高確認依頼書」を作成する場合
- 〇売掛金残高の確認のために請求先に連絡を行う場合
- ○売掛金を滞留している請求先に対して督促を行う場合

≪ 関連メニュー ≫

- ・ 「販売管理]-「受注処理]-「受注集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上順位表]メニュー)
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニュー(『入金消込オプ ション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[滞留債権年齢表]メニュー(『入金消込オプション』をお 使いの場合)
- ・[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・[販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニュー

● [請求書発行]メニューの機能を強化

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの請求書フォームについて、以下の①~⑥の内容が強化されました。

※請求書フォームによって、影響する内容が異なります。

	明細請求書	伝票請求書	合計請求書
専用用紙	1234	1234	135
オリジナルフォー ム	1346	1346	135

①[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」が「得意先」の場合に、請求 先を並び順の先頭に出力できるようになりました。

今までは、複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求内容 の明細を並べている場合は、得意先は得意先コード順で出力されていました。

今回より、請求先を並び順の先頭に出力し、その他の得意先は得意先コード順で出力できるようになりました。

[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[全般]ページの「内訳の出力順序」で「得意先コード順 (請求先コード優先)」を選択すると、請求先が並び順の先頭になります。

例えば得意先ごとに請求書を送付している場合は、請求先宛のページが最初と最後にまとまり、仕分けしやすくなります。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

参考

複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を印刷する場合は、以下の順序で印刷されます。

- ○1ページ目:鑑の内容(宛先は請求先です。)
- ○2ページ目以降:得意先ごとの請求内容(宛先は得意先です。各得意先には、請求先 も含みます。)
- 〇最終ページ:請求合計の内容(宛先は請求先です。)
- ※以下の設定で印刷した場合です。
 - ・[請求書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:得意先
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」: する
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの鑑の出力」: する
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「請求先欄の内訳情報の出力」: する
- ②請求書を専用用紙で印刷する場合に、入金明細を印字しないように設定できるようになりました。

入金明細を印字しない場合は、[請求書発行 - 出力項目]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「入金伝票明細」で「印字しない」を選択します。

「印字しない」の場合は、以下のデータが印字されなくなります。

- 〇明細請求書の場合
 - 入金伝票の明細
 - 内訳計の「御入金額」
 - 請求合計の「【御入金額合計】」

- ○伝票請求書の場合
 - 入金伝票の明細
 - 内訳計の「御入金額」
 - 請求合計の「【御入金額計】」

請求書には売上の内容だけを印字したい場合に対応できます。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

参 考

請求書に入金の内容を印字したくない場合は、以下の設定もあわせて行います。

- 〇[請求書発行 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「今回御請求額欄」:今回御買上 額
- 〇[請求書発行 出力項目]画面の[全般]ページの「前回御請求額~差引繰越金額欄」: 印字しない
 - ※オリジナルフォームをお使いの場合は、この設定は反映しないため、[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで「前回御請求額~差引繰越金額」を印字しないフォームを作成します。
- ③請求期間内の取引が入金明細だけの請求先の請求書を発行しないように設定できるようになりました。

発行しない場合は、[請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの発行条件「請求期間内の取引が入金明細だけの請求先」で「印刷する」のチェックを外します。

請求期間内に売上がなく、入金だけの請求書は送付しない場合に、不要な請求書を印刷しないようにできます。

B

④複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を発行している場合の印刷方法が変更されました。

請求先に売上・入金がなく、請求先ではない得意先に売上がある場合で、得意先ごとに請求書を発行している場合は、得意先ごとの請求書だけでなく、請求先に送付する請求書(鑑のページと請求合計のページ)を印刷するようになりました。

- ※以下の設定で印刷した場合です。
 - ・[請求書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:得意先
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」: する
 - ・[請求書発行 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「請求先欄の内訳情報の出力」: する
- ※部門ごと、プロジェクトごとに請求書を発行する場合も、部門・プロジェクトごとの請求書だけでなく、請求先に送付する請求書(鑑のページと請求合計のページ)を印刷するようになりました。
- ※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも同様に印刷されます。
- ⑤合計請求書を内訳(得意先・プロジェクト・部門)ごとに出力する場合に、売上がなく入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計請求書]ページの「取引が入金明細だけの内訳の出力」で「しない」を選択します。

売上が発生している内訳だけの請求書を送付する場合に、不要な請求書を印刷しないようにできます。

- ※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。
- ⑥明細請求書・伝票請求書を内訳 (得意先・プロジェクト・部門) ごとに出力する場合で、入金 明細を印字しないオリジナルフォームで印刷する場合に、売上がなく、入金だけの内訳データ を印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「内訳の取引が入金明細だけの場合も印字する」のチェックを外します。

売上が発生している内訳だけに請求書を送付する場合に、不要な内訳データを印刷しないよう にできます。

- ※内訳ごとに改ページしている場合は、売上がなく入金だけの内訳データのページを印刷しないようにできます。
- ※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも同様に印刷されます。

● 消込関連メニューを部門で絞り込んだ場合の集計内容を変更

消込関連メニューで[基本設定]ページの集計範囲で部門を指定した場合に、入金伝票だけでなく、売上伝票(回収予定)の部門も絞り込みを行うようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー (『入金消込オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込取消]メニュー (『入金消込オ プション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込取消]メニュー

蔵奉行V ERPの機能アップ内容

≪仕入管理≫----

● 発注残推移表を「納品期日」で集計する機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

今までは、[仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表]メニューの集計期間は「発注日付」で指定していました。

今回より、集計期間の日付を「発注日付」「納品期日」から選択できるようになりました。 発注してから納品までにかかる日数が長い場合などに、納品期日ごとに発注実績や発注残を把握 できます。

将来の仕入見込の推移を確認する場合などに便利です。

● 管理資料の出力項目に支払先の住所・電話番号などを追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

管理資料を支払先別で集計する場合に、支払先の住所・電話番号などの情報を出力できるようになりました。

追加された出力項目				
支払先名 1 (※)	支払先名 2 (※)	支払先郵便番号	 支払先住所 1	支払先住所 2
支払先電話番号	支払先FAX番号	支払先担当者名	支払先担当者部 署名	支払先担当者役 職名
支払先担当者電 話番号	支払先担当者携 帯番号	支払先担当者 FAX番号	支払先担当者E- Mail	支払先敬称

※:[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニューで出力できます。

以下の場合などに便利です。

- 〇「買掛金 (未払金・未払費用) の内訳書」を作成する場合
- ○買掛金残高の確認のために支払先に連絡を行う場合
- 〇支払予定の変更を連絡する場合

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニュー(『支払消込オプション』をお使いの場合)
- ・[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー
- ・[仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニュー

● [支払明細書発行]メニューの機能を強化

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの支払明細書フォームについて、以下の① ~⑤の内容が強化されました。

※支払明細書フォームによって、影響する内容が異なります。

明細支払明細書	伝票支払明細書	合計支払明細書
1234	1234	135

①[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」が「仕入先」の場合に、 支払先を並び順の先頭に出力できるようになりました。

今までは、複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払内容の明細を並べている場合は、仕入先は仕入先コード順で出力されていました。

今回より、支払先を並び順の先頭に出力し、その他の仕入先は仕入先コード順で出力できるようになりました。

[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[全般]ページの「内訳の出力順序」で「仕入先コード順(支払先コード優先)」を選択すると、支払先が並び順の先頭になります。

例えば仕入先ごとに支払明細書を送付している場合は、支払先宛のページが最初と最後にまと まり、仕分けしやすくなります。

※「仕入管理]-「支払締処理]-「支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

参 考

複数の仕入先の支払を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払明細書を 印刷する場合は、以下の順序で印刷されます。

- ○1ページ目:鑑の内容(宛先は支払先です。)
- ○2ページ目以降:仕入先ごとの支払内容(宛先は仕入先です。各仕入先には、支払先 も含みます。)
- 〇最終ページ:支払合計の内容(宛先は支払先です。)
- ※以下の設定で印刷した場合です。
 - ・[支払明細書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:仕入先
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの改ページ」: する
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの鑑の出力」: する
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払先欄の内訳情報の出力」: する

②支払明細書を印刷する場合に、支払明細を印字しないように設定できるようになりました。 支払明細を印字しない場合は、[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[明細支払明細書・伝票支 払明細書]ページの「支払伝票明細」で「印字しない」を選択します。

「印字しない」の場合は、以下のデータが印字されなくなります。

- 〇明細支払明細書の場合
 - 支払伝票の明細
 - 内訳計の「支払額」
 - 支払合計の「【支払合計】」
- 〇伝票支払明細書の場合
 - 支払伝票の明細
 - 内訳計の「支払額」
 - 支払合計の「【支払計】」

支払明細書には仕入の内容だけを印字したい場合に対応できます。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

参 考

支払明細書に支払の内容を印字したくない場合は、以下の設定もあわせて行います。

- 〇[支払明細書発行 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「今回支払残高欄」:今回仕 入額
- 〇[支払明細書発行 出力項目]画面の[全般]ページの「前回支払残高~差引繰越金額 欄」: 印字しない
- ③精算期間内の取引が支払明細だけの支払先の支払明細書を発行しないように設定できるように なりました。

発行しない場合は、[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの発行条件「精算期間内の取引が支払明細だけの支払先」で「印刷する」のチェックを外します。

精算期間内に仕入がなく、支払だけの支払明細書は送付しない場合に、不要な支払明細書を印刷しないようにできます。

④複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払明細書を発行している場合の印刷方法が変更されました。

支払先に仕入・支払がなく、支払先ではない仕入先に仕入がある場合で、仕入先ごとに支払明 細書を発行している場合は、仕入先ごとの支払明細書だけでなく、支払先に送付する支払明細書(鑑のページと支払合計のページ) を印刷するようになりました。

- ※以下の設定で印刷した場合です。
 - ・[支払明細書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」:仕入先
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳 ごとの改ページ」:する
 - ・[支払明細書発行 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払 先欄の内訳情報の出力」: する
- ※部門ごと、プロジェクトごとに支払明細書を発行する場合も、部門・プロジェクトごとの支払明細書だけでなく、支払先に送付する支払明細書(鑑のページと支払合計のページ)を印刷するようになりました。
- ※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも同様に印刷されます。

⑤合計支払明細書を内訳(仕入先・プロジェクト・部門)ごとに出力する場合に、仕入がなく支払だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計支払明細書]ページの「取引が支払明細だけの内訳の出力」で「しない」を選択します。

仕入が発生している内訳だけの支払明細書を送付する場合に、不要な支払明細書を印刷しない ようにできます。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

● 消込関連メニューを部門で絞り込んだ場合の集計内容を変更

消込関連メニューで[基本設定]ページの集計範囲で部門を指定した場合に、支払伝票だけでなく、仕入伝票(支払予定)の部門も絞り込みを行うようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[債権支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー (『支払消込オプション』をお使いの場合)
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込取消]メニュー(『支払消込オプション』をお使いの場合)
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込取消]メニュー

≪在庫管理≫一

在庫管理資料の集計条件を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

在庫管理資料で、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

- ○集計範囲で次の集計方法を選択できるようになりました。
 - 商品区分別
 - 商品区分別倉庫別
 - 商品区分別倉庫区分別倉庫別
 - 倉庫別商品区分別
 - · 倉庫区分別倉庫別商品区分別

今までは、集計範囲の集計方法で「商品区分1別」を選択すると、必ずその次の集計方法は 「商品別」が選択されました。

今回より、「商品区分1別」の次の集計方法を、「指定なし」「商品別」「商品コード2~5別」「商品区分2~5別」「倉庫別」「倉庫区分別」から選択できるようになりました。 これにより、セグメントを商品区分として登録している場合に、セグメントごとの数量や金額を出力し、期末に仕訳を起票する際に利用することもできます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[棚卸一覧表]メニュー
- ○集計範囲で複数の「商品区分別」を指定できるようになりました。

集計範囲の第一項目で「商品区分1別」、第二項目で「商品区分2別」など、集計範囲で複数の「商品区分別」を選択できるようになりました。

商品区分1を大分類、商品区分2を中分類というように運用している場合に、「商品区分1別 商品区分2別」の集計ができるようになります。

▼例

以下のように登録している場合に、「輸入区分別・商品種類別・商品別」の集計を行えるようになります。

輸入区分(商品区分1)	商品種類(商品区分2)
1:輸入	1:化粧品
2:国内	2:雑貨

≪ 関連メニュー ≫

- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[滞留在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[期限切れ商品在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[期限切れロット在庫一覧表]メニュー(『ロット管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[棚卸一覧表]メニュー

オプション製品の追加

プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を用意 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を新たにご用意しました。 『個別案件管理オプション』を導入いただくと、プロジェクトごとの残高管理やプロジェクトご との請求書発行などを行えるようになります。

『個別案件管理オプション』の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

http://www.obc.co.jp/click/landing/kobetsu/



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.10

※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】 《全般≫ 登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新する機能を追加 FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応 得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加 《『奉行V ERP8』をお使いの 納品書に「ページ番号」の印字項目を追加 《『奉行V ERP8』をお使いの 《その他≫ Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) 《「のMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの 【商奉行V ERPの機能アップ内容】	70場合> 4
● 登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新する機能を追加 FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応 得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加 《『奉行 V ERP8』をお使いの 納品書に「ページ番号」の印字項目を追加 《『奉行 V ERP8』をお使いの 《その他》 Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) 《「OMSS」/『奉行 V ERP8』をお使いの 【商奉行 V ERPの機能アップ内容】	2 3 D場合> 3 D場合>
FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応 得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加	2 3 D場合> 3 D場合>
得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加 《本行 V ERP8』をお使いの 納品書に「ページ番号」の印字項目を追加 《その他》 Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) 〈「OMSS」/『奉行 V ERP8』をお使いの 【商奉行 V ERPの機能アップ内容】	3 の場合> 3 の場合> 4
	の場合> 3 の場合> 4
 納品書に「ページ番号」の印字項目を追加 ≪その他≫ Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) < 「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの 【商奉行V ERPの機能アップ内容】 	70場合> 4
	70場合> 4
《その他》 Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの 【商奉行V ERPの機能アップ内容】	4
Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) < 「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの	
< 「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの 【 商奉行V ERPの機能アップ内容 】	
【商奉行V ERPの機能アップ内容】	の場合>
≪販売管理≫	-
売上明細の税率をチェックする機能を追加	5
得意先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加	5
発行する仕訳伝票に、請求先略称を印字する機能を追加	5
[売上消費税額計算書]メニューを追加	6
≪随時処理≫	
[過去月売上実績アップロード]メニューを追加	6
<「OMSS」/『商奉行V ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの	り場合>
≪売上管理クラウドサービス≫	
売上実績の月次推移を表示する機能を追加	7
<「OMSS」/『商奉行V ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの	り場合>
グラフの表示を切り替えるボタンを追加	8
<「OMSS」/『商奉行V ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの	り場合>
【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】	
≪仕入管理≫	
(仕入明細の税率をチェックする機能を追加	8
仕入先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加	9
発行する仕訳伝票に、支払先略称を印字する機能を追加	9
[仕入消費税額計算書]メニューを追加	9
【オプションの機能アップ内容】	
≪販売管理≫	
[消込済照会 [入金伝票基準]]メニューに転送機能を追加	10
<『奉行V ERP8』の『入金消込オプション』をお使いの	の場合>
≪仕入管理≫	
	10
<『奉行V ERP8』の『支払消込オプション』をお使いの	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫-

■ 登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新する機能を追加

登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新できるようになりました。 以下の表のように、期間単価の種類によって、更新できる単価が異なります。

更新元の期間単価	更新先の単価
期間単価	商品登録単価
単価区分別期間単価	単価区分別単価
単価区分別数量別期間単価	単価区分別数量別単価
得意先別期間単価	得意先別単価
仕入先別期間単価	仕入先別単価
得意先別数量別期間単価	得意先別数量別単価
数量別期間単価	数量別単価

例えば、以下の場合に期間単価で商品登録単価を更新できます。

- 〇[随時処理]-[新税率期間単価作成]メニューで、期間単価として一括で登録した新税率の単 価を作成元の単価に反映したい場合
 - ※[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューで価格表の印刷を行いたい場合など、必要に 応じて行います。
- 〇価格改定後の単価を期間単価として事前に登録し、価格改定のタイミングで商品登録単価を 更新したい場合
- 〇キャンペーン期間の期間単価を、今後の商品登録単価とする場合

≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[単価登録]-[期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- •[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期 間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[得意先別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[仕入先別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー
- **FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応** FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応しました。

● 得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加 <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

得意先ごとに納品書を印刷するかを設定できるようになりました。

納品書を印刷する必要がない得意先をあらかじめ設定しておけるので、伝票の登録と同時に納 品書を印刷する場合や、条件に一致する伝票をまとめて印刷する場合に、納品書が必要な得意 先にだけ印刷できます。

[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[販売]ページの「納品書発行」で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力オプション』を お使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

● 納品書に「ページ番号」の印字項目を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

納品書に、伝票ごとのページ番号・総ページ数を印字できるようになりました。

1 伝票で複数ページを印刷する場合に、総ページ数の確認や、印刷物に漏れがないかを確認する際に便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力オプション』を お使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー

≪その他≫



● Office連携サービスの機能を強化(テンプレート・パスワード) <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

OExcelピボットグラフのテンプレート機能

ピボットグラフを作成した後、分析しやすいようにExcel上でデザインを変更した場合に、次回以降も同じデザインで作成できます。

当システムでは、同じメニューの同条件で作成したピボットグラフのファイルをテンプレートとして指定すると、毎回独自のデザインでピボットグラフが作成できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・ [販売管理] 「売上処理] 「売上明細表] メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー

○Outlook メールのテンプレート機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフをMicrosoft Outlookのメールに添付して送信する際に、宛先や件名、メール本文が毎回同じ場合は、Microsoft Outlookで保存したテンプレートを利用できます。

〇パスワード機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフにパスワードを設定できます。



≪販売管理≫-



● 売上明細の税率をチェックする機能を追加

[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニューで、売上明細の税率が適切に入力されているかを確認する機能として、以下の操作を行えるようになりました。

- 〇「8%」「5%」「3%」の税率を指定して集計すると、指定した税率の売上明細だけを出力できます。
- 〇「税率」を出力できるようになりました。

● 得意先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニューで、プリンタの両面印刷機能を使用して、複数の請求先の元帳を1度に印刷する場合に、請求先ごとに用紙を分けて印刷できるようになりました。

※請求先別部門別・部門別請求先別で元帳を印刷する場合は、請求先ごと部門ごと・部門ごと 請求先ごとに用紙を分けて印刷できます。

[得意先元帳 - 印刷条件設定]画面の[用紙設定]ページの「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックを付けると、請求先ごとに用紙を分けて印刷できます。

▼例

1度の元帳の印刷で、複数の請求先の元帳を発行する場合

【「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いている場合】 裏面が印刷できる場合でも、請求先が異なる場合は、次の用紙に印刷します。



【「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いていない場合】 裏面が印刷できる場合は、次の請求先の内容を続けて印刷します。



● 発行する仕訳伝票に、請求先略称を印字する機能を追加

[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、登録した入金伝票から仕訳伝票を発行する際に、請求先略称を印字できるようになりました。

[入金伝票 - 仕訳発行条件設定]画面の[出力設定]ページの「請求先略称」にチェックを付けると、印刷できます。

以下の用紙に印刷できます。

- ○[3371]仕訳伝票(○BCコクヨ式)
- ○[3372]仕訳伝票(OBC7行)
- ○[3381]単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- ○[3382] 単票仕訳伝票 (OBC7行)



【読 ● [売上消費税額計算書]メニューを追加

[販売管理]-[売上処理]-[売上消費税額計算書]メニューで、課税売上や非課税売上などの売上 高・仮受消費税を、税率ごとに、一覧で確認できるようになりました。

例えば、以下の場合にこのメニューを使用します。

- 〇課税売上と課税売上以外の金額を確認する場合
- ○仕訳伝票を手動で作成するために、金額を確認する場合

≪随時処理≫一

● [過去月売上実績アップロード]メニューを追加

<「OMSS」/『商奉行V ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの場合>

『売上管理クラウドサービス』を利用する際に、[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-「過去月売上実績アップロード」メニューで、前月より前の売上実績データをアップロードでき るようになりました。

以下の場合に、このメニューを使用します。

- 〇会計期首から2ヵ月以上過ぎて、『売上管理クラウドサービス』の利用を開始する場合。
- 〇会計期首から2ヵ月以上過ぎて、[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-[売上実績アッ プロード]メニューで売上実績パターンを新規に作成する場合。
- 〇前月より前の売上実績データを修正した場合。
- 〇『売上管理クラウドサービス』にアップロードされている売上実績データを削除して、アッ プロードしなおす場合。

参考

[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-[売上実績アップロード]メニューの設定に よって自動でアップロードされるのは、「前月月初」から「アップロード処理日(シ ステム日付)」までの売上実績データです。

前月より前の売上実績データを参照するには、[過去月売上実績アップロード]メニュ 一を使用します。

≪売上管理クラウドサービス≫・



■ 売上実績の月次推移を表示する機能を追加

< 「OMSS」 / 『商奉行∨ ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの場合> アップロードした売上実績データについて、月次推移を確認できるようになりました。 ※アプリバーを表示し、[月次推移]を押すと表示されます。

▼<u>イメージ図</u>



● グラフの表示を切り替えるボタンを追加

< 「OMSS」 / 『商奉行∨ ERP8』のネットワーク対応製品をお使いの場合>

グラフの画面左下のボタン [月・日] [月] [日] を押すと、以下のように表示を切り替えできるようになりました。

〇月・日

以下の「月」と「日」の両方を表示

- 〇月 (折れ線グラフ)
 - 日々の売上実績データの累計だけを表示
- 〇日 (棒グラフ)
 - 日々の売上実績データだけを表示
- ※今回追加された月次推移グラフも、[年・月] [年] [月]を押すと、表示を切り替えできます。

▼イメージ図



蔵奉行V ERPの機能アップ内容

≪仕入管理≫



● 仕入明細の税率をチェックする機能を追加

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニューで、仕入明細の税率が適切に入力されているかを確認する機能として、以下の操作を行えるようになりました。

- 〇「8%」「5%」「3%」の税率を指定して集計すると、指定した税率の仕入明細だけを出力できます。
- 〇「税率」を出力できるようになりました。

◆ 仕入先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加

[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、プリンタの両面印刷機能を使用して、複数の支払先の 元帳を1度に印刷する場合に、支払先ごとに用紙を分けて印刷できるようになりました。

※支払先別部門別・部門別支払先別で元帳を印刷する場合は、支払先ごと部門ごと・部門ごと 支払先ごとに用紙を分けて印刷できます。

[仕入先元帳 - 印刷条件設定]画面の[用紙設定]ページの「支払先別に印刷ドキュメントを分 けて出力する」にチェックを付けると、支払先ごとに用紙を分けて印刷できます。

▼例

1 度の元帳の印刷で、複数の支払先の元帳を発行する場合

【「支払先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いている場合】 裏面が印刷できる場合でも、支払先が異なる場合は、次の用紙に印刷します。



【「支払先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いていない場合】 裏面が印刷できる場合は、次の支払先の内容を続けて印刷します。



● 発行する仕訳伝票に、支払先略称を印字する機能を追加

[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、登録した支払伝票から仕訳伝票を発行する際 に、支払先略称を印字できるようになりました。

[支払伝票 - 仕訳発行条件設定]画面の[出力設定]ページの「支払先略称」にチェックを付け ると、印刷できます。

以下の用紙に印刷できます。

- ○[3371]仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- 〇[3372]仕訳伝票(OBC7行)
- ○[3381]単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- ○[3382] 単票仕訳伝票 (OBC7行)

【録 ● [仕入消費税額計算書]メニューを追加

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入消費税額計算書]メニューで、「課税仕入」や「課税仕入の返還 等」などの課税売上分・非課税売上分・共通売上分・合計(課税売上分・非課税売上分・共通 売上分の合計)の仕入高・仮払消費税を、税率ごとに、一覧で確認できるようになりました。 例えば、以下の場合にこのメニューを使用します。

- ○課税仕入と課税仕入以外の金額を確認する場合
- ○仕訳伝票を手動で作成するために、金額を確認する場合

▋オプションの機能アップ内容

≪販売管理≫---

● [消込済照会 [入金伝票基準]]メニューに転送機能を追加 <『奉行∨ ERP8』の『入金消込オプション』をお使いの場合>

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [入金伝票基準]]メニューで、転送機能が追加されました。

消込済の伝票の内容を、テキストファイル形式のデータとして転送できます。また、Microsoft Excelに直接出力することもできます。

≪仕入管理≫-----

● [消込済照会 [支払伝票基準]]メニューに転送機能を追加 <『奉行∨ ERP8』の『支払消込オプション』をお使いの場合>

[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[消込済照会 [支払伝票基準]]メニューで、転送機能が追加されました。

消込済の伝票の内容を、テキストファイル形式のデータとして転送できます。また、Microsoft Excelに直接出力することもできます。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.03

目次

※ 1 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
	≪法改正情報≫	
B	平成26年4月施行消費税8%改正に対応	2
	≪伝票≫	
R.	返品処理を効率化する機能を追加	3
	≪オリジナルフォーム≫	
	オリジナルフォームの印字項目で、接頭文字列・接尾文字列の文字数を拡張	4
	【商奉行∨ ERPの機能アップ内容】	
	≪販売管理≫	
	パターン管理できるメニューを追加	4

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪法改正情報≫--



| 🞯 🎐 平成26年4月施行消費税8%改正に対応

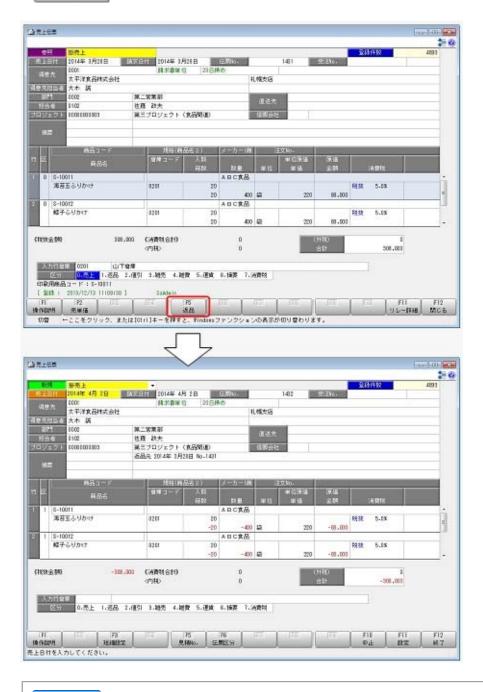
平成26年4月施行消費税8%改正に伴い、下記項目に対応しました。

- ・消費税率8%への引き上げ
- ・旧税率5%が適用される経過措置の取引入力



● 返品処理を効率化する機能を追加

返品対象となる伝票をもとに、返品の伝票を作成できるようになりました。 返品対象となる伝票を表示して<u>返品</u>を押すと、簡単に返品の伝票を作成できます。 ※ 返品 は、 [Ctrl] キーを押してWindowsファンクションを切り替えて表示します。



参 考

- ○返品対象となる伝票から、数量や金額の符号を変更して表示します。
- ○返品対象となる伝票の税率のままで返品の伝票を作成するため、経過措置に対応した返品処理の伝票も簡単に入力できます。

≪ 関連メニュー ≫

・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合)

- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー

《オリジナルフォーム》------

■ オリジナルフォームの印字項目で、接頭文字列・接尾文字列の文字数を拡張 オリジナルフォームの印字項目について、接頭文字列・接尾文字列の文字数が10文字から20文字に拡張されました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニュー

商奉行V ERPの機能アップ内容

≪販売管理≫一

● パターン管理できるメニューを追加

[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニューで、作成条件をパターンとして管理できるようになりました。

参考

利用者ごとに利用できるパターンを制限する場合は、[導入処理]-[権限登録]-[パターン権限登録]メニューを設定してください。



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.02

※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
	《全般》	
	「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応	3
13	電子記録債権の処理機能を追加	6
(F	管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存し、次回以降も同じ条件で 集計できる機能を追加	6
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
	パターン管理できるメニューを追加	6
	<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>	
	≪伝票≫	
	[得意先(請求先)情報]・[仕入先(支払先)情報]画面に、「住所1」「住所2」項目を追加	7
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
	≪随時処理≫	
	仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、『勘定奉行』側で使用している仕訳コード を検索したり、「仕訳伝票リスト」に勘定科目名を印字できるように変更	8
	≪その他≫	
THE P		9
200	く『参照専用ライセンス』をお使いの場合>	
	メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行:メニュー」を表示する機能を追加	9
	【商奉行V ERPの機能アップ内容】	
	≪販売管理≫	
	受注の出荷予定日・納品期日を明細ごとに管理する機能を追加	10
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
R.	受注の出荷予定日・納品期日を受注日付から自動計算する機能を追加	11
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
	FB入金データの受入条件を受入パターンとして保存する機能を追加	11
	<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>	
	【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】	
	≪仕入管理≫	
R.	発注の納品期日を明細ごとに管理する機能を追加	12
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	
R.	発注の納品期日を発注日付から自動計算する機能を追加	13
	<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>	
	手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合は「当方負担」に自動 で切り替える設定を追加	13
	<『奉行V ERP8』をお使いの場合>	



注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫-



IBW ● 「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応 「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス(以下、OMSS)」にご加入いただいて いるお客様向けに、当システムを活用して業務生産性や情報活用の向上を支援する「業務支援 サービス」をご用意しました。

また、新たに「OMSS+」というサービスも用意しています。「OMSS」にご加入いただ いているお客様が、製品や業務カテゴリごとに、さらに充実した便利さを追求いただくにあた り、お客様が選択できるサービスです。

「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

http://www.obc.co.jp/click/omss/

注意

- 〇「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。 「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなく なりますので、ご注意ください。
- 〇「OMSS+」は、「OMSS」にご加入いただいているお客様が、別途、追加料 金によってご利用いただけるサービスです。

当システムでは、以下の「業務支援サービス」について利用できます。

■電子記録債権連携サービス

操作説明(ヘルプ)では、以下のように記載しています。

〇「OMSS」の「業務支援サービス」で提供する機能

OMSS または『OMSS』

〇「OMSS+」の「業務支援サービス」で提供する機能

OMSS または『OMSS+』

■電子記録債権連携サービス

<「OMSS」をお使いの場合>

「電子記録債権」とは、事業者の資金調達の円滑化等を図るために創設された、既存の手形・売掛 債権とは異なる新たな金銭債権です。

このサービスをご利用いただくことで、金融機関の電子記録債権サービスでダウンロードした 電子記録債権データファイルをもとに、簡単に入金伝票を作成できます。

また、支払伝票をもとに、金融機関で受入できる電子記録債務データを出力することもできます。

〇電子記録債権データの受入機能(『商奉行』をお使いの場合)

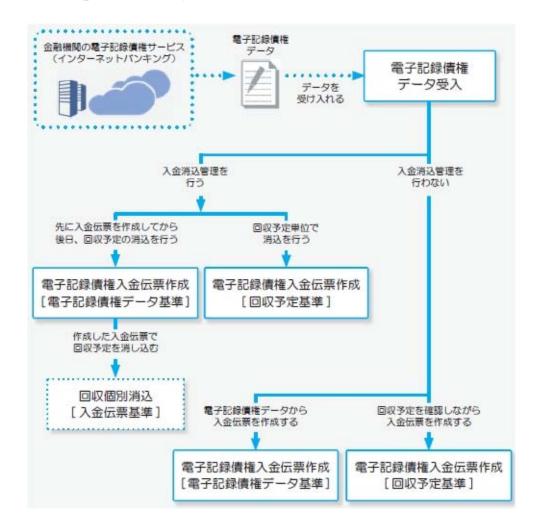
金融機関のインターネットバンキングなどで、ダウンロードした電子記録債権のファイル (以下、「電子記録債権データ」)を当システムに受け入れて、入金伝票を作成できるよう になりました。

また、電子記録債権データから入金伝票を作成すると同時に、回収予定単位で消し込むこともできます。

受け入れできるデータは、でんさいネット標準フォーマット(固定長テキスト形式)の「配信1」のデータです。

電子記録債権処理の流れは、以下のようになります。

管理する内容や処理方法によって、メニューの流れが異なります。お客様の運用にあわせた メニューをご利用ください。



≪ 新規メニュー ≫

- ・[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権データ受入]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [電子記録債権データ基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権データ確認表]メニュー
- ・「販売管理]-「入金処理]-「電子記録債権処理]-「電子記録債権データ削除]メニュー

〇電子記録債務データの作成機能(『蔵奉行』をお使いの場合)

[仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務処理]-[電子記録債務データ作成]メニューで、支払 伝票の支払区分が「8:電子記録債権」の支払明細を会社銀行ごとに集計し、電子記録債権 の発生記録請求データ(以下、「電子記録債務データ」)を作成できるようになりました。 作成されるデータ形式は、でんさいネット標準フォーマット(固定長テキスト形式)の「集 信1」形式のデータです。

作成した電子記録債務データは、各金融機関のWebシステムで取り込む必要があります。

上記、「業務支援サービス」の利用期間を確認できる、[管理ツール]-[ライセンス一覧]メニューが追加されました。

当システムで使用できる「業務支援サービス」について、利用期間を一覧で確認できます。 また、当システムおよびオプション製品についても、ライセンス情報(登録番号やライセン スキー等)を一覧で確認できます。

▼イメージ図



※利用期間やライセンス情報の最新情報は、以下の方法で取得できます。

【インターネット接続環境のコンピュータで、当システムをお使いの場合】 常に最新情報が表示されます。

【インターネットに接続されていないコンピュータで、当システムをお使いの場合】 OMSSにご加入いただいたお客様がダウンロードできる「OMSSライセンスファイル」を、[ライセンス一覧]メニューで読み込むことで最新情報を表示できます。

※[ライセンス一覧]メニューは、管理者だけに表示されます。

■ 電子記録債権の処理機能を追加

電子記録債権での入金([販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、入金区分に「8:電 子記録債権」を指定) や支払([仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、支払区分に 「8:電子記録債権」を指定)を処理できるようになりました。

これまでの入金伝票・支払伝票と同様に、回収予定の消込や支払予定の消込を行ったり、仕訳 伝票の作成などを行えます。

また、電子記録債権用の管理資料として、[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権管理表]メニ ュー・[仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務管理表]メニューが追加されています。

なお、『OMSS』加入の場合は、上記の「電子記録債権連携サービス」の機能もご使用いた だけます。



🜃 🏮 管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存し、次回以降も同 じ条件で集計できる機能を追加

<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存できるようになり、毎回同 じ条件で集計する場合に、設定する手間を省けるようになりました。

[条件設定]画面でコードを指定し、 [コード保存] ボタンをクリックすると、次回からは指定し たコードが表示され、同じ条件で集計できます。

また、メニューによってはコードだけでなく、付箋や利用情報などの集計条件も保存できるよ うになります。

● パターン管理できるメニューを追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。 さまざまな角度で集計・分析を行う場合に、それぞれの集計条件をパターンとして管理できる ため便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込確定]メニュー(『入金消込管理』オプションをお 使いの場合)
- ・[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金データ確認表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注検討表]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込確定]メニュー(『支払消込管理』オプションをお 使いの場合)
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[必要部品確認]メニュー
- ・[在庫管理]-[棚卸一括登録]メニュー

参考

利用者ごとに利用できるパターンを制限する場合は、[導入処理]-[権限登録]-[パター ン権限登録]メニューを設定してください。

- [得意先(請求先)情報]・[仕入先(支払先)情報]画面に、「住所1」「住所2」項目を追加
- <『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

伝票入力時に確認できる[得意先(請求先)情報]・[仕入先(支払先)情報]画面に、「住所 1」「住所2」が出力されるようになります。受注伝票の入力時に、得意先の住所によって納 品期日を変更する場合などに、住所をすぐに確認できて便利です。



- 〇[得意先(請求先)情報]画面は、得意先(請求先)の「住所1」「住所2」が出力されます。
 - ※[得意先(請求先)情報]画面は、得意先担当者欄・部門欄で<u>得意先情報</u>(<u>請求先情報</u>)を押すと表示されます。
- 〇[仕入先(支払先)情報]画面は、仕入先(支払先)の「住所1」「住所2」が出力されます。
 - ※[仕入先(支払先)情報]画面は、仕入先担当者欄・部門欄で<u>仕入先情報</u>(支払先情報)を押すと表示されます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

『受発注同時入力オプション』をお使いの場合

・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー

『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合

・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー

『入出荷管理オプション』をお使いの場合

・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー

≪随時処理≫-

● 仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、『勘定奉行』側で使用している仕 訳コードを検索したり、「仕訳伝票リスト」に勘定科目名を印字できるように変更 仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、連動先の『勘定奉行』側のデータ領域を設 定することで、以下の操作を行えるようになりました。

〇仕訳コードの検索

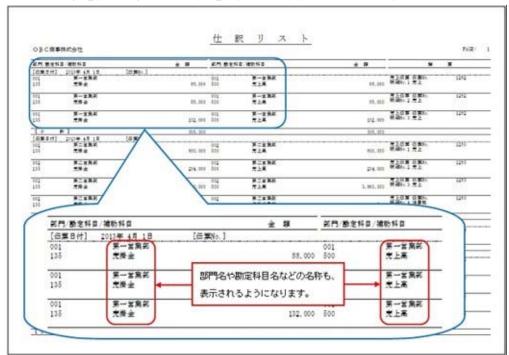
[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューで、検索画面を表示して『勘定奉行』側で使用している仕訳コードを検索できるようになりました。

連動先の『勘定奉行』側のデータを直接確認しながら設定できるため、勘定科目リストなどの印刷物を確認しながら入力する手間がなくなり、また設定ミスをなくすことができます。

〇「仕訳伝票リスト」への勘定科目名の印字

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、作成される仕訳を確認するための「仕訳伝票リスト」に、コードだけでなく勘定科目名などの名称も印字できるようになりました。

コードと名称を突き合わせて、仕訳を確認する手間がなくなります。



※連動先のデータ領域は、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[基本設定]ページで、[会社変更...] ボタンをクリックして設定します。

注意

連動先の『勘定奉行』のデータ領域は、以下のいずれかの場合だけ選択できます。

- 〇当システムと『勘定奉行』が、同じコンピュータにセットアップされている場合
- 〇当システムと『勘定奉行』 (ネットワーク対応製品) がセットアップされているコンピュータが、相互に相手のコンピュータ名を確認できるネットワーク環境で使用されている場合



I ● 『参照専用ライセンス』の初期画面を設定できるメニューを追加 **<『参照専用ライセンス』をお使いの場合>**

『参照専用ライセンス』の[お気に入り]画面について、管理者などが初期設定できる[管理ツ ール]-[お気に入りメニュー初期設定]メニューが追加されました。

[お気に入り]画面を初期設定すると、『参照専用ライセンス』の利用者がはじめてログインし た際に、設定した[お気に入り]画面が初期で表示されます。

『参照専用ライセンス』の利用者は、初期設定内容から、独自の[お気に入り]画面に変更する こともできます。



■ メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示する機能を 追加

[管理ツール]-[利用者別設定]メニューの[メニュー設定]ページのメニュー形式が「メニュー バー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示できるようになりました。

「メニューバー」の右下の 💹 アイコンをクリックすると、別ウィンドウで「奉行 i メニュ 一」を表示できます。

※「奉行iメニュー」のご利用には、インターネット接続環境が必要となります。

≪販売管理≫



● 受注の出荷予定日・納品期日を明細ごとに管理する機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

商品の中には、受注してから仕入先に発注が必要になる商品や、生産が必要になる商品があり、商品によって出荷予定日・納品期日が異なる場合があります。

今までは、1件の受注で出荷予定日・納品期日が異なる場合は、出荷予定日・納品期日ごとに 受注伝票を複数登録していました。

今回より、出荷予定日・納品期日を明細(商品)ごとに管理できるようになったため、1件の 受注で出荷予定日・納品期日が異なる場合でも、1枚の伝票でまとめて管理できるようになり ました。



受注伝票の出荷予定日・納品期日の管理方法は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の出荷予定日・納品期日」で選択できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力』オプションを お使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ※対応する汎用データ受入・自動実行汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。



● 受注の出荷予定日・納品期日を受注日付から自動計算する機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の出荷予定日・納品期日を自動計算する」にチェックを付け、何日後に出荷・納品するか日数を設定することによって、受注の出荷予定日・納品期日を自動計算して表示できるようになりました。

出荷・納品までにかかる日数が毎回決まっている場合に、入力の手間を省けます。

〇出荷予定日は、「受注日付+出荷までにかかる日数」で自動計算します。

出荷までにかかる日数は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の 出荷予定日・納品期日」により設定箇所が異なります。

- ・「伝票ごとに入力」場合
 - 自社で出荷までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの出荷予定日設定で設定します。
- ・「明細ごとに入力」の場合
 - 商品ごとに出荷までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの出荷予定日設定で設定します。
- ※[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの出荷予定日の休日カレンダーを設定すると、休日を考慮して出荷予定日を計算します。
- 〇納品期日は、「出荷予定日+納品までにかかる日数」で自動計算します。

納品までにかかる日数は得意先ごとまたは直送先ごとに設定します。[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの受注納品期日設定、[導入処理]-[直送先登録]メニューの受注納品期日設定で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力』オプションを お使いの場合)
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ※対応する汎用データ受入・自動実行汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。

▼ F B 入金データの受入条件を受入パターンとして保存する機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金受信データ受入]-[FB入金受信データ受入]メニュー・[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金受信データ受入]-[FB入金外部ファイル受入]メニューで、FB入金データを受け入れる条件を受入パターンとして登録できるようになりました。

銀行によって振込専用口座の口座の格納位置が異なる場合など、銀行ごとに受入パターンを設定すると、毎回設定する手間が省けます。

受入パターンは、[受入条件設定]画面で [パターン登録] ボタンをクリックして登録します。 [受入条件設定]画面でFB入金データの受入条件を設定し、 [更新] ボタンをクリックする と、受入条件が登録されます。

≪仕入管理≫·



● 発注の納品期日を明細ごとに管理する機能を追加

< 『奉行 V ERP8』をお使いの場合>

商品の中には、仕入先の出荷の都合によって納品期日が異なる場合があります。

今までは、1件の発注で納品期日が異なる場合は、納品期日ごとに発注伝票を複数登録していました。

今回より、納品期日を明細(商品)ごとに管理できるようになったため、1件の発注で納品期日が異なる場合でも、1枚の伝票でまとめて管理できるようになりました。



発注伝票の納品期日の管理方法は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注 伝票の納品期日」で選択できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力』オプションを お使いの場合)
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・「仕入管理]-「発注処理]-「発注検討表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー
- ※対応する汎用データ受入・自動実行管理にも同じ機能が追加されています。



■ 発注の納品期日を発注日付から自動計算する機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注伝票の納品期日を自動計算する」に チェックを付け、何日後に納品するか日数を設定することによって、発注の納品期日を自動計 算して表示できるようになりました。

納品までにかかる日数が毎回決まっている場合に、入力の手間を省けます。

納品期日は、「発注日付+納品までにかかる日数」で自動計算します。

納品までにかかる日数は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注伝票の納 品期日」により設定箇所が異なります。

〇「伝票ごとに入力」場合

仕入先ごとに納品までにかかる日数を設定します。「導入処理]-「仕入先登録]-「仕入先登録] メニューの発注納品期日設定で設定します。

〇「明細ごとに入力」の場合

商品ごとに納品までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュ 一の発注納品期日設定で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー(『受発注同時入力』オプションを お使いの場合)
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・「仕入管理]-「発注処理]-「発注検討表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー
- ※対応する汎用データ受入・自動実行管理にも同じ機能が追加されています。

■ 手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合は「当方負 担」に自動で切り替える設定を追加

< 『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

支払う際の手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合に、手数料 負担を自動で「当方負担」に切り替えできるようになりました。

支払先に対して[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの[振込]ページで「先方負担 最低振込金額」を設定すると、支払金額によって、手数料負担が自動で切り替わります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー (『支払消込オプション』をお使いの場合)
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー

≪随時処理≫



● 支払伝票の支払区分「2:銀行振込」の振込手数料に対する仕訳伝票作成の機能を強化 < 『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

○支払金額と先方負担の振込手数料を分けて仕訳を作成できるようになります。

今までは、支払伝票の支払区分「2:銀行振込」の明細から仕訳を作成する際に、10,000円を支払い、先方負担の振込手数料が210円の場合は、先方負担の振込手数料は支払金額に含まれて仕訳が作成されました。

	借方		貸方	
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円	

今回より、支払金額と先方負担の振込手数料を分けて仕訳を作成できるようになりました。

	借方		貸方
買掛金	9, 790円	当座預金	9, 790円
買掛金	210円	未払金	210円

振込手数料が翌月に一括で引き落とされる場合に、翌月に引き落とされる金額を「未払金」 として計上する場合などに利用します。

〇当方負担の振込手数料から仕訳を作成する際の貸方科目を設定できるようになります。

今までは、支払伝票の支払区分「2:銀行振込」の明細から仕訳を作成する際に、支払金額と当方負担の振込手数料のどちらも、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[銀行振込]ページの設定で設定した内容で貸方科目が設定されていました。

	借方		貸方
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円
支払手数料	210円	当座預金	210円

今回より、当方負担の振込手数料に対して、[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[振込手数料]ページの「支払伝票(当方負担)」で貸方科目を設定できるようになり、支払金額と当方負担の振込手数料の貸方科目を分けて仕訳を作成できるようになりました。

	借方		貸方
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円
支払手数料	210円	未払金	210円

振込手数料が翌月に一括で引き落とされる場合に、翌月に引き落とされる金額を「未払金」 として計上する場合などに利用します。

参考

これまでと同様に、支払金額と当方負担の振込手数料の貸方科目を分ける必要がない場合は、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[仕訳コード設定 [会社銀行]]画面の[振込手数料]ページの「支払伝票(当方負担)」を設定する必要はありません。 未設定の場合は、[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[銀行振込]ページの設定で仕訳が作成されます。

オプションの機能アップ内容

≪随時処理≫--

● 受発注同時の汎用データ作成・受入メニューを追加

く『受発注同時入力オプション』をお使いの場合>

受発注同時に対して、汎用データ作成・汎用データ受入が行えるようになります。

※対応する自動実行汎用データ作成・自動実行汎用データ受入メニューも追加されます。

≪ 新規メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受発注同時データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[受発注同時データ受入]メニュー

『自動実行管理オプション』をお使いの場合

- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[販売データ作成]-[自動実行受発注同時データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]-[販売データ受入]-[自動実行受発注同時データ受入]メニュー

● 売上仕入同時の汎用データ作成・受入メニューを追加

<『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>

売上仕入同時に対して、汎用データ作成・汎用データ受入が行えるようになります。

※対応する自動実行汎用データ作成・自動実行汎用データ受入メニューも追加されます。

≪ 新規メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上仕入同時データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上仕入同時データ受入]メニュー

『自動実行管理オプション』をお使いの場合

- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[販売データ作成]-[自動実行売 上仕入同時データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]-[販売データ受入]-[自動実行売 上仕入同時データ受入]メニュー



版売管理システム 商奉行V ERP・蔵奉行V ERP

機能アップガイド

Ver.2.01

※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容】	
	≪全般≫	
(F	請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を相殺する機能を追加 <『商奉行V ERP8』と『蔵奉行V ERP8』の両製品をお使いの場合>	2
(F	利用者ごとに、利用できるパターンを制限する機能を追加 <『奉行V ERP8』の『ネットワーク対応製品』をお使いの場合>	3
	パターン管理できるメニューを追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	4
	≪管理資料≫	
	[売上仕入対比表]メニューの集計条件を追加 <『商奉行V ERP8』と『蔵奉行V ERP8』の両製品をお使いの場合>	6
	[取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加 <『商奉行V ERP8』と『蔵奉行V ERP8』の両製品をお使いの場合>	6
	── 《随時処理》	
	せ訳伝票作成に伝票区分の指定機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	6
	汎用データ作成の出力条件を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	6
(F	汎用データを利用したリレー機能を追加 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	7
	[宛名ラベル作成]メニュー・[送り状印刷]メニューの機能を強化 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	10
	【商奉行∨ ERPの機能アップ内容】	
	≪販売管理≫	
13	予算管理の機能を強化	11
	【蔵奉行V ERPの機能アップ内容】	
	≪在庫管理≫	
	[在庫一覧表]メニューの集計条件を強化 <『奉行V ERP8』をお使いの場合>	12
	【オプションの機能アップ内容】	
	≪伝票≫	
	倉庫内振替伝票・倉庫間振替伝票で主ロケーションの初期値設定を追加 <『奉行V ERP8』の『ロット管理オプション』をお使いの場合>	12
	伝票を複写する際に、ロケーション・ロットの情報も複写するか設定する機能を追加 〈『ロット管理オプション』をお使いの場合〉	12
	≪自動実行管理≫	
	自動実行汎用データ作成で、汎用データの作成済履歴を作成パターンごとに管理するように変更 <『奉行> ERP8』の『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	13
	フェギロ v Fur of ov 『ロ却文目目44.ファコン』での区v.の物口/	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行V ERP・蔵奉行V ERP共通の機能アップ内容

≪全般≫



● 請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を相殺する機能を追加

<『商奉行∨ ERP8』と『蔵奉行∨ ERP8』の両製品をお使いの場合>

請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を確認しながら、相殺処理を行えるようになりました。

[販売管理]-[相殺処理]-[一括相殺処理]メニューで、指定した日付(集計日付)時点の請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を集計し、相殺する金額を指定します。

相殺処理を行うと、相殺する金額の入金伝票と支払伝票が作成され、売掛金残高と買掛金残高・未払金残高が減少します。

また、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「入金消込管理」「支払消込管理」にチェックが付いている場合は、「相殺した残高の集計元の伝票・開始残高」と「相殺処理によって作成された入金伝票・支払伝票」は消込済みの金額として集計され、回収消込・支払消込の対象になりません。



注意

相殺処理を行うには、あらかじめ得意先と仕入先を関連付けておく必要があります。 以下のどちらかのメニューで設定します。

- ○[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[相殺]ページ
- ○[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの[相殺]ページ

参考

- 〇請求書を発行することで作成される回収予定の回収方法を決定する際に、相殺済み の金額を考慮することもできます。
- ○支払明細書を発行することで作成される支払予定の支払方法を決定する際に、相殺 済みの金額を考慮することもできます。

B

- 利用者ごとに、利用できるパターンを制限する機能を追加
- <『奉行V ERP8』の『ネットワーク対応製品』をお使いの場合>

マスターや管理資料の各パターンに対して、権限を設定できるようになりました。

[導入処理]-[権限登録]-[パターン権限登録]メニューで、当システムの利用者ごとに、パターン権限(「一:未設定」「○:許可」)を設定します。

権限があるパターンに対してだけ入力・参照ができるように制限できます。

※[パターン権限登録]メニューは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「パターン権限」にチェックが付いている場合に使用できます。

▼例

売上明細表で以下のように複数のパターンが登録されている場合に、営業のOGAWAさんには、「担当者別得意先別売上明細表」(パターン)だけを参照・印刷できるようにします。



[パターン権限登録]メニューで、OGAWAさんに対して「担当者別得意先別売上明細表」に権限を設定します。



上記のように設定した場合、OGAWAさんが売上明細表を開くと、[集計パターン選択]画面には「担当者別得意先別売上明細表」だけが表示されます。

そのため、OGAWAさんは「担当者別得意先別売上明細表」の集計パターンだけを参照・印刷できます。



● パターン管理できるメニューを追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件・作成条件をパターンとして管理できるようになりました。

さまざまな角度で集計・分析を行う場合に、それぞれの集計条件をパターンとして管理できる ため便利です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定変更]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[入金データ作成]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[銀行別入金明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[受取手形管理表]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金伝票作成]-[FB入金伝票作成 [回収予 定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・[販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定変更]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[銀行別支払明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払手形管理表]メニュー
- ・[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー
- ・[仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ作成]-[商品データ作成] が 成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[得意先データ作成]-[得意先データ 作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[仕入先データ作成]-[仕入先データ 作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[見積書データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニュー

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[入金伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[発注伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[仕入伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[支払伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[出荷伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産予定データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[分解伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[倉庫間振替伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[預り品伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮出荷伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮入荷伝票データ作成]メニュー

『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [売上伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[滞留債権年齢表]メニュー

『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[消込済照会 [仕入伝票基準]]メニュー
- ・「仕入管理]-「債務支払処理]-「支払個別消込]-「消込済照会「支払伝票基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニュー

『入出荷管理オプション』をお使いの場合

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[出荷指示データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷予定データ作成]メニュー

『ロット管理オプション』をお使いの場合

・「随時処理]-「汎用データ作成]-「在庫データ作成]-「倉庫内振替伝票データ作成]メニュー

参考

- 〇旧バージョンからバージョンアップした場合は、旧バージョンで使用していた条件 (集計範囲や出力項目)が、メニュー起動時に新規パターンとして追加されます。
 - ▼追加されるパターンについて

追加されるパターンは、利用者ごとに「メニュー名[利用者アカウント名]」というパターン名になります。

- ※帳票タイトルを設定している場合は、パターン名は「帳票名[利用者アカウント名]」になります。
- ※旧バージョンで、該当メニューを使用していなかった利用者は、パターンは追加 されません
- ※通常、パターン名は20文字までの登録となりますが、自動で追加されるパターンは、21文字以上の場合でも登録されます。

ただし、パターン名を修正すると元に戻せませんので、ご注意ください。

〇[汎用データ作成]メニューでは、汎用データの作成済履歴を作成パターンごとに管理します。

≪管理資料≫

● [売上仕入対比表]メニューの集計条件を追加

<『商奉行∨ ERP8』と『蔵奉行∨ ERP8』の両製品をお使いの場合>

[販売管理]-[売上仕入対比表]メニューで、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

- ○△△別商品別・△△別商品区分別・得意先別・請求先別・仕入先別・支払先別・得意先区分別・仕入先区分別で集計できるようになりました。
- 〇[売上仕入対比表 条件設定]画面の[基本設定]ページの売上伝票区分・仕入伝票区分で、 集計内容を絞り込めるようになりました。

● [取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加

<『商奉行∨ ERP8』と『蔵奉行∨ ERP8』の両製品をお使いの場合>

[販売管理]-[取引実績一覧表]メニューで、得意先別・請求先別・仕入先別・支払先別・得意 先区分別・仕入先区分別で集計できるようになりました。

≪随時処理≫--

仕訳伝票作成に伝票区分の指定機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、作成する仕訳伝票の伝票区分を指定できるようになりました。

伝票区分を指定したい伝票に対して、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定(販売)ページ]・[伝票設定(仕入)]ページの伝票区分で「使用する」を選択します。

「使用する」を選択した伝票は、[仕訳伝票作成]メニューで仕訳伝票を作成する際に、伝票区分を指定できます。

伝票区分を指定すると、『勘定奉行』の合計残高試算表などの管理資料で、当システムから連動した仕訳伝票を除いた集計や、当システムから連動した仕訳伝票だけを集計できるようになります。

◉ 汎用データ作成の出力条件を追加

<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

今までは、汎用データを出力する場合は、未作成のデータだけを出力するか、作成済みのデータも含めて出力するかを選択できました。

今回より、未作成のデータをさらに細かく設定できるようになり、「新規に追加したデータ」と「汎用データを作成後に修正したデータ」を分けて出力できるようになりました。

他のアプリケーションと連動している場合など、汎用データを作成後に修正したデータだけを 確認したい場合に便利です。



≪ 関連メニュー ≫

- [随時処理] [汎用データ作成] [マスターデータ作成] [商品データ作成] [商品
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[得意先データ作成]-[得意先データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[仕入先データ作成]-[仕入先データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[見積書データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[入金伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[発注伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[仕入伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[支払伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[出荷伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷伝票データ作成]メニュー
- [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産予定データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[分解伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[倉庫間振替伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[預り品伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮出荷伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮入荷伝票データ作成]メニュー

『入出荷管理オプション』をお使いの場合

- ・「随時処理]-「汎用データ作成]-「在庫データ作成]-「出荷指示データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷予定データ作成]メニュー

『ロット管理オプション』をお使いの場合

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[倉庫内振替伝票データ作成]メニュー
- ※対応する自動実行汎用データ作成メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行管理オプション』をお使いの場合)

1-3

汎用データを利用したリレー機能を追加

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

[随時処理]-[汎用データ受入]メニューで、売上伝票(仕入伝票)の汎用データを受け入れる場合に、受注伝票(発注伝票)からリレーした伝票として受け入れることができるようになりました。

※ここでは、売上についてだけ説明しますが、仕入も同様です。

例えば、以下のように他のアプリケーションソフトと連動する場合に、受注伝票からリレーした売上伝票として受け入れることができます。

- 1. [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニューから 受注データを出力する
- 2. 他のアプリケーションソフトで、「1.」の受注データを読み込む
- 3. 他のアプリケーションソフトで出荷処理を行い、出荷したデータ(売上データ)を出力 する
- 4. [随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メニューで、「3.」の売上データを受け入れる (受注伝票からリレーした売上伝票として受け入れられます。)

≪[汎用データ作成]メニューの機能追加≫

[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニューで、受注 伝票のデータを[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メ ニューで受け入れできる汎用データとして作成できるようになりました。

[受注伝票データ作成]メニューの[出力条件設定]画面の[拡張項目]ページの[売上伝票データ受入]メニューで受け入れできる形式で出力する」にチェックを付けると、受注伝票のデータを売上伝票用の汎用データに変換して出力します。



参考

[汎用データ作成]メニューの[出力条件設定]画面で、以下の内容を設定すると、出力するデータにリレーに必要な情報を含めることができます。

- 〇[拡張項目]ページの「[売上伝票データ受入]メニューで受け入れできる形式で出力する」にチェックを付ける
- 〇[項目選択]ページの出力項目で、「受注ID」「受注明細ID」「出荷予定区分」「数量」を選択済項目に設定する
 - ※上記以外の項目については、必要に応じて選択済項目に設定してください。

≪[汎用データ受入]メニューの機能追加≫

[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メニューで伝票を受け入れる際に、汎用データに以下のリレー情報を設定することで、リレーした伝票として受け入れることができます。

リレー情報:

売上伝票	受注ID	受注明細ID	出荷区分
仕入伝票	発注ID	発注明細ID	入荷区分

参 考

リレー情報は、伝票画面でも確認できます。

▼<u>「受注ID」「受注明細ID」の確認方法</u>

[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニューで、[受注伝票 - 設定]画面の[表示設定]ページの伝票ID表示を「する」に設定します。

該当の伝票を画面に表示すると「受注ID」「受注明細ID」が表示されます。



▼<u>「発注ID」「発注明細ID」の確認方法</u>

[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニューで、[発注伝票 - 設定]画面の[表示設定]ページの伝票ID表示を「する」に設定します。

該当の伝票を画面に表示すると「発注ID」「発注明細ID」が表示されます。



● [宛名ラベル作成]メニュー・[送り状印刷]メニューの機能を強化

<『奉行∨ ERP8』をお使いの場合>

○送り状・宛名ラベルを印刷する際の絞込項目を追加しました。

[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、印刷基準が「伝票」の場合に、より詳細な絞り込みが行えるようになりました。

▼追加された絞込項目

伝票	絞込項目
売上伝票	請求日付・プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・ 商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品 区分1~10・倉庫区分・付箋
受注伝票	出荷予定日・納品期日・プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分・付箋
出荷指示	プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分
仕入伝票	精算日付・プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・ 商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品 区分1~10・倉庫区分・付箋
発注伝票	納品期日・プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・ 商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品 区分1~10・倉庫区分・付箋
入荷予定	プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分
出荷伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分
倉庫間振替伝票	出荷日付・入荷日付・振替元プロジェクトコード・摘要・摘要 2・3・商品名・商品名2~6・備考・担当者区分・商品区分 1~10
預り品伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分
仮出荷伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・3・商品名・商品名2~6・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1~10・倉庫区分

〇送り状の宛先を個別指定した場合にも、請求先や支払先・倉庫ごとに指定したフォームで印刷できるようになりました。

[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、[送り状印刷 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの指定方法が「個別指定」の場合に、[送り状印刷 - 条件設定]画面の[出力設定]ページのフォーム設定を選択できるようになりました。

特定の請求先や支払先に送り状を印刷する場合に、請求先や支払先ごとに指定したフォームで印刷できます。

≪販売管理≫−

| ● 予算管理の機能を強化

〇[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算登録]メニューで、登録できる予算の組み合わせが増え

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

今までは、2次元の予算を登録する場合は、「部門別〇〇別」か「倉庫別〇〇別」の限られ た組み合わせしか登録できませんでした。

今回より、以下のマスターを自由に組み合わせて予算を登録できるようになりました。

「担当者別得意先別」や「得意先別商品別」などのより詳細な予算を登録できるようになり ます。

組み合わせられ	るマスター			
得意先	請求先	部門	担当者	商品
倉庫	得意先区分	担当者区分	商品区分	倉庫区分

[※]一部組み合わせできない場合があります。

〇[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算実績対比表]メニューで、4次元の集計が行えるように なりました。

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

今までは、「部門別得意先別」や「倉庫別商品別」のように2次元までしか集計できません でした。

今回より、「得意先区分別得意先別商品区分別商品別」のように4次元まで集計できるよう になりました。

予算と実績をより詳細に分析できるようになります。

〇予算実績対比表の「商品区分別」や「商品別」の集計で、「0:一般商品」以外の商品も集 計できるようになりました。

[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算実績対比表]メニューで、「商品区分別」や「商品別」 の売上実績を集計する場合に、[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[基本]ページ の明細区分が「0:一般商品」以外の商品についても集計できるようになりました。

「5:消費税」もあわせて集計できるようになるため、商品区分別や商品別の売上実績を税 込みで出力できるようになります。

[予算実績対比表]メニューの[予算実績対比表 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「一 般商品以外も集計する」で設定します。

≪在庫管理≫一

● [在庫一覧表]メニューの集計条件を強化

<『奉行V ERP8』をお使いの場合>

今までは、[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューで集計対象を絞り込む場合は、「在庫数量(※)のあるもの」と「対象期間に入出荷明細があるもの」のどちらかの条件を選択できました。

今回より、「在庫数量のあるもの」と「対象期間に入出荷明細のあるもの」の両方の条件を設定して集計できるようになりました。

「在庫数量のあるもの」と「対象期間に入出荷明細のあるもの」の両方の条件を設定した場合は、どちらかの条件に当てはまるものが集計されます。

※「在庫数量のあるもの」の在庫数量として、「在庫合計」「現品残数」「合計残数」のいずれかを選択できます。

オプションの機能アップ内容

≪伝票≫

■ 倉庫内振替伝票・倉庫間振替伝票で主ロケーションの初期値設定を追加

<『奉行∨ ERP8』の『ロット管理オプション』をお使いの場合>

[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫内振替伝票]メニュー・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニューで、商品コードを入力した際に、振替元ロケーション・振替先ロケーションに商品の[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[在庫]ページの主ロケーションを初期値として表示できるようになりました。

[設定]画面の「振替元ロケーションの初期表示」「振替先ロケーションの初期表示」で設定します。

● 伝票を複写する際に、ロケーション・ロットの情報も複写するか設定する機能を追加 <『ロット管理オプション』をお使いの場合>

今までは、伝票を複写するとロケーション・ロットの情報も複写していました。

今回より、ロケーション・ロットの情報を複写するかを設定できるようになりました。

各メニューの[設定]画面の「複写時のロケーション複写」「複写時のロット複写」で設定します。

ロケーション・ロットを入力し直す場合は、表示されている内容を削除する手間がなくなるなど、お客様の業務にあわせて設定できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー(『売上仕入同時入力』オプションをお使いの場合)
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫内振替伝票]メニュー(『ロット管理』オプションをお 使いの場合)

- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

≪自動実行管理≫--

自動実行汎用データ作成で、汎用データの作成済履歴を作成パターンごとに管理する ように変更

<『奉行∨ ERP8』の『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[自動実行汎用データ作成]メニューの各メニューで複数の作成パターンを管理している場合に、今までは、すべての作成パターン共通で汎用データの作成済履歴を管理していました。 今回より、作成パターンごとに汎用データの作成済履歴を管理するようになりました。

▼<u>例</u>

作成パターンが「社内確認用」「他のアプリケーションとの連動用」と用途の異なる作成パターンがある場合です。

今までは、「社内確認用」で汎用データを作成したデータは、「他のアプリケーションとの 連動用」でも作成済みのデータとなっていました。

今回より、作成パターンごとに作成済履歴を管理するため、「社内確認用」で汎用データを 作成したデータは、「他のアプリケーションとの連動用」では未作成のデータとなります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[自動実行 商品データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[自動実行 得意先データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[自動実行 仕入先データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[販売データ作成]-[自動実行受注 伝票データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[販売データ作成]-[自動実行売上 伝票データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[販売データ作成]-[自動実行入金 伝票データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[自動実行発注 伝票データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[自動実行仕入 伝票データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[自動実行支払 伝票データ作成]メニュー

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.2.00





※ 「「マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容】	
≪販売管理・仕入管理≫	
伝票No. ・請求No. ・支払No. の機能を強化	
リレー時に消費税を再計算する機能を追加	
FAX送信が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応	
≪随時処理≫	
仕訳伝票作成の機能を強化	
≪その他の変更情報≫	
Windowsの [スタート] ボタンからの、ヘルプ等の起動方法を変更	
【商奉行∨の機能アップ内容】	
≪販売管理≫	
受注伝票から売上伝票に一括でリレーできる機能を追加	
仮受金・前受金の管理機能を追加	
≪管理資料≫	
銀行別入金明細表・銀行別入金集計表に出力条件を追加	
【蔵奉行∨の機能アップ内容】	
≪仕入管理≫	
発注伝票から仕入伝票に一括でリレーできる機能を追加	
前払金の管理機能を追加	
【オプションの機能アップ内容】	
《マスター・伝票》	
ロットの検索画面で、検索結果を有効期限順に並べる設定を追加	
<『ロット管理オプション』をお使いの場	易合>
≪販売管理・仕入管理≫	
受発注同時入力の機能を追加	
<『受発注同時入力オプション』をお使いの場	易合>
売上仕入同時入力の機能を追加	
<『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場	易合>
[検収売上確定]メニューや[検収仕入確定]メニューの絞込項目を追加	
<『入出荷管理オプション』をお使いの場 	易合>
≪自動実行管理≫	
登録したスケジュールが正しく実行されるかを、事前に確認できる機能を追加	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容

≪販売管理·仕入管理≫·

● 伝票No.・請求No.・支払No.の機能を強化

〇伝票No.・請求No.・支払No.に「初期No.」を設定できるようになります。

今までは、付番方法が「年度」「月度」の場合は、年度更新後の翌期(再来期)に付番される伝票No.・請求No.・支払No.は、必ず「1」でした。

今回より、年度更新後の翌期(再来期)に付番する伝票No.・請求No.・支払No.を、あらかじめ「初期No.」として設定できるようになります。

毎年、同じ伝票No.・請求No.・支払No.から付番する場合に、自動的に設定されるので便利です。

伝票No.:[導入処理]-[伝票開始No.登録]メニューの各メニューで設定します。

請求No.:[請求書発行 - No.情報]画面で設定します。

支払No.: [支払明細書発行 - No.情報]画面で設定します。

▼<u>例</u>

伝票No. を 年度ごと得意先ごとに設定する場合、以下のように初期No. を設定すると、毎年、得意先Aは「A-0001」、得意先Bは「B-0001」から伝票No. を付番できます。



〇伝票No. を一覧形式で入力できるようになります。

今までは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの付番方法が「月度」で、付番基準が「得意先別」の場合など、複数の伝票No. を設定する場合は、1件ずつ条件を設定して個別に伝票No. を入力していました。

今回より、一覧形式で入力できるようになるため、複数の伝票No. をまとめて設定しやすくなります。



● リレー時に消費税を再計算する機能を追加

今までは、リレー機能を使用して伝票を登録する場合は、リレー元の伝票の消費税をそのまま リレー先の伝票の消費税として表示していました。

今回より、リレー先の伝票日付にあわせた消費税に、自動的に再計算できるようになります。 消費税を再計算させる設定は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレー時 の消費税再計算設定」で伝票ごとに設定できます。

● FAX送信機能が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応 FAX送信機能が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応しました。

≪随時処理≫

● 仕訳伝票作成の機能を強化

〇『勘定奉行[建設業編]』との仕訳伝票データの連動に対応できるようになります。 [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで作成した仕訳伝票を、『勘定奉行 [建設業編]』で受け入れできるようになります。

連動対象製品は、[仕訳連動初期設定]メニューの[基本設定]ページで設定します。

〇「FB入金作成伝票の仕訳伝票」の設定場所が変わります。

今まで、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで設定していた「FB入金作成伝票の仕訳伝票」の設定が、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定するようになります。

今までは、仕訳伝票を作成するたびにFB入金作成伝票の仕訳伝票を含むかどうかを選択する必要がありました。

今回より、あらかじめ[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定できるようになったため、仕訳伝票を作成するたびに選択する手間が省けます。

〇[仕訳伝票作成]メニューの画面で、連動方法を選択しなくてよくなります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、 実行 を押した後に表示される画面が変わります。

今までは、[実行]を押した後に表示される画面で、連動方法(ファイル連動・直接連動)を 選択して仕訳伝票を作成していました。

今回より、仕訳伝票を作成するたびに連動方法を選択する手間がなくなり、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定した連動方法で仕訳伝票を作成するようになります。

○『勘定奉行』で伝票No. を自動で付番する設定にしていても、当システムで作成した仕訳伝票の伝票No. のまま受け入れできるようになります。

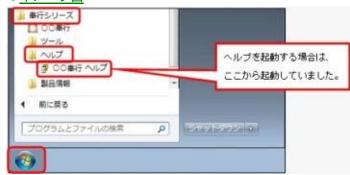
今までは、『勘定奉行』で伝票No. を自動で付番する設定にしている場合に、当システムで作成した仕訳伝票の伝票No. は受け入れる際に再付番されるため、伝票を突き合わせにくくなっていました。

今回より、『勘定奉行』に追加された付番伝票の設定で「勘定奉行内で登録する伝票」を選択することで、再付番されることなく、そのまま受け入れできるようになります。

≪その他の変更情報≫−

Windowsの [スタート] ボタンからの、ヘルプ等の起動方法を変更 今までは、 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[奉行シリーズ]から、 ヘルプ等を起動していました。

▼イメージ図



今回より、 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[奉行シリーズ]-[ツール]-[〇〇奉行 ツール]から、ヘルプ等を起動します。

▼イメージ図



商奉行Vの機能アップ内容

≪販売管理≫

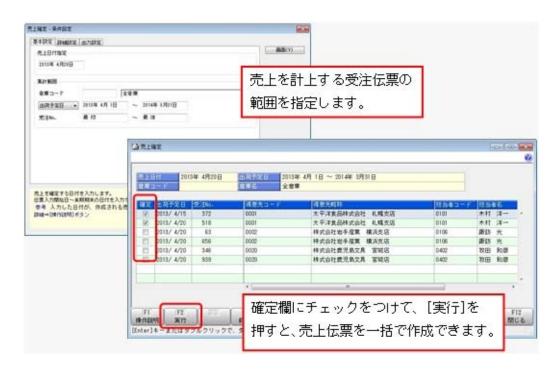
● 受注伝票から売上伝票に一括でリレーできる機能を追加

受注伝票を売上伝票にリレーする場合、今までは、[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニューで1伝票ずつリレーしていました。

今回より、[販売管理]-[売上処理]-[売上確定]メニューで、リレーする受注伝票の範囲を指定して、一括で売上伝票にリレーできるようになります。

受注伝票を一度にまとめてリレーできるため、リレーする手間が省け、効率的に作業できます。

※作成される売上伝票は、すべて「全数出荷」になります。





【録 ● 仮受金・前受金の管理機能を追加

「仮受金」「前受金」の業務に対応できるようになります。

仮受金・前受金を登録することで、過入金や内金・手付金の受け取りなどを管理できるように なります。

また、仮受金・前受金からの回収予定の消し込みや、仕訳伝票の作成も行うことができます。

仮受金:

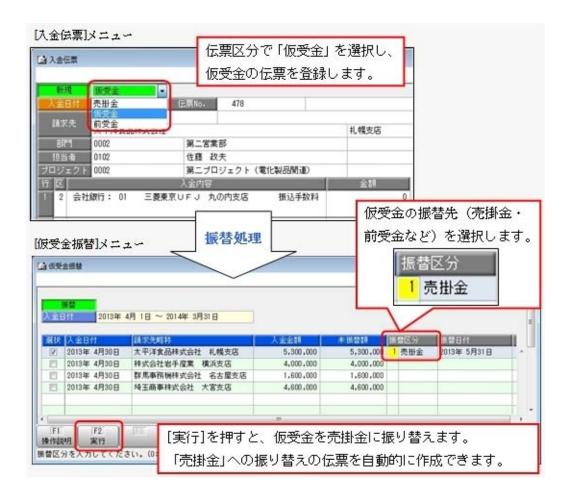
内容が明らかでない入金(過入金など)を受け取った場合に、[販売管理]-[入金処理]-[入 金伝票]メニューで伝票区分を「仮受金」として伝票を登録します。

その後、使用用途が判明したタイミングで、「販売管理]-「仮受金振替]-「仮受金振替]メニュ 一で仮受金から前受金・売掛金(伝票区分が「前受金」「売掛金」の振替伝票)に振り替え ます。

前受金:

内金や手付金を受け取った場合に、[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで伝票区分 を「前受金」として伝票を登録します。

その後、売上を計上するタイミングで、[販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニューで 前受金から売掛金(伝票区分が「売掛金」の振替伝票)に振り替えます。



≪ 新規メニュー ≫

- ・[販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金振替]メニュー
- ・[販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金受払帳]メニュー
- ・ [販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニュー
- ・ [販売管理]-[前受金振替]-[前受金残高一覧表]メニュー

≪管理資料≫

● 銀行別入金明細表・銀行別入金集計表に出力条件を追加

[販売管理]-[入金処理]-[銀行別入金明細表]メニューと[販売管理]-[入金処理]-[銀行別入金集計表]メニューで、「銀行振込額」に「振込手数料」を含めて集計できるようになります。 [条件設定]画面の[出力設定]ページの「銀行振込額に振込手数料も含める」で設定します。



蔵奉行Vの機能アップ内容

B

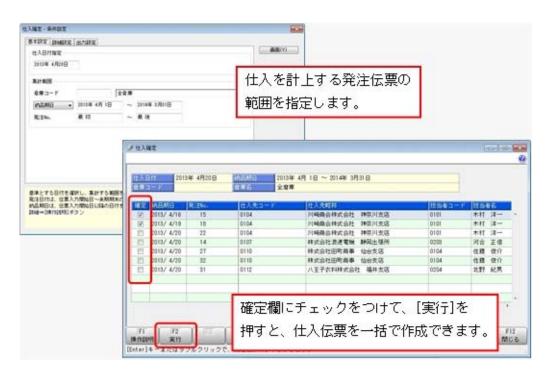
● 発注伝票から仕入伝票に一括でリレーできる機能を追加

発注伝票を仕入伝票にリレーする場合、今までは、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニューで1伝票ずつリレーしていました。

今回より、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入確定]メニューで、リレーする発注伝票の範囲を指定して、一括で仕入伝票にリレーできるようになります。

発注伝票を一度にまとめてリレーできるため、リレーする手間が省け、効率的に作業できます。

※作成される仕入伝票は、すべて「全数入荷」になります。



| ○ 前払金の管理機能を追加

「前払金」の業務に対応できるようになります。

前払金を登録することで、内金や手付金の支払いなどを管理できるようになります。 また、前払金からの支払予定の消し込みや、仕訳伝票の作成も行うことができます。

前払金:

内金や手付金を支払った場合に、[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで伝票区分を 「前払金」として伝票を登録します。

その後、仕入を計上するタイミングで、[仕入管理]-[前払金振替]-[前払金振替]メニューで 前払金から買掛金・未払金(伝票区分が「買掛金」や「未払金」の振替伝票)に振り替えま す。



≪ 新規メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[前払金振替]-[前払金振替]メニュー
- ・[仕入管理]-[前払金振替]-[前払金残高一覧表]メニュー

オプションの機能アップ内容

≪マスター・伝票≫

● ロットの検索画面で、検索結果を有効期限順に並べる設定を追加 <『ロット管理オプション』をお使いの場合>

[ロット検索]画面で「有効期限順で並べる」が選択できるようになります。 「有効期限順で並べる」を選択すると、ロットの有効期限が古い順に画面に表示されます。

≪販売管理・仕入管理≫



● 受発注同時入力の機能を追加

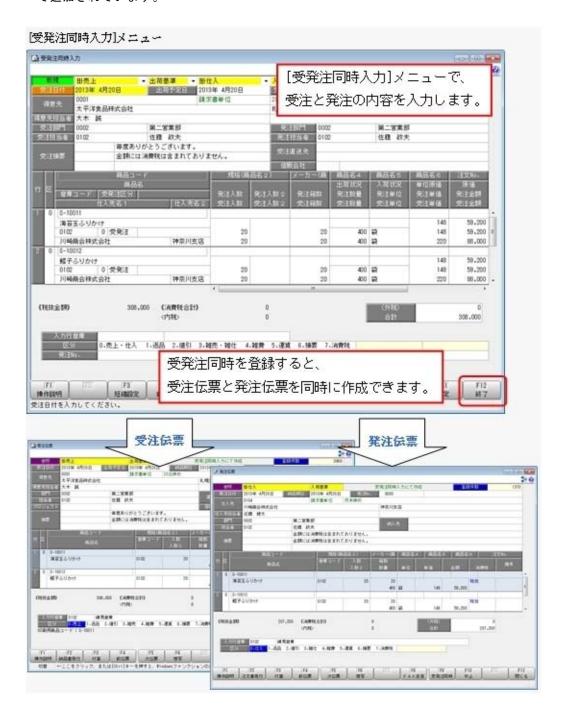
<『受発注同時入力オプション』をお使いの場合>

[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニューで、受注伝票と発注伝票を同時に作成できるようになります。

仕入先から得意先に商品を直接発送する際など、受注時に即発注が必要な場合に、受注と発注 を同時に計上することができます。

また、[受発注同時入力]メニューでは、納品書の発行(印刷・FAX送信)や注文書の発行(印刷・FAX送信)も行えます。

※[受発注同時入力]メニューに対応する入力権限登録・伝票承認・データー括削除も、あわせて追加されています。





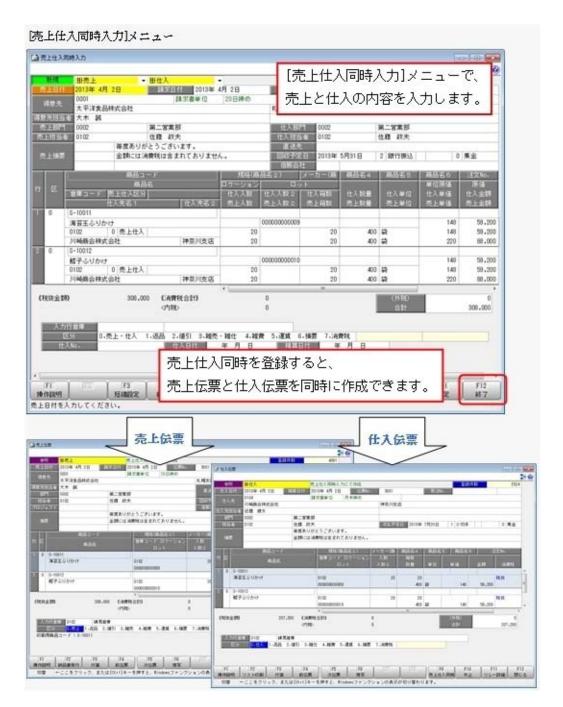
| ○ 売上仕入同時入力の機能を追加

< 『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>

[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニューで、売上伝票と仕入伝票を同時に作成で きるようになります。

仕入先から得意先に商品を直接発送する際などに、売上と仕入をまとめて計上できます。 また、[売上仕入同時入力]メニューでは、納品書も発行(印刷・FAX送信)できます。

※[売上仕入同時入力]メニューに対応する入力権限登録・伝票承認・データー括削除も、あわ せて追加されています。



● [検収売上確定]メニューや[検収仕入確定]メニューの絞込項目を追加 <『入出荷管理オプション』をお使いの場合>

検収売上や検収仕入を集計する際に、得意先区分1~5・仕入先区分1~5を指定して絞り込めるようになります。

得意先区分を得意先の担当者ごとに分けて登録している場合に、得意先区分ごとに集計することで、自身の担当する得意先だけを確認し、処理できるようになります。

各メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで設定できます。

≪ 新規メニュー ≫

- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上検収処理]-[未検収売上リスト]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上検収処理]-[検収売上確定]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入検収処理]-[未検収仕入リスト]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入検収処理]-[検収仕入確定]メニュー

≪自動実行管理≫--

● 登録したスケジュールが正しく実行されるかを、事前に確認できる機能を追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[自動実行管理]-[スケジュール登録]メニューで、登録したスケジュールが正しく実行されるかを、事前に実行して確認できるようになります。

[スケジュール登録]画面で今すぐ実行するスケジュールを選択し、 即時実行 を押します。

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.54





※ 1 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容】	
	≪マスター≫	
	マスターの検索機能を強化	3
	≪伝票≫	
(F	1 画面に表示する明細行を増やす機能を追加	4
F	伝票のリスト印刷の機能を強化	5
(F	在庫割れチェックの機能を強化	7
	伝票No. の重複チェックの機能を強化	8
	伝票の検索機能を強化	8
	リレー元伝票の検索機能を強化	9
	リレー時の付番設定の機能を強化	9
	伝票からジャンプできるマスターを追加	10
	≪伝票・販売管理≫	
	専用用紙の印刷に伝票間補正の機能を追加	10
	≪管理資料≫	
	一部の項目を常に表示させる機能を追加	11
	管理資料の画面上で、指定した階層だけを一覧で表示する機能を追加	12
	推移表の横計(各月の合計)を出力する機能を追加	13
	≪随時処理≫	
	仕訳伝票作成の機能を強化	13
	汎用データを受け入れる際に開始伝票No. を更新しない設定を追加	14
	汎用データ受入時に、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定の精度を 向上	15
	【商奉行∨の機能アップ内容】	
	≪伝票≫	
(F	与信額チェックの機能を強化	15
13F	粗利益チェックの機能を追加	16
	伝票登録時の原価割れチェックの機能を追加	17
	≪販売管理≫	
	請求書の印刷機能を強化	17
	回収予定の機能を強化	18
	≪管理資料≫	
	売掛金残高一覧表から得意先元帳へのジャンプ機能を追加	19

【蔵奉行∨の機能アップ内容】	
≪仕入管理≫	
支払明細書の印刷機能を強化	20
支払予定の機能を強化	20
≪管理資料≫	
買掛金残高一覧表や在庫一覧表から元帳へのジャンプ機能を追加	21
[在庫一覧表]メニューの集計条件を追加	22
[必要部品確認]メニューの出力機能を強化	22
【オプションの機能アップ内容】	
≪仕入管理≫	
入荷予定に検収機能を追加	23
<『入出荷管理オプション』をお使いの場合>	
≪自動実行管理≫	
仕訳伝票の作成方法の設定箇所を変更	23
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
『自動実行管理オプション』で利用しているサービス名を変更	24
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
スケジュール完了通知メールの暗号化(SSL)に対応	24
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
自動実行完了通知メールに「パターン名」も明示	24
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容

《マスター》-----

● マスターの検索機能を強化

日々のマスターの登録チェックを行う際に、「本日」入力した分だけを検索しやすくなります。

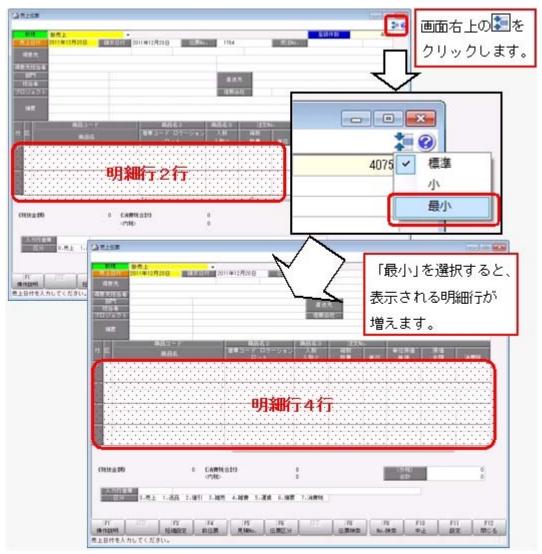
[条件設定]画面の[利用情報]ページで、「本日分」にチェックを付けることで、本日登録したデータだけを検索できます。

- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー
- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品一括登録]メニュー
- ・[導入処理]-[商品登録]-[セット商品登録]メニュー
- ・[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニュー
- ・[導入処理]-[得意先登録]-[得意先一括登録]メニュー
- ・[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニュー
- ・[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先一括登録]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[構成品登録]メニュー



● 1 画面に表示する明細行を増やす機能を追加

画面上に表示される明細の間隔を「標準」「小」「最小」から調整することができます。 1明細の間隔を小さくすることで、1画面に多くの明細が表示されます。



※お客様の環境によって、表示される明細数は異なります。



【録 ● 伝票のリスト印刷の機能を強化

〇伝票のリスト印刷時に、1伝票の印刷が1ページ内に収まらない場合は、改ページでき るようになります。

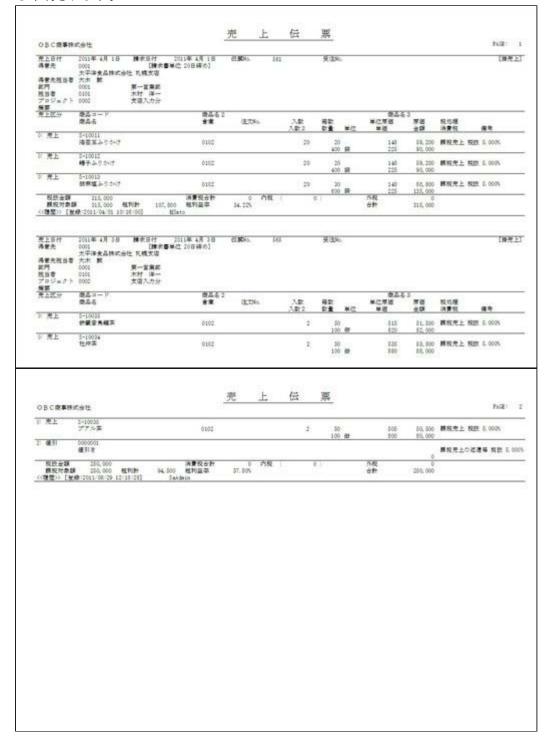
伝票の印刷時に、[リスト印刷]画面の[出力設定]ページで「1伝票の印刷がページ内に 収まらない場合は改ページする」にチェックを付けます。

▼例

1ページに2伝票印刷される場合で、2つ目の伝票の情報が1ページ内に収まらない場 合は、チェックを付けると2つ目の伝票が次のページから印刷されます。

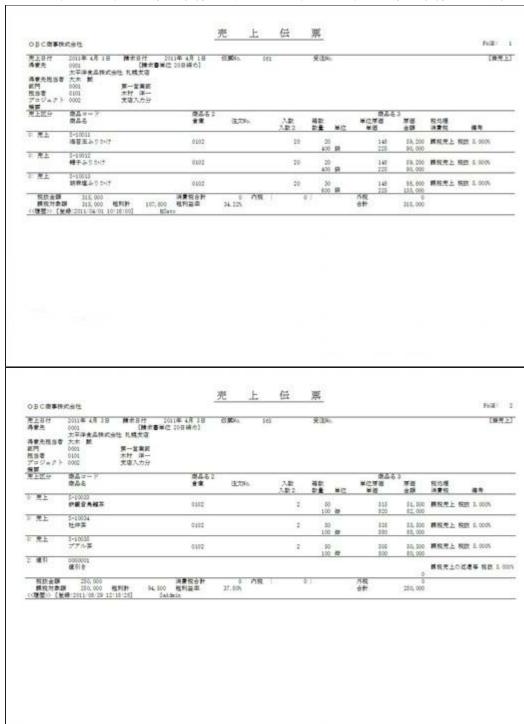
チェックが付いていない場合:

1ページ目に2つ目の伝票の途中までが印刷され、2ページ目に2つ目の伝票の途中か ら印刷されます。



チェックが付いている場合:

1ページ目に1つ目の伝票が印刷され、2ページ目に2つ目の伝票が印刷されます。



〇応用用紙1ページに印刷できる伝票数を増やせるようになります。

伝票の印刷時に、「リスト印刷条件設定]画面で以下の内容を設定することで、1ページ に印刷できる伝票数を増すことができます。お客様の見やすさに合わせて調整してくだ さい。

- ・[印刷設定]ページの「フォントサイズを指定する」にチェックを付けて、フォントサ イズを小さくする
- ・[印刷設定]ページの「間隔を補正する」にチェックを付けて、行間補正にマイナスの 値を入れる
- ・[項目設定]ページの印字項目で、印刷に必要ない項目のチェックを外す

【除 ● 在庫割れチェックの機能を強化

〇伝票入力時に、商品の数量がある一定の在庫数(警告在庫数)を下回る場合に、警告メ ッセージを表示できるようになります。

商品が在庫割れになる前に警告メッセージを出すことができるため、在庫割れを未然に 防ぐことができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫割れ警告ライン」で、警告在 庫数の掛率を設定できます。

≪ 関連メニュー ≫

- [販売管理] [見積処理] [見積書] メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ※対応する汎用データ受入・自動実行汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加さ れています。
- 〇明細の入力中にも在庫割れチェックを行えるようになります。

商品の倉庫や数量などを変更したタイミングで、在庫割れチェックを行えます。 各伝票の[設定]画面の「入力時在庫割れチェック」で設定できます。

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ 「販売管理]-「受注処理]-「受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・「在庫管理」-「倉庫振替処理」-「倉庫内振替伝票」メニュー(『ロット管理オプショ ン』をお使いの場合)
- ・「在庫管理]-「倉庫振替処理]-「倉庫間振替伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-「仮出荷処理]-「仮出荷伝票]メニュー

〇同時処理(同時発注処理・同時仕入処理・同時生産処理)を行う明細を在庫割れチェックの対象にするかを選択できるようになります。

自社では在庫を持たずに、受注(売上)した時点で発注(仕入・生産)する商品などを、在庫割れチェックの対象外に設定することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫割れチェック設定」で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行契約売上データ作成]メニュー(『自動実行 オプション』をお使いの場合)

■ 伝票No. の重複チェックの機能を強化

今までは、伝票No. の重複チェックを行う場合は、伝票No. が重複する伝票は登録できませんでした。

今回より、伝票No.が重複する場合でも、伝票を登録するかを選択できるようになります。

伝票No. が重複した場合でも、伝票を一度登録し、後から伝票No. を修正することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「重複チェック設定」で、伝票No. が 重複した場合の対処方法で設定できます。

※伝票は登録できますが、そのままでは伝票No. が重複してしまいます。そのため、登録後に伝票No. を調整することをおすすめします。

● 伝票の検索機能を強化

〇日々の伝票の入力チェックを行う際に、「本日」入力した分だけを検索しやすくなりま す。

[条件設定]画面の[利用情報]ページで、「本日分」にチェックを付けることで、本日登録したデータだけを検索できます。

※各伝票に対応する伝票承認・汎用データ作成・データー括削除・自動実行汎用データ 作成メニューにも同じ機能が追加されています。

〇伝票の検索条件をパターンとして保存できるようになります。

伝票の検索条件をパターンとして保存することで、次回以降の伝票検索をよりスムーズ に行うことができます。

[検索条件設定]画面で [パターン登録] ボタンをクリックすると、検索条件をパターンとして保存します。

● リレー元伝票の検索機能を強化

リレー元の伝票を検索する際に、検索条件として明細の項目 (「商品コード」や「商品名」など)を指定した場合に、条件にあう明細がリレーしていない伝票だけを検索結果として表示するようになります。

※明細内訳・在庫内訳を使用している伝票は、検索条件にあう明細内訳・在庫内訳がある伝票 が検索結果に表示されるようになります。

▼例

すでに1明細目だけが売上伝票に全数出荷されている受注伝票の場合

受注伝票

1明細目:商品A 3個 (売上伝票に全数出荷済み)

2明細目:商品B 2個

売上伝票から受注伝票を検索すると、

検索条件に「商品A」を指定した場合は、上記の受注伝票は検索結果に表示されません。 検索条件に「商品B」を指定した場合は、上記の受注伝票が検索結果に表示されます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[入荷予定]-[個別入荷予定]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・「在庫管理]-「預り品処理]-「預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

● リレー時の付番設定の機能を強化

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレーを行う場合の付番設定」を、 伝票ごとに設定できるようになります。

今までは、リレーする際に、受注伝票・出荷指示・売上伝票を別々の伝票No. で付番するか、すべて同じ伝票No. で付番するかを選択していました。

今回より、同じ伝票No.で付番する伝票を選択できるようになります。

受注伝票と出荷指示は異なる伝票No. で付番し、出荷指示と売上伝票は同じ伝票No. で付番することができます。

また、伝票ごとに設定できるようになったため、売上伝票と仕入伝票で別々の付番方法を 設定できるようになります。

- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[入荷予定]-[個別入荷予定]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー

● 伝票からジャンプできるマスターを追加

伝票画面からプロジェクト登録画面にジャンプできるようになります。 あらかじめプロジェクトを登録しておかなくても、伝票を入力中にプロジェクトを登録しておかなくても、伝票を入力中にプロジェクトを追加・修正・削除できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-「仮入荷処理]-「仮入荷伝票]メニュー

《伝票・販売管理》----

● 専用用紙の印刷に伝票間補正の機能を追加

納品書・請求書・仕訳伝票の専用用紙(単票形式)の印刷時に、伝票の印字間隔を調整で きるようになります。

専用用紙(単票形式)を印刷する場合に、プリンタの機種によっては、2枚目以降の印字 位置があわないことがあります。

この場合、[印刷条件設定]画面の[プリンタ設定]ページの[補正値]ボタンを押して表示される[補正値]画面で、伝票間の補正値を設定することによって、印字ずれを簡単に調整できます。

以下の専用用紙(単票形式)で設定できます。

納品書:

- [4110] 単票納品書 7 行
- · [4111] 単票納品書 4 行
- [4137] 単票納品書 5 行
- [4211] 単票納品書 4 行

請求書:

· [4128] 単票合計請求書

仕訳伝票:

- ·[3381] 単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- ·[3382] 単票仕訳伝票(OBC7行)

≪管理資料≫

● 一部の項目を常に表示させる機能を追加

マスターの登録や管理資料を確認する際に、「固定位置」を設定できるようになります。 「固定位置」を設定すると、画面をスクロールした際に、一部の項目をスクロールさせず に、常に表示しておくことができます。

また、印刷する際にも一部の項目をすべてのページに印字できます。

各メニューの[項目選択]ページの[選択済項目]リストで、固定したい項目を「--固定位置--」より上に配置します。



● 管理資料の画面上で、指定した階層だけを一覧で表示する機能を追加

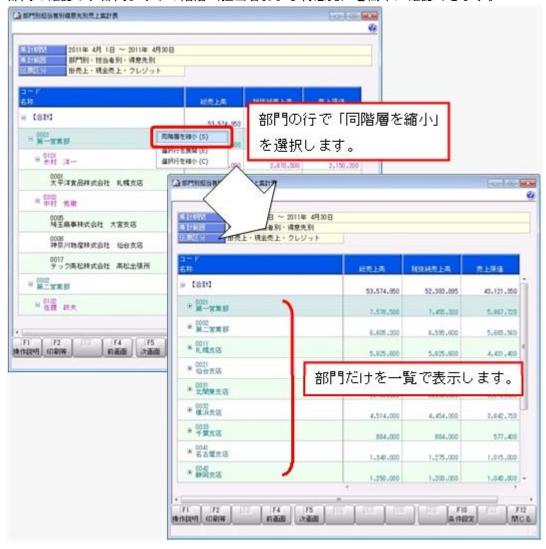
管理資料を画面表示した場合に、指定した階層だけを一覧で表示できるようになりました。

指定した階層が一覧で表示されるため、同じ階層のデータを確認する際や、さらにその下の階層を順番に確認する際に便利です。

▼例(部門別担当者別得意先別に表示している例)

部門(第1階層)で「同階層を縮小」を選択すると、部門(第1階層)だけを一覧で表示します。

部門の確認や、部門より下の階層(担当者および得意先)を簡単に確認できます。



● 推移表の横計(各月の合計)を出力する機能を追加

月次の推移とあわせて横計(各月の合計)を確認できるようになります。

得意先ごとの1年間の売上高について、月次の推移を確認するとともに1年間の合計を確認することができます。

[条件設定]画面の[出力設定]ページで「期間合計を出力する」にチェックを付けます。

≪ 関連メニュー ≫

- [販売管理]-[受注処理]-[受注推移表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表]メニュー
- ・「仕入管理]-「仕入処理]-「仕入推移表]メニュー

≪随時処理≫--

● 仕訳伝票作成の機能を強化

〇作成する仕訳伝票の税区分を設定できるようになります。

今までは、伝票の申告書計算区分によって、税区分の仕訳コードが自動的に設定されていました。

今回より、税区分の仕訳コードを任意に設定できるようになります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューで、「税額通知/課税区分ごと」「商品ごと」「申告書計算区分ごと」に税区分を設定できます。

- ※税区分の設定を利用するには、連動先の会計システムのバージョンがVer. 1. 60以降である必要があります。
- 〇すべてのB/S科目(売掛金や買掛金などの資産・負債・資本の勘定科目)に対して部門・取引先を個別に指定できるようになります。

今までは、以下の場合に貸方・借方で別々の部門・取引先を設定できました。

- ・売上伝票の伝票区分が「現金売上」の場合
- ・仕入伝票の伝票区分が「現金仕入」「現金買入」の場合

今回より、すべての伝票区分のB/S科目に対して、貸方・借方で別々の部門・取引先を設定できるようになります。

〇作成する仕訳伝票の摘要に、伝票上の商品名を設定できるようになります。

売上伝票と仕入伝票の明細ごとに仕訳伝票を作成する場合に、仕訳伝票の摘要に伝票上の商品名を設定できます。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定(販売)]ページ・[伝票設定(仕入)]ページの「摘要の内容」で設定できます。

〇[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの「請求先/支払先」で、画面 や印刷に出力する請求先・支払先の条件を設定できるようになります。

今までは、仕訳コードを設定済みの請求先・支払先だけを出力していました。

今回より、仕訳コードが未設定の請求先・支払先を出力できるようになります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[設定]画面で、出力する請求 先・支払先の条件を設定できます。 ○取引先の仕訳コードの設定方法を選択できるようになります。

今までは、仕訳伝票に取引先のデータを含める場合は、必ず、取引先に対して請求先/ 支払先コードを紐付けていました。

今回より、取引先の仕訳コードが未設定の場合は、自動的に伝票上の請求先/支払先コードで、仕訳が作成されるようになります。

そのため、会計システム上の取引先コードと当システム上の請求先/支払先コードが同じ場合は、コードを紐付ける必要がなくなります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの「未設定の仕訳コード」で、仕訳コードの設定方法を選択できます。

※あわせて、部門・プロジェクトの仕訳コードの設定方法も選択できるようになります。

〇仕訳伝票の作成方法を設定するメニューが集約されます。

今まで[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで設定していた、仕訳伝票の作成方法(仕訳伝票の作成単位や消費税の自動計算など)を、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定するように集約されます。

〇[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの項目名や項目の配置が変わります。

今まで以上にお客様が設定しやすいように、項目名の表現や項目の配置を変更しています。

[仕訳連動初期設定]メニューの各ページでは、以下の内容を設定するようになります。

[基本設定]ページ	連動対象製品や連動先のデータ領域の設定
[マスター設定] ページ	会計システムの各マスターとの連動設定
[伝票設定(販売)] ページ	売上伝票・入金伝票の仕訳作成方法 ・仕訳伝票を作成する単位 ・仕訳伝票の伝票No. ・消費税の計上方法
[伝票設定(仕入)] ページ	仕入伝票・支払伝票の仕訳作成方法 ・仕訳伝票を作成する単位 ・仕訳伝票の伝票No. ・消費税の計上方法
[運用設定]ページ	仕訳伝票作成済みの売上伝票・入金伝票・仕入伝票・支 払伝票における、修正・削除の制御

● 汎用データを受け入れる際に開始伝票No. を更新しない設定を追加

汎用データを受け入れる際に、受入データの伝票No.で、[導入処理]-[伝票開始No.登録] メニューの伝票開始No.を更新するかを選択できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票開始No. 更新」で設定します。 ※受入データの伝票No. が、伝票開始No. よりも大きい場合に伝票開始No. が更新されます。

※対応する[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

● 汎用データ受入時に、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定 の精度を向上

汎用データのテキストファイルを受け入れる際に、1行データの区切りである「改行コー ド」について、今までは「CR+LF」だけを「改行」と認識していましたが、「CR」または 「LF」だけの場合でも改行と認識するようになりました。

また、テキストファイルの最終行が「Tab」または「スペース」だけの場合に、今までは データ行と認識して未受入データにしていましたが、データ行とは認識せずに未受入デー タに含めないようになりました。

※対応する[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]メニューにも同 じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

商奉行Vの機能アップ内容

≪伝票≫-

【録 ● 与信額チェックの機能を強化

〇与信額チェックに、「手形残高」と「受注残高」を考慮できるようになります。

今までは、売掛金残高が[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[請求]ペー ジの与信額を超える場合に、与信額チェックを行っていました。

今回より、売掛金残高に「手形残高」や「受注残高」を含めて与信額チェックを行える ようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「与信額チェック設定」で設定でき ます。

〇売掛金残高がある一定の金額(与信警告額)を超える場合に、警告メッセージを表示で きるようになります。

与信額を超えてしまう前に警告メッセージを出すことができるため、過剰な売上を未然 に防ぐことができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「与信額警告ライン」で、与信警告 額の掛率を設定できます。

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上検収処理]-[検収売上確定]メニュー(『入出荷管理オ プション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[一括出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお 使いの場合)
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお 使いの場合)
- ・「在庫管理]-「出荷処理]-「出荷確定]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使い
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行契約売上データ作成]メニュー(『自動実行 オプション』をお使いの場合)
- ※対応する伝票承認・汎用データ受入・自動実行汎用データ受入メニューにも同じ機 能が追加されています。

〇[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニューで、出力項目に「受注残高」「与信警告額」「与信額使用率」を選択できるようになります。

EF (

● 粗利益チェックの機能を追加

伝票の登録時に、伝票全体の粗利益率が、ある一定の粗利益率を下回る伝票をチェックで きるようになります。

粗利益チェックを行うことで、過度に値引きしすぎた売上伝票や受注伝票を登録できないように制限することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定」で設定できます。

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上検収処理]-[検収売上確定]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[一括出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷確定]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行契約売上データ作成]メニュー(『自動実行オ プション』をお使いの場合)
- ※対応する伝票承認・汎用データ受入・自動実行汎用データ受入メニューにも同じ機能 が追加されています。

● 伝票登録時の原価割れチェックの機能を追加

今までは、原価割れチェックを明細の入力中にだけ行っていました。

今回より、伝票を登録する際にも原価割れチェックを行えるようになります。

明細の入力中と伝票を登録する際の二重にチェックを行えます。

原価割れチェックは、それぞれ以下の箇所で設定します。

伝票を登録する際のチェック:

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」

明細の入力中のチェック:

各伝票の[設定]画面の「入力時原価割れチェック」

≪ 関連メニュー ≫

- ・ 「販売管理]-「見積処理]-「見積書]メニュー
- [販売管理] [受注処理] [受注伝票] メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上検収処理]-[検収売上確定]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・「販売管理]-「売上処理]-「契約販売処理]-「契約売上データ作成]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[一括出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷確定]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行契約売上データ作成]メニュー(『自動実行オ プション』をお使いの場合)
- ※対応する汎用データ受入・自動実行汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加されています。

≪販売管理≫---

● 請求書の印刷機能を強化

〇合計請求書を内訳(得意先・プロジェクト)ごとに印刷できるようになります。

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューの[内訳出力方法]画面で設定できます。

また、印刷機能の強化に伴い、内訳ごとの出力の設定が、すべて[内訳出力方法]画面にまとまります。

〇内訳ごとの伝票枚数を印字できるようになります。

合計請求書を内訳ごとに印字する場合は、内訳ごとの伝票枚数が印字されます。 明細請求書・伝票請求書の場合は、オリジナルフォームを使用することで、内訳ごとの 伝票枚数を印字できます。

● 回収予定の機能を強化

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニューで、対象金額を「差引回収予定額」に 設定して集計する場合に、当月に売上がない請求先について、過去の未入金分を当月分の 回収予定として簡単に確認できるようになります。

今までは、当月分の回収予定を確認したい場合は、[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定変更]メニューで、過去の回収予定を当月分の回収予定に変更していました。

今回より、請求書発行の際に、[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、「回収予定額が0の回収予定も確定する」にチェックを付けるだけで、当月分の回収予定として確認できるようになります。

▼例

以下の当月(4月)に売上がない請求先について請求書発行を行う場合

請求先情報:

- ・月末締め・翌月20日回収の請求先
- ・4月分の回収予定(50,000円)が未入金
- ・4月の売上金額 0円・入金金額 0円
- 過去の回収予定

回収予定日 回収予定額 入金金額 3月20日 40,000円 40,000円 4月20日 50,000円 0円

今までは、当月(4月分)の売上に対して請求書発行を行うと、回収予定表(対象金額が「差引回収予定額」)では、以下のように表示されていました。

回収予定表:

回収予定日	回収予定額 入金金額	
4月20日	50,000円	0円

今回より、「回収予定額がOの回収予定も確定する」にチェックを付けて請求書発行を行うことで、回収予定表に5月の回収予定(5/20)として4月分の未入金分を表示できます。

回収予定表:

回収予定日	回収予定額	入金金額
5月20日	50,000円	0円

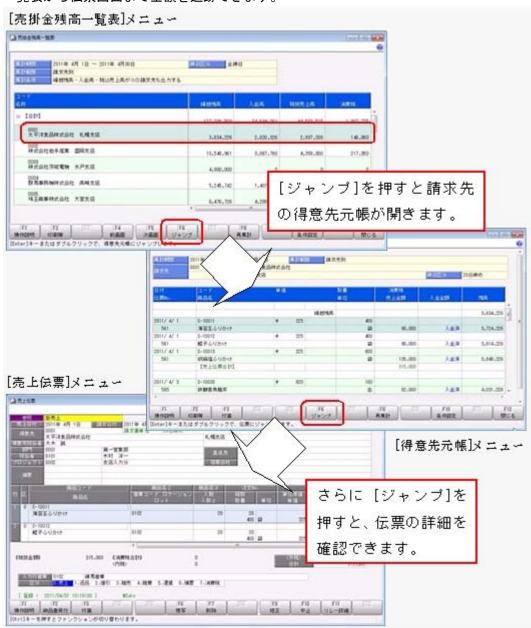
≪管理資料≫

● 売掛金残高一覧表から得意先元帳へのジャンプ機能を追加

今までは、[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニューの確認中に、請求先の詳細を確認したい場合は、メインメニューから[販売管理]-[得意先元帳]メニューを開き、再度集計を行っていました。

今回より、売掛金残高一覧表から指定した請求先の得意先元帳を呼び出せるようになりま した (元帳へのジャンプ)。

得意先元帳からは売上伝票や入金伝票にもジャンプすることができますので、売掛金残高 一覧表から伝票画面まで金額を追跡できます。



- ・ [販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニュー

≪仕入管理≫一

支払明細書の印刷機能を強化

〇合計支払明細書を内訳(仕入先・プロジェクト)ごとに印刷できるようになります。 [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー・[仕入管理]-[支払締処理]-[支 払明細書再発行]メニューの[内訳出力方法]画面で設定できます。

また、印刷機能の強化に伴い、内訳ごとの出力の設定が、すべて[内訳出力方法]画面にまとまります。

〇合計支払明細書で、内訳ごとの伝票枚数を印字できるようになります。 合計支払明細書を内訳ごとに印字する場合は、内訳ごとの伝票枚数が印字されます。

● 支払予定の機能を強化

[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニューで、対象金額を「差引支払予定額」に 設定して集計する場合に、当月に仕入がない支払先について、過去の未支払分を当月分の 支払予定として簡単に確認できるようになります。

今までは、当月分の支払予定を確認したい場合は、[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定変更]メニューで、過去の支払予定を当月分の支払予定に変更していました。

今回より、支払明細書発行の際に、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、「支払予定額が0の支払予定も確定する」にチェックを付けるだけで、当月分の支払予定として確認できるようになります。

▼<u>例</u>

以下の当月(4月)に仕入がない支払先について支払明細書発行を行う場合

支払先情報:

- ・月末締め・翌月20日支払の支払先
- ・4月分の支払予定(50,000円)が未支払
- ・4月の仕入金額 〇円・支払金額 〇円
- 過去の支払予定

支払予定日 支払予定額 支払金額 3月20日 40,000円 40,000円 4月20日 50.000円 0円

今までは、当月(4月分)の仕入に対して支払明細書発行を行うと、支払予定表(対象金額が 「差引支払予定額」)では、以下のように表示されていました。

支払予定表:

支払予定日	支払予定額 支払金額	
4月20日	50,000円	0円

今回より、「支払予定額がOの支払予定も確定する」にチェックを付けて支払明細書発行を行うことで、支払予定表に5月の支払予定(5/20)として4月分の未支払分を表示できます。

支払予定表:

支払予定日	支払予定額	支払金額
5月20日	50,000円	0円

≪管理資料≫

● 買掛金残高一覧表や在庫一覧表から元帳へのジャンプ機能を追加

今までは、[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニューの確認中に、支払先の詳細を確認したい場合は、メインメニューから[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューを開き、再度集計を行っていました。

今回より、買掛金残高一覧表から指定した支払先の仕入先元帳を呼び出せるようになりま した (元帳へのジャンプ)。

仕入先元帳からは仕入伝票や支払伝票にもジャンプすることができますので、買掛金残高 一覧表から伝票画面まで金額を追跡できます。



- ・[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー: [仕入管理]-[仕入先元帳]メニューへジャンプできます。
- ・[仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー: [仕入管理]-[仕入先元帳]メニューへジャンプできます。

- ・[仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニュー: 「仕入管理]-「仕入先元帳]メニューへジャンプできます。
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー: [在庫管理]-[在庫照会]-[商品受払帳]メニューへジャンプできます。

● [在庫一覧表]メニューの集計条件を追加

〇[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューの集計対象に「合計残数のあるもの」が 追加されます。

受注残数や発注残数を考慮した、将来的に在庫が残っている商品だけを集計できるようになります。

合計残数 = 現品残数 + 仮入荷残数 + 発注残数 (+ 完成予定数) - 受注残数 (- 部品使用予定数)

〇期間内に出入りがあった商品を集計する際に、倉庫間や倉庫内だけの移動があった商品 も集計できるようになります。

[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、集計対象の「対象期間に入出荷明細のあるもの」に、「倉庫間振替伝票のあるものも集計する」「倉庫内振替伝票のあるものも集計する」を選択できるようになります。

● [必要部品確認]メニューの出力機能を強化

〇[在庫管理]-[構成品処理]-[必要部品確認]メニューで、どの倉庫に在庫があるかを確認できるようになります。

今までは、必要部品を倉庫別に確認する場合は、必ず構成品の主倉庫で確認していました。

今回より、確認する構成品の倉庫を、構成品の主倉庫以外でも確認できるようになります。

[在庫管理]-[構成品処理]-[必要部品確認]メニューで、「必要部品確認 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの構成品倉庫表示方法で「指定した倉庫を表示する」を選択することで、指定した倉庫を確認することができます。

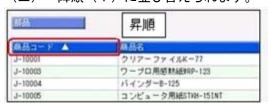
〇部品の倉庫を変更できるようになります。

今までは、必要部品を倉庫別に確認する場合は、部品の倉庫は変更できませんでした。 今回より、部品の各行で<u>倉庫変更</u>を押すことで、各倉庫の在庫数を確認しながら部 品の倉庫を変更できるようになります。

複数の倉庫にある部品の在庫数量や不足数量などを簡単に確認できます。

○画面上で部品の並び順を切り替えられるようになります。

部品の項目名をクリックすることで、その項目を基準として部品の並び順を昇順 (△)・降順 (▽) に並び替えられます。





○部品の出力項目に「台帳インデックス」が追加されます。

≪仕入管理≫-

● 入荷予定に検収機能を追加

<『入出荷管理オプション』をお使いの場合>

検収基準に対応できるようになります。

今までは、[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷確定]メニューで入荷を確定することで、入荷と 仕入を計上する「入荷基準」だけに対応していました。

今回から、商品を取引先から受け取った時点では入荷とせず、検品が終わった時点で、入荷と仕入を計上する「検収基準」に対応できるようになります。

発注伝票・入荷予定の仕入計上基準で「入荷基準」「検収基準」を選択できます。

≪ 新規メニュー ≫

- ・「仕入管理]-「仕入処理]-「仕入検収処理]-「未検収仕入リスト]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入検収処理]-[検収仕入確定]メニュー

また、検収機能の追加にあわせて、以下の内容についても機能が追加されています。

- 〇[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷準備]-[入荷場所指定]メニュー・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷準備]-[入荷場所リスト]メニューが、[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷確定]メニューで入荷を確定した入荷予定でも処理できるようになります。
- ○[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷確定]メニューを明細単位に処理できるようになります。
- 〇[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー・[在庫管理]-[在庫照会]-[棚卸一覧表] メニューで、出力項目の名称を「未検収在庫」から「未検収出荷数」に変更していま す。
- 〇以下のメニュー構成を変更しています。

変更前	[販売管理]-[売上処理]- <mark>[検収処理]</mark> [未検収リスト]メニュー[検収売上確定]メニュー
変更後	[販売管理]-[売上処理]- <mark>[売上検収処理]</mark> …[未検収売上リスト]メニュー …[検収売上確定]メニュー

≪自動実行管理≫-----

仕訳伝票の作成方法の設定箇所を変更

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

今まで[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行仕訳伝票作成]メニューで設定していた、仕 訳伝票の作成方法(仕訳伝票の作成単位や消費税の自動計算など)を、[随時処理]-[仕訳 伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定するようになります。

今までは、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューと[自動実行仕訳伝票作成]メニューで、別々に設定する必要がありましたが、一括で設定できるようになります。

『自動実行管理オプション』で利用しているサービス名を変更 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

『自動実行管理オプション』で利用しているWindowsサービスは、今まで製品ごとに異なったサービス名「OBC AutoExec SA (Single) Service」でしたが、今回より製品共通のサービス名「OBC Management (Single) Service」に変更されました。

これにより、複数の奉行製品で『自動実行管理オプション』をお使いの場合で、ネットワーク上の共有フォルダにバックアップや汎用データの作成・受入などを行う場合に、製品ごとのサービスそれぞれに対して、ログオンアカウントを設定する必要がなくなりました。

「OBC Management (Single) Service」に対してだけ、ログオンアカウントを設定するようになります。

注意

すでに、今までのサービス「OBC AutoExec SA (Single) Service」に個別のログオンアカウントを設定済みの場合は、今回のプログラムをセットアップした後に、新しいサービス「OBC Management (Single) Service」に対して再設定してください。

■ スケジュール完了通知メールの暗号化(SSL)に対応 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

スケジュール完了時に通知するメールの内容を、暗号化(SSL)できるようになりました。

メールサーバーによっては、メールの内容を暗号化(SSL)しないと送信できませんが、 その場合は「暗号化する」を設定すると、送信できるようになります。

[管理ツール]-[メールサーバー設定]メニューの[詳細設定]ページの暗号化接続(SSL)で設定します。

● 自動実行完了通知メールに「パターン名」も明示 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]-[マスターデータ受入]・[販売データ受入]メニューなどの自動実行完了通知メールに、「パターン名」と「パターンコード」も明示されるため、実行内容の詳細が把握しやすくなります。

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.53





※ 「「マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容】	
≪伝票≫	
伝票No. だけを指定して、登録済みの伝票を検索する機能を追加	
F4[前伝票]・F5[次伝票]で表示する伝票の並び順を設定する機能を追加	
伝票リストの印刷条件を追加	
[在庫確認]画面に「合計残数」項目を追加	
伝票を検索する際の絞込項目を追加	
≪管理資料≫	
グラフの下に帳票を合わせて印刷する機能を追加	
管理資料の印刷でページ計を出力する機能を追加	
元帳の応用用紙について、余白にも罫線を印刷する機能を追加	
明細表の摘要欄にスポット得意先名・スポット仕入先名を出力する機能を追加	
≪データ領域管理≫	
[データ領域初期化]メニューを追加	
≪導入処理≫	
[帳票別プリンタ登録]メニューに、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できる機能を追加	
≪随時処理≫	
[汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面に受け入れたファイル行数を表示	
[汎用データ受入]メニューで、奉行21シリーズ用の汎用データ受入形式の対応メニューを追加	
[内訳書データ作成]メニューを追加	
[宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力項目を追加	
≪オリジナルフォーム≫	
見積書・納品書・請求書・注文書に、敬称の印字位置を印字内容によって切り替える機能を追 加	
見積書・納品書・注文書に、合計・小計・累計の印字項目を追加	
見積書・納品書・注文書に、印刷するページを設定できる印字項目を追加	
見積書・注文書に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字する条件を追加	
送り状に「摘要」「商品名」「備考」の印字項目を追加	
≪その他≫	
「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行:メニュー」に一元化	
【商奉行∨の機能アップ内容】	
≪マスター・伝票≫	
税込区分にかかわらず、単位原価を税抜金額で入力する機能を追加	\dashv
≪伝票≫	\neg
伝票上で伝票全体の粗利益率を確認できる機能を追加	\dashv



	リレー時の単位原価を選択する機能を追加	13
	≪販売管理≫	
	[見積書]メニューで、外税消費税が「O円」の場合の見積書フォームの印字内容を変更	13
	[受注残明細表]・[受注残集計表]・[受注残推移表]メニューの出力項目を追加	14
	[契約売上データ作成]メニューで、作成する伝票の確認機能を追加	14
	請求書に「正・控(交互)」の印刷機能を追加	14
	[請求書発行]メニューで、指定した請求先の順序で請求書を発行する機能を追加	14
	[請求書発行]メニューで、請求書の「調整額」に振込手数料を含めて集計する機能を追加	15
	[請求一覧表]メニューで、請求履歴の並び順を指定する機能を強化	15
	[入金伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加	15
	[売掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加	15
13	[売上債権残高一覧表]メニューを追加	15
	≪オリジナルフォーム≫	
	納品書の印字項目「伝票区分」「請求日付」「請求先コード」に印字条件を追加	15
	納品書に、直送先を印字する場合も「請求日付」「請求先コード」を印字できる機能を追加	16
	納品書に「受注日付」「納品期日」の印字項目を追加	16
	請求書で、1枚の用紙に印刷できる面数を変更	16
	1請求先に対して2枚以上の請求書が印字される場合の印刷順序設定を追加	16
	請求書に「プロジェクトコード」「プロジェクト名」の印字項目を追加	17
	【蔵奉行∨の機能アップ内容】	
	≪伝票≫	
	リスト同時印刷機能を追加	17
	≪同時処理≫	
	作成する伝票の確認機能を追加	18
	作成する伝票の摘要欄に作成元の摘要を複写する機能を追加	18
	作成元の単位原価が「O円」の場合の金額複写機能を追加	18
	[同時発注処理]メニューで、作成する発注伝票の作成条件を追加	18
	≪仕入管理≫	
	────────────────────────────────────	19
	── 「発注残明細表」・[発注残集計表]・[発注残推移表]メニューの出力項目を追加	19
	支払明細書に「正・控(交互)」の印刷機能を追加	19
		20
	[支払一覧表]メニューで、支払履歴の並び順を指定する機能を強化	20
	[支払伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加	20
	[買掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加	20
R.	[仕入債務残高一覧表]メニューを追加	20
	≪在庫管理≫	1
	[生産予定]・[生産伝票]・[分解伝票]メニューで、部品の倉庫欄に初期表示させる倉庫を設定	21
	する機能を追加	

計しない設定を追加 [倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認する機能を追加 【オプションの機能アップ内容】 《随時処理》 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加 <『伝票機能拡張オプション』をお使いの場合> <『ロット管理オプション』をお使いの場合> 《自動実行管理》 [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>			
[倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認する機能を追加 2 【オプションの機能アップ内容】 (随時処理》 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加 (『伝票機能拡張オプション』をお使いの場合> 《自動実行管理》 (目動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 【自動実行汎用データで成]メニューに受入パターンを追加 2 【自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 2		ご出荷していない商品を滞留在庫として集	21
【オプションの機能アップ内容】 《随時処理》 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加 <『伝票機能拡張オプション』をお使いの場合> <『ロット管理オプション』をお使いの場合> 《自動実行管理》 [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合> [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加	計しない設定を追加		
《随時処理》 22 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加 25 《『ロット管理オプション』をお使いの場合> ※自動実行管理》 [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 25 《『自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 26 [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 26	[倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認	思する機能を追加	21
 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加	【オプションの機能アップ内容】		
 <『伝票機能拡張オプション』をお使いの場合> 《自動実行管理》 [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合> [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 	≪随時処理≫		
	伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加		22
《自動実行管理》 [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 < 『自動実行管理オプション』をお使いの場合> [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 24	< 『伝	芸票機能拡張オプション』をお使いの場合> │	
[自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加	<	『ロット管理オプション』をお使いの場合>	
< 『自動実行管理オプション』をお使いの場合> [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 24	≪自動実行管理≫		
[自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 24	[自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを	- 追加	23
	< [E	動実行管理オプション』をお使いの場合>	
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	[自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを	追加	24
	< [i	国動実行管理オプション』をお使いの場合>	

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容

≪伝票≫-



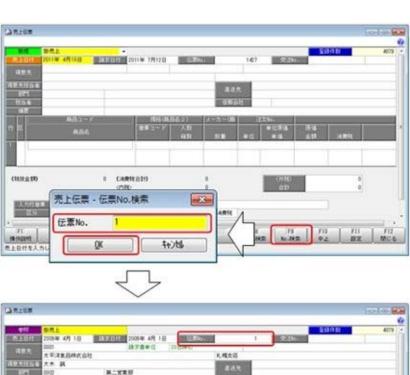
I ■ 伝票No. だけを指定して、登録済みの伝票を検索する機能を追加

登録済みの伝票を検索する際に、伝票No.だけを指定して検索できるようになります。

伝票画面で No.検索 を押すと、[伝票No. 検索]画面が表示されます。

検索したい伝票の伝票No.を入力し、 [OK] ボタンをクリックすると、該当の伝票が表示され ます。

- ※指定した伝票No.の伝票が複数登録されている場合は、[伝票検索ー括表示]画面で表示する 伝票を選択します。
- ※検索したい伝票の伝票No.が明確な場合は、従来の検索機能よりも簡単に検索できます。





【~ ● F4「前伝票】・F5「次伝票】で表示する伝票の並び順を設定する機能を追加

今までは、F4[前伝票]・F5[次伝票]を押して表示する伝票の並び順は伝票の登録順でした。 今回より、各伝票メニューの[設定]画面の「前伝票の並び順」で、日付順・伝票No.順・登録 順から並び順を設定できるようになります。

※設定できる並び順は、メニューによって異なります。

● 伝票リストの印刷条件を追加

伝票リストを印刷する際に、[リスト印刷条件設定]画面の[出力設定]ページの「印刷対象」の 設定によって、まだ印刷していない伝票だけ印刷する・印刷済みの伝票だけを再度印刷するな ど印刷する伝票の条件を設定できるようになります。

● 「在庫確認]画面に「合計残数」項目を追加

[在庫確認]画面に「合計残数」項目が出力されるようになります。

「合計残数」の計算式は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫確認の合 計残数設定」で伝票ごとに設定できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・「仕入管理]-「発注処理]-「発注伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-「入荷処理]-「入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- [在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・「在庫管理]-「仮入荷処理]-「仮入荷伝票]メニュー

『入出荷管理オプション』をお使いの場合

- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー
- ・「在庫管理]-「入荷予定]-「個別入荷予定]メニュー

◉ 伝票を検索する際の絞込項目を追加

〇以下の伝票を検索する際に、伝票を直送先の入力の有無で絞込できるようになります。 伝票の[検索条件設定]画面で検索条件に「直送先指定」を選択し、「1:直送先あり」「2: 直送先なし」を選択します。

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー(『入出荷管理オプション』をお使い の場合)
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ※対応する伝票承認・汎用データ作成・データー括削除・自動実行汎用データ作成メニュ 一にも同じ機能が追加されています。

〇以下の伝票を検索する際に、伝票を納入先の入力の有無で絞込できるようになります。 伝票の[検索条件設定]画面で検索条件に「納入先指定」を選択し、「1:納入先あり」「2: 納入先なし」を選択します。

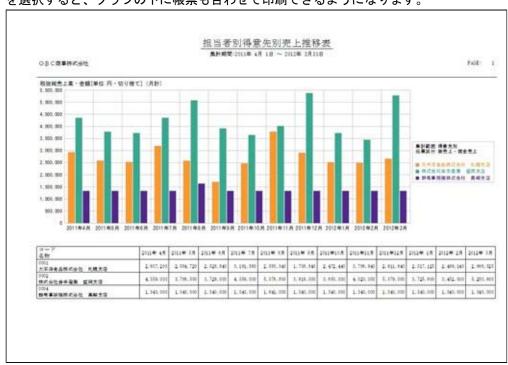
≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷予定]-[個別入荷予定]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)
- ※対応する伝票承認・汎用データ作成・データー括削除・自動実行汎用データ作成メニューにも同じ機能が追加されています。

≪管理資料≫--

● グラフの下に帳票を合わせて印刷する機能を追加

[グラフ印刷条件設定]画面の[グラフ印刷設定]ページの「印刷形式」で「グラフ・帳票印刷」 を選択すると、グラフの下に帳票も合わせて印刷できるようになります。



≪ 関連メニュー ≫

- ・推移表 (受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推移 表)
- 対比表(売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表)
- · ABC分析(売上ABC分析・仕入ABC分析)
- · 行列表 (売上行列表 · 仕入行列表)

● 管理資料の印刷でページ計を出力する機能を追加

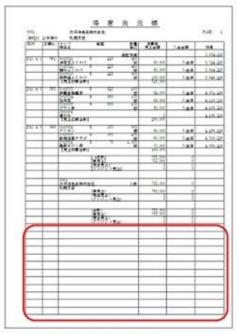
管理資料の印刷の[形式設定]画面で「ページ計を出力する」にチェックを付けると、ページ計を出力できるようになります。

OBCRES		集計模型: 2011年 4	月 1日 ~ 2011年 A	# 30-00			
	吹出社 刑当者司 - 再要先到 禁死上,再坐死上						na:
2-7	14 fr	相壳上寨	和西城市上寨	先上學習	相利益	相利基本	利用計畫
(01810)	未好 洋一	- Constant		100000			-
0004	大平洋大品技术会社 扎模支管	2,907,200	2,937,200	2, 155, 2001	787, 000	26,795	1,5
	(0101 水村 洋一計)	2,907,200	2,937,200	2,158,200	797, 900	26.796	1.1
6004 (0105)	佐藤 秋光						
9006	特式会任千貫デンキ	6,405,200	6,606,200	1,465,500	939,640	14.275	
70.00	(910) 保護 駐大計)	6, 900, 200	6,600,200	1,465,000	929, 640	14.275	
0007	古樓 京子 東京都認施前市特別会社 東東京交流	1,680,600	2.689.600	2, 133, 000	556, 600	25, 695	26.9
5003	(0103 古橋 金子軒)	2,689,600	2,689,600	2,153,000	526, 600	20,695	29.9
200.000	後藤 (東京	2,900,000	2,009,000	4, 100, 000	200,000	20.995	47.7
6008 (0080)	神奈川於臺 株式会社 横高大型	\$51,700	\$11,550	743,000	256,333	21,705	1,3
4307	(2004 放棄 (2分析)	90,100	953,000	745,000	206, 3004	21, 705	2.3
0315E)	47. 4				********		
9008	埼玉章事技术会社 大倉玄原	4, 169, 000	4,169,000	2, 279, 500	789, 120	18.905	
10000	(010) 横門 維計)	4, 169, 000	4,169,000	3,379,660	799, 1210	18,925	
(0506)	対抗 犬			10000000	1000000	6,100,00	
9902	技术会社会手座集 蓝斑大道	4,359,000	4,339,600	3,642,750	716, 250	36, 425	1
lods.	(0)08 旋動 大計)	4, 359, 000	4, 309, 000	5,642,750	716, 2568	35,425	1
-0000D	大班 卷一 大切 東高神武寺社	40.00		-	07.10		
6312	(0201 大田 単一計)	554,000 814,000	554,000 554,000	277, 400 277, 400	205, 600	34,685	2,4
(2005)	位本 製造	314, 000	. 104,000	411, 400	200,000	24.50	5.4
0004	数据事员特殊的会社 高級大型	1,340,000	1,740,000	1,017,000	223, 000	24.275	43.7
		1, 340, 000	1,345,000	1,015,000	\$25,900	24.235	40.7
-025835	(中)(2) (山本 農油計) 河名 区理	A.Officion	2000	4,10,00	-40.00	- 44	
0009	新落工業株式会社	1, 250, 600	1,230,000	1,045,000	210, 000	35.6%	
333	(0202 河台 王億軒)	1, 250, 000	1,230,000	1,040,000	210,000	16, 605	
(0000)	北野 紀界			28.22.00	12.25.17		
0.000	石川食品排式会社 金沢出張所	1, 192, 000	1,192,000	191, 201	266,756	24, 255	2,9
1011	与古堂曾接受事件实会性	3, 480, 000	3,480,000	3,001,000	405,910	11,775	
10000	(0.204 北野 起京計)	4, 962, 000	4, 662, 000	3,966,279	695, 730	14.925	3.9
(0000) 9013	EM 234	2.467.707	2 881 711	C 183 400	12.5 22.1	45.45	
1012	機関商事件式会社 大阪士官 位201 日野 まゆみ計)	1, 271, 600 1, 271, 600	1,271,600	1, 135, 600	136, 000	10,704	
(3000)	(2200 元数 エウル数)	1, 2, 1, 600	1,211,000	1,120,000	120,000	10,799	
COMPANY.	379 PT						
-	(A=9#3	31, (18, 10)	21, 118, 130	25, 453, 660	J, 663, 440	10.778	87.3
	(# F)	31, 119, 100	21, 119, 100	27, 450, 661	3, 665, 4400	38, 225	87.1

■ 元帳の応用用紙について、余白にも罫線を印刷する機能を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニュー・[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、これまでは、元帳の応用用紙について、最終明細行までしか罫線は印刷されていませんでした。

今回より、罫線の印刷について、[形式設定]画面の「余白への罫線印刷」で「余白にも罫線を 印刷する」「最終明細行で罫線の印刷を止める」から選択できるようになります。



○余白にも罫線を印刷する



○最終明細行で罫線の印刷を止める

- 明細表の摘要欄にスポット得意先名・スポット仕入先名を出力する機能を追加
 - 〇[条件設定]画面の[出力設定]ページの「摘要欄の出力項目」が「摘要(スポット得意先名 1)」の場合に、摘要欄にスポット得意先名(伝票上の得意先名1)を出力できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー
- 〇[条件設定]画面の[出力設定]ページの「摘要欄の出力項目」が「摘要(スポット仕入先名 1)」の場合に、摘要欄にスポット仕入先名(伝票上の仕入先名1)を出力できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー

≪データ領域管理≫-----

● 「データ領域初期化」メニューを追加

[データ領域管理]-[データ領域保守]-[データ領域初期化]メニューで初期化を実行すると、商品・得意先・仕入先などの各マスターや、会社運用設定などの運用に必要な部分は残し、登録済みの伝票をすべて削除します。

運用前にテスト用に作成したデータ領域について、伝票をすべて削除して運用を始める場合などに、初期化を使用すると便利です。

≪導入処理≫--

■ [帳票別プリンタ登録]メニューに、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できる機能を追加

[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで、今まではメニューごとにプリンタ設定を登録していました。

今回より、帳票のパターンを登録できるメニューは、[帳票別プリンタ登録 - 条件設定]画面の[出力条件]ページの「帳票のパターンごとに表示する」のチェックを付けると、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できるようになります。

≪随時処理≫

■ [汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面に受け入れたファイル行数を表示 [汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面で、受入済データ・未受入データそれぞれの データ件数に加え、ファイル行数も確認できるようになります。

画面に表示されたファイル行数と、受け入れたファイルの行数との一致を確認することで、正常に受け入れできたかを判断できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・マスターデータ受入(部門グループ・セット商品・単価区分別数量別単価・単価区分別 数量別期間単価・数量別単価・得意先別数量別単価・得意先別数 量別期間単価・数量別期間単価)
- ・販売データ受入(見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票)
- ・仕入データ受入(発注伝票・仕入伝票・支払伝票)
- ・在庫データ受入(出荷伝票・入荷伝票・構成品・生産予定・生産伝票・分解伝票・倉庫 内振替伝票・倉庫間振替伝票)
- ※対応する[自動実行汎用データ受入]では、[受入結果確認]画面は表示されませんが、結果ログファイルに受け入れたファイル行数が表示されます。(『自動実行オプション』をお使いの場合)
- [汎用データ受入]メニューで、奉行21シリーズ用の汎用データ受入形式の対応メニューを追加

見積書や出荷伝票・生産伝票・倉庫間振替伝票についても、『商蔵奉行21』で受け入れできるユーザー作成形式 (OBC形式) のデータを、『商蔵奉行V』で受け入れできるようになります。

[受入条件設定]画面の[受入ファイル設定]ページの受入データ形式で「商蔵奉行21 汎用データ受入形式」を選択すると、受け入れできます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・販売データ受入(見積書)
- ・在庫データ受入(出荷伝票・生産伝票・倉庫間振替伝票)
- ※対応する[自動実行汎用データ受入]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)
- ❷ [内訳書データ作成]メニューを追加

[随時処理]-[奉行連動データ作成]-[内訳書データ作成]メニューで「売掛金・買掛金・未払金の内訳書」データを作成し、『申告奉行[内訳書・概況書編]』に受け入れできるようになります。(ファイル連動)

※直接連動する場合は、『申告奉行[内訳書・概況書編]』の[内訳書/概況書データ受入]メニューで行います。

「宛名ラベル作成」・「送り状印刷」メニューの出力項目を追加

[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、登録されている伝票の枚数分の宛名ラベルまたは送り状を印刷する場合([条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷基準」が「伝票」で、かつ「印刷枚数」が「伝票枚数分」)に、一覧確認画面で集計元の伝票の「伝票No.」「伝票日付」を確認できるようになります。

見積書・納品書・請求書・注文書に、敬称の印字位置を印字内容によって切り替える機能を追加

[項目設定]画面の[表示形式]ページの「敬称の付加」の設定で、敬称の印字位置を印字内容によって切り替えできるようになります。

▼例

以下のように、1つの納品書フォームで、印字内容によって敬称の印字位置を変更できます。

「得意先担当者名」が印字	「得意先担当者名」が印字されない場合		
される場合	「得意先名2」が印字され	「得意先名2」が印字され	
	る場合	ない場合	
得意先名 1	得意先名 1	得意先名 1 様	
得意先名 2	得意先名 2 <mark>様</mark>		
得意先担当者名 <mark>様</mark>			

≪ 関連メニュー ≫

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

● 見積書・納品書・注文書に、合計・小計・累計の印字項目を追加

見積書・納品書・注文書に、以下の合計・小計・累計の印字項目が追加されます。 以下の表の「〇」の項目を印字できるようになります。

	見積書座標登録	納品書座標登録	注文書座標登録
内税込金額合計 (税抜金額合計+ 内税消費税)	0	0	0
税抜金額小計	*	0	0
税抜金額累計	*	0	0
内税込金額小計	0	0	0
内税込金額累計	0	0	0
内税消費税小計	0	0	0
内税消費税累計	0	0	0
外税消費税小計	*	0	0
外税消費税累計	*	0	0
消費税小計	0	0	0
消費税累計	0	0	0

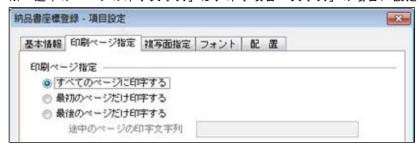
※: Ver. 1. 52以前で、すでに印字できる項目です。

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

● 見積書・納品書・注文書に、印刷するページを設定できる印字項目を追加

[項目設定]画面の[印刷ページ指定]ページの「印刷ページ指定」の機能を、印字項目の「文字列」「線」「短形」「円」にも設定できるようになります。

- ※明細領域に配置した描画項目には設定できません。
- ※「途中のページの印字文字列」は、印字項目「文字列」の場合に設定できます。

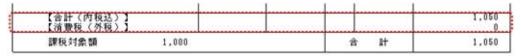


≪ 関連メニュー ≫

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- 見積書・注文書に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字する条件を追加

外税消費税が「O円」の場合に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字するかを、[レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「外税消費税がO円の場合も印字する」で選択できるようになります。

○「外税消費税が○円の場合も印字する」にチェックが付いている場合



○「外税消費税が○円の場合も印字する」にチェックが付いていない場合

※金額合計内訳領域に配置した項目はすべて印字されません。



≪ 関連メニュー ≫

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- 送り状に「摘要」「商品名」「備考」の印字項目を追加

[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューに、印字項目「摘要」「商品名」「備考」 が追加されます。

- ※「商品名」「備考」は、[項目設定]画面の[基本情報]ページの「伝票明細」で、伝票明細の 何明細目を印字するかを指定します。
- ※[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、以下の2つの条件を設定した場合に印字されます。
 - ・[送り状印刷 条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷基準」が「伝票」
 - ・[送り状印刷 条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷枚数」が「伝票枚数分」

《その他》-----

●「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行iメニュー」に一元化 当システムのメニュー画面右下の「マイページ」で提供していたサポートサービス情報などに ついて、「奉行iメニュー」に一元化されます。

最新情報や保守加入状況、オンラインサポートなど当システムを運用する際に必要な情報は、「奉行iメニュー」からご確認ください。

商奉行∨の機能アップ内容

≪マスター・伝票≫一

● 税込区分にかかわらず、単位原価を税抜金額で入力する機能を追加

今までは、マスターや伝票で単位原価を入力する際は、税込区分にあわせて税抜きまたは税込 みの金額を入力していました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「単位原価の登録方法」で「税 抜単価を登録」を選択すると、税込区分にかかわらず税抜金額で入力できるようになります。

- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー
- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品一括登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー
- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)

≪伝票≫一



● 伝票上で伝票全体の粗利益率を確認できる機能を追加

[設定]画面の[表示設定]ページの「粗利計表示」で「する」を選択すると、伝票全体の粗利益率を確認できるようになります。

画面上での表示のほか、見積書・納品書・伝票リストにも印刷できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[個別出荷指示]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)

● リレー時の単位原価を選択する機能を追加

今までは、リレー機能を使用して伝票を登録する場合は、リレー元の伝票の単位原価をリレー先の単位原価欄に初期表示していました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレー時の単位原価表示」に チェックを付けると、「伝票を新規登録する際と同様の単位原価」を初期表示できるようにな ります。

- ※「伝票を新規登録する際と同様の単位原価」は、以下の3つの条件によって決まります。
 - ・「単価区分」を使用するか (単価区分を使用する場合は、伝票上の[単価区分選択]画面でどの単価区分が選択されている か)
 - ・数量別単価を登録しているか
 - 「単価(売上)の優先順位」の設定

≪ 関連メニュー ≫

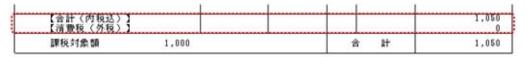
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー

≪販売管理≫---

■ [見積書]メニューで、外税消費税が「O円」の場合の見積書フォームの印字内容を変更

[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニューで、見積書の外税消費税が「O円」の場合に、「0001:ページ見積書」「0002:ドット見積書」の見積書フォームで印刷すると、「【合計(内税込)】」「【消費税(外税)】」が印字されなくなります。

〇これまでの印字内容(Ver. 1.52以前)



※[見積書 - 見積書発行条件設定]画面の[項目設定]ページの「数量・金額の O 印字」にチェックが付いた場合の印刷イメージです。

〇今回からの印字内容



- [受注残明細表]・[受注残集計表]・[受注残推移表]メニューの出力項目を追加
 - 〇[販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニューで、出力項目に「出荷返品数量」「出荷単価区分数量」「出荷単価区分1数量」を選択できるようになります。
 - ※「出荷返品数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」に チェックが付いていない場合に出力できます。
 - ※「出荷単価区分数量」「出荷単価区分1数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合に出力できます。
 - 〇[販売管理]-[受注処理]-[受注残集計表]メニュー・[販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表] メニューで、出力項目に「出荷数量(出荷返品数量)」を選択できるようになります。
 - ※「出荷返品数量」は、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「受注数量に返品数量も含める」にチェックが付いている場合に出力できます。
- [契約売上データ作成]メニューで、作成する伝票の確認機能を追加 [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニューで、[契約売上データ作成 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「一覧確認」にチェックを付けると、処理を実行する前に作成する売上伝票を一覧で確認できるようになります。
- 請求書に「正・控(交互)」の印刷機能を追加

請求書を印刷する際に、[請求書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの「請求書の正・控の印字形式」で「正・控(交互)」を選択すると、「正用」と「控用」を1枚ずつ交互に印刷できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニュー
- [請求書発行]メニューで、指定した請求先の順序で請求書を発行する機能を追加 [販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、[請求書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「請求先指定方法」が「個別指定」の場合(発行する請求先を1件ずつ指定する場合)に、[請求書発行 - 個別指定]画面の「指定した順序で請求書を発行する」にチェックを付けると、指定した請求先の順序で請求書を発行できるようになります。
 - ※[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「売掛管理単位」や[請求書発行 条件設定]画面の[出力設定]ページの「フォーム選択」によって、請求書を発行する順序が変わります。

売掛管理単位	フォーム選択	請求書を発行する順序
請求先ごと	固定	指定した請求先順
請求先ごと	請求先ごと	請求書フォームNo. 順→指定した請求先順
部門ごと	固定	部門コード順→指定した請求先順
部門ごと	請求先ごと	部門コード順→請求書フォームNo. 順→指定し
		た請求先順

※チェックを付けない場合、もしくは[請求書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「請求先指定方法」が「範囲指定」の場合は、[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「請求書を発行する順序」で設定した順序で発行されます。

● [請求書発行]メニューで、請求書の「調整額」に振込手数料を含めて集計する機能を 追加

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、今までは入金区分が「2:銀行振込」の 入金明細に入力した振込手数料の合計金額は「御入金額」欄に集計されていました。

今回より、[請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「振込手数料」の設定で「調 整額に含める」を選択すると、振込手数料を「御入金額」欄ではなく、「調整額」欄に集計で きるようになります。

※調整額には、入金区分が「5:値引」「9:その他」(「2:銀行振込」の振込手数料)の入 金明細の合計金額が集計されます。

▼例

- 〇入金区分「2:銀行振込」
- 〇入金金額「10000円」(内振込手数料「500円」)

上記の入金伝票は、請求書で以下のように集計されます。

振込手数料	御入金額	調整額
御入金額に含める	10,000円	0円
調整額に含める	9, 500円	500円

■ [請求一覧表]メニューで、請求履歴の並び順を指定する機能を強化

[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、[請求一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設 定]ページの「並び順」で「締日区分コード順」を選択すると、請求履歴を請求締日区分コー ド順で表示できるようになります。

- [入金伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加 [販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、登録した入金伝票から、ドットプリンタ用の 専用用紙に仕訳伝票を印刷できるようになります。
 - ○[3371]単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
 - ○[3372]単票仕訳伝票(OBC7行)
- ◉ [売掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加

[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニューで、出力項目に「手形残高」「売上債権合計」を選 択できるようになります。



【除る ● [売上債権残高一覧表]メニューを追加

[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニューで、指定した日付時点の債権残高(売掛金残高・ 手形残高・信託債権残高)を出力できるようになります。

また、売掛金限度額なども集計できます。

≪オリジナルフォーム≫ー

- 納品書の印字項目「伝票区分」「請求日付」「請求先コード」に印字条件を追加 [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューで、「伝票区分」「請求日付」「請求先コ ード」の印字項目に印字条件が追加されています。
 - 〇印字項目「伝票区分」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「掛売上の印字」の 設定で、伝票区分が「掛売上」の場合に伝票区分を印字するかを選択できるようになりま す。

- 〇印字項目の「請求日付」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「売上日付と同じ日付の印字」の設定で、売上日付と同じ日付の場合に請求日付を印字するかを選択できるようになります。
- 〇印字項目の「請求先コード」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「得意先コードと同じコードの印字」の設定で、得意先コードと同じコードの場合に請求先コードを印字するかを選択できます。
- 納品書に、直送先を印字する場合も「請求日付」「請求先コード」を印字できる機能を追加

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューで、直送先を印字する場合も「請求日付」 「請求先コード」を印字できるようになります。

[納品書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「入力伝票の請求日付、 請求先コードを印字する」の設定で、直送先を印字する場合に印字項目「請求日付」「請求先 コード」を印字するかを選択できるようになります。

● 納品書に「受注日付」「納品期日」の印字項目を追加

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューに、印字項目「受注日付」「納品期日」が 追加されます。

[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニューから納品書を印刷する際に、受注伝票上の「受注日付」「納品期日」を印字できるようになります。

● 請求書で、1枚の用紙に印刷できる面数を変更

[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで、今までは請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの場合に、1枚の用紙に印刷できる面数は「1」で固定され、設定できませんでした。

今回より、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[用紙設定]ページの「1ページ印刷面数」で「1~4」を設定できるようになります。

1請求先に対して2枚以上の請求書が印字される場合の印刷順序設定を追加

[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで、1請求先に対して2枚以上の請求書が 印字される場合の印刷順序を、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[用紙設定]ペ ージの「印刷順序」で選択できるようになります。

- ・「順番」を選択した場合は、「正用」の印刷がすべて完了してから「控用」が印刷されます。
- ・「交互」を選択した場合は、「正用」と「控用」が1枚ずつ交互に印刷されます。
- ※請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの場合に設定できます。

▼例

1度の請求書発行で複数の請求先の請求書を発行する場合

- ○1ページに15明細を印刷する明細請求書
- 〇正用・控用を1枚ずつ印刷する

(デザイン面数が「2」、1ページ印刷面数が「1」)

上記のフォームレイアウトで、請求先Aの印字対象の明細が40明細、請求先Bの印字対象の明細が10明細の請求書を印刷する場合は、以下の順序となります。

- ※40明細ある場合は、1枚目に1~15明細、2枚目に16~30明細、3枚目に31~40明細が 印字されます。
- ※ 1 請求先に対する設定のため、設定に関わらず請求先Aに対する請求書を印刷後、請求先 Bの請求書を印刷します。

【順番】



【交互】



■請求書に「プロジェクトコード」「プロジェクト名」の印字項目を追加 [オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューに、印字項目「プロジェクトコード」「プロジェクト名」が追加されます。

※請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの印字項目に追加されます。

蔵奉行Vの機能アップ内容

≪伝票≫-

● リスト同時印刷機能を追加

[設定]画面の「リスト同時印刷」で「する」を選択すると、伝票の登録と同時に、自動的に伝票リストを印刷できるようになります。

また、画面上で<u>リスト印刷</u>を押すと、画面に表示されている1件だけの伝票リストを印刷できるようになります。

- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷予定]-[個別入荷予定]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使い の場合)
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫内振替伝票]メニュー(『ロット管理オプション』を お使いの場合)
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

≪同時処理»·

● 作成する伝票の確認機能を追加

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、[条件設定]画面の[詳細設定]ページの「一覧確認」にチェックを付けると、同時処理を実行する前に、作成する伝票を一覧で確認できるようになります。

※対応する[自動実行管理]メニューには同じ機能は追加されていません。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

● 作成する伝票の摘要欄に作成元の摘要を複写する機能を追加

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、作成する伝票の摘要に作成元の摘要を複写できるようになります。

- ※[同時発注処理]メニューの場合は、作成形式が「受注伝票ごと」の場合に複写できます。 [同時仕入処理]メニューの場合は、作成形式が「売上伝票ごと」の場合に複写できます。 [同時生産処理]メニューの場合は、作成形式が「売上明細ごと」の場合に複写できます。
- ※対応する[自動実行管理]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

▼何

[同時仕入処理]メニューで、作成する仕入伝票の摘要に売上伝票の摘要を複写できるようになります。

◉ 作成元の単位原価が「0円」の場合の金額を複写する機能を追加

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、[条件設定]画面の[項目設定]ページの「単価0での金額複写」で「する」を選択すると、作成元の単位原価が0円の場合も、作成する伝票の金額に作成元の原価金額を複写できるようになります。

※対応する[自動実行管理]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

▼例

[同時仕入処理]メニューで、売上伝票の単位原価がO円の場合に、作成する仕入伝票の仕入金額に売上明細の売上原価を複写できるようになります。

▶ [同時発注処理]メニューで、作成する発注伝票の作成条件を追加

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニューで、今までは受注伝票の受注日付が同じで、納品期日だけが異なる場合は、別々の発注伝票が作成されていました。

今回より、[同時発注処理 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「納品期日が異なる場合でも1伝票として作成する」にチェックを付けると、1つの発注伝票にまとめて作成できるようになります。

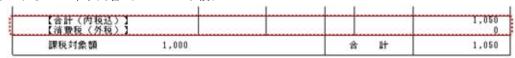
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行同時発注処理]メニュー (『自動実行管理オプション』をお使いの場合)

≪仕入管理≫

■ [発注伝票]メニューで、外税消費税が「O円」の場合の注文書フォームの印字内容を変更

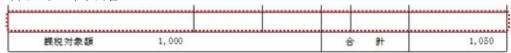
[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニューで、注文書の外税消費税が「O円」の場合に、「0001:ページ発注書」「0002:ドット発注書」の注文書フォームで印刷すると、「【合計(内税込)】」「【消費税(外税)】」が印字されなくなります。

〇これまでの印字内容(Ver. 1.52以前)



※[発注伝票 - 注文書発行条件設定]画面の[項目設定]ページの「数量・金額のO印字」にチェックが付いた場合の印刷イメージです。

〇今回からの印字内容



- [発注残明細表]・[発注残集計表]・[発注残推移表]メニューの出力項目を追加
 - 〇[仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニューで、出力項目に「入荷返品数量」「入荷単価区分数量」「入荷単価区分1数量」を選択できるようになります。
 - ※「入荷返品数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」に チェックが付いていない場合に出力できます。
 - ※「入荷単価区分数量」「入荷単価区分1数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合に出力できます。
 - 〇[仕入管理]-[発注処理]-[発注残集計表]メニュー・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表] メニューで、出力項目に「入荷数量(入荷返品数量)」を選択できるようになります。
 - ※「入荷返品数量」は、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「発注数量に返品数量も含める」にチェックが付いている場合に出力できます。
- 支払明細書に「正・控(交互)」の印刷機能を追加

支払明細書を印刷する際に、[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの「支払明細書の正・控の印字形式」で「正・控(交互)」を選択すると、「正用」と「控用」を 1 枚ずつ交互に印刷できるようになります。

- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニュー

● [支払明細書発行]メニューで、指定した支払先の順序で支払明細書を発行する機能を 追加

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、[支払明細書発行 - 条件設定]画面 の[基本設定]ページの「支払先指定方法」が「個別指定」の場合(発行する支払先を1件ずつ 指定する場合) に、[支払明細書発行 - 個別指定]画面の「指定した順序で支払明細書を発行 する」にチェックを付けると、指定した支払先の順序で支払明細書を発行できるようになりま

※[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「買掛管理単位」や[支払明細書発行 -条件設定]画面の[出力設定]ページの「フォーム選択」によって、支払明細書を発行する順 序が変わります。

買掛管理単位	フォーム選択	支払明細書を発行する順序
支払先ごと	固定	指定した支払先順
支払先ごと	支払先ごと	支払明細書フォームNo. 順→指定した支払先順
部門ごと	固定	部門コード順→指定した支払先順
部門ごと	支払先ごと	部門コード順→支払明細書フォームNo. 順→指 定した支払先順

※チェックを付けない場合、もしくは[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページ の「支払先指定方法」が「範囲指定」の場合は、「支払明細書発行 - 条件設定]画面の「出力 設定]ページの支払明細書を発行する順序で設定した順序で発行されます。

■ [支払一覧表]メニューで、支払履歴の並び順を指定する機能を強化

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、[支払一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設 定]ページの「並び順」で「締日区分コード順」を選択すると、支払履歴を支払締日区分コー ド順で表示できるようになります。

■ [支払伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加

[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、登録した支払伝票から、ドットプリンタ用の 専用用紙に仕訳伝票を印刷できるようになります。

- ○[3371]単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- ○[3372] 単票仕訳伝票(OBC7行)
- ◉ [買掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加

[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニューで、出力項目に「手形残高」「仕入債務合計」を選 択できるようになります。



【録 ● [仕入債務残高一覧表]メニューを追加

[仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニューで、指定した日付時点の債務残高(買掛金残高・ 未払金残高・手形残高)を出力できるようになります。

■ [生産予定] • [生産伝票] • [分解伝票]メニューで、部品の倉庫欄に初期表示させる倉庫を設定する機能を追加

各伝票メニューで構成品を入力すると、部品の倉庫が初期表示されます。この倉庫を[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「生産予定・生産伝票・分解伝票の部品倉庫」で「構成品の倉庫」「主倉庫([導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[在庫]ページで設定)」から選択できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産予定]-[生産予定]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- [滞留在庫一覧表]メニューで、入荷したばかりでまだ出荷していない商品を滞留在庫として集計しない設定を追加

[在庫管理]-[在庫照会]-[滞留在庫一覧表]メニューで、[滞留在庫一覧表 - 条件設定]画面の [基本設定]ページの「最終入荷日を指定する」にチェックを付けて最終入荷日を指定すると、「指定した最終入荷日より後に入荷した商品」が滞留在庫として集計されなくなります。新商品などの入荷したばかりでまだ出荷していない商品を滞留在庫として集計しない場合に設定します。

▼<u>例</u>

商品	最終出荷日	最終入荷日
商品A	2011/3/20	2011/3/10
商品B	2011/2/20	2011/2/10
商品C	なし(空白)	2011/3/10

2011/4/1時点で、この1ヵ月間在庫が滞留している商品(2011/3/1以降に出荷がない商品)を 集計します。

まず、滞留在庫を出力する条件として[滞留在庫一覧表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「最終出荷日」で「2011/2/28以前」を設定します。

更に、「最終入荷日を指定する」を設定するかによって、集計結果が異なります。

- 〇「最終入荷日を指定する」にチェックを付けない場合 商品Bと商品Cが集計されます。
 - ※商品 C は最終出荷日のデータがなく、2011/3/1以降に出荷していない商品のため、滞留在庫とみなされます。
- 〇「最終入荷日を指定する」にチェックを付け、[滞留在庫一覧表 条件設定]画面の[基本設定]ページの「最終入荷日」を「2011/2/28以前」と設定する場合 商品Bだけが集計されます。
- [倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認する機能を追加 [在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認([在庫確認])
 試]画面を表示)できるようになります。

≪随時処理≫-

● 伝票の[汎用データ作成]メニューの出力条件を追加

〇今までは、明細内訳を入力した伝票については、明細の内容とあわせて、必ず明細内訳の内容を出力していました。今回より、[拡張項目]ページの「明細内訳も出力する」の設定によって、明細内訳の内容を出力するかを選択できるようになります。

<『伝票機能拡張オプション』をお使いの場合>

▼例

[明細]

部門	商品	数量	金額
0001:部門 A	0001:商品①	1個	100,000円

[明細内訳]

部門	商品	数量	金額
0010:部門 a	0001:商品①	1個	50,000円
0020:部門 b	0001:商品①	O個	50,000円

上記の伝票について汎用データを作成すると、以下のように出力されます。

○「明細内訳も出力する」にチェックを付ける場合(今までは、必ずこちらで出力されていました。)

1行目:明細の内容(0001:部門A/0001:商品①/1個/100,000円)

2行目:明細内訳1行目の内容(0010:部門a/0001:商品①/1個/50,000円)
 3行目:明細内訳2行目の内容(0020:部門b/0001:商品①/0個/50,000円)

○「明細内訳も出力する」にチェックを付けない場合

1行目:明細の内容(0001:部門A/0001:商品①/1個/100,000円)

※明細内訳の内容は出力されず、1行目の明細の内容だけ出力されます。

- ・販売データ作成(見積書・受注伝票・売上伝票・契約書)
- ・在庫データ作成(出荷指示)
- ※対応する[自動実行汎用データ作成]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

〇今までは、在庫内訳を入力した伝票については、明細の内容とあわせて、必ず在庫内訳の内容を出力していました。今回より、[拡張項目]ページの「在庫内訳も出力する」の設定によって、在庫内訳の内容を出力するかを選択できるようになります。

<『ロット管理オプション』をお使いの場合>

▼例

[明細]

商品	ロケーション	ロット	数量
0001:商品①	A-01	L-10001	2個

[在庫内訳]

商品	ロケーション	ロット	数量
0001:商品①	A-01	L-10001	1個
0001:商品①	A-01	L-10002	1個

上記の伝票について汎用データを作成すると、以下のように出力されます。

○「在庫内訳も出力する」にチェックを付ける場合(今までは、必ずこちらで出力されていました。)

	明細の内容		在庫内訳の内容		
	商品	数量	ロケーシ ョン	ロット	在庫内訳 数量
1 行目	0001:商品	2個	A-01	L-10001	1個
2 行目	0001:商品	2個	A-01	L-10002	1 個

[※]明細の内容は、1・2行目で同じ内容が出力されます。

〇「在庫内訳も出力する」にチェックを付けない場合

	明細の内容	
	商品	数量
1 行目	0001:商品①	2個

[※]在庫内訳の内容は出力されず、明細の内容が1行で出力されます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・販売データ作成(売上伝票)
- ・仕入データ作成(仕入伝票)
- ・在庫データ作成(出荷指示・出荷伝票・入荷予定・入荷伝票・生産伝票・分解伝票・預 り品伝票・仮出荷伝票・仮入荷伝票)
- ※対応する[自動実行汎用データ作成]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

≪自動実行管理≫-

■ [自動実行汎用データ作成]メニューに作成パターンを追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]メニューの各メニューで、汎用データを作成する際の作成パターンを作成できるようになります。

常に同じ条件で汎用データを作成する際に便利です。

■ [自動実行汎用データ受入]メニューに受入パターンを追加 <『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ受入]メニューの各メニューで、汎用データを受け入れる際の受入パターンを作成できるようになります。

常に同じ条件で汎用データを受け入れる際に便利です。

商奉行 ERP· 蔵奉行 ERP

機能アップガイド

Ver.1.51 / Ver.1.52





※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

		_
	【商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容】	
	利用者ごとに、利用できる部門を制限する機能を追加	
L	<『ネットワーク対応製品』をお使いの場合>	
	伝票に対して承認機能を追加	
	[会社運用設定]メニュー・[会社機能設定]メニュー・[コード桁数/項目名称設定]メニューに 印刷機能を追加	
	[部門グループ登録]メニューを追加	
	[在庫残数登録]メニューの出力項目に「単位」を追加	
	見積書・納品書・注文書のFAX送信機能を追加	
	明細表の出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を追加	
	グラフをモノクロで印刷した際に、グラフの違いがわかるように網掛けで印刷できるように改 善	
Г	[宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力条件を追加	
	佐川急便(2010年)の送り状に対応	
	オリジナルフォームの機能を強化	
	マスター(得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品)のリアルタイム検 索機能を追加	
	[運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューに対して、過去に更新されたデータを 一覧で確認可能	
	「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに 縮小する機能を追加	
	印刷する際に、項目タイトル行・明細行などの網掛けの濃度を調整可能	
	XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成可能	
	<『奉行V ERPシリーズ with Citrix Access』をお使いの場合>	
L	<『奉行V ERPシリーズ with Terminal Service』をお使いの場合>	
	【商奉行∨の機能アップ内容】	
	未消込額のリアルタイム表示機能を追加	Γ
	【蔵奉行∨の機能アップ内容】	
	未消込額のリアルタイム表示機能を追加	
		T
_		
	く『入金消込オプション』をお使いの場合>	
	[支払個別消込]メニューで、支払予定日を過ぎた支払予定を赤色で表示する機能を追加	<u> </u>
	く『支払消込オプション』をお使いの場合>	
r	自動実行結果をメールで通知する機能を追加	T
		1

[スケジュール履歴]メニューの機能を強化	16
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
スケジュールを実行した結果の判定を一部変更	16
<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
当システムのオプション製品を使用している場合に、奉行 i メニューから、オプション製品の	17
保守サービスの加入状況が一目で確認可能	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容



【録 ● 利用者ごとに、利用できる部門を制限する機能を追加

<『ネットワーク対応製品』をお使いの場合>

当システムで複数の部門を管理している場合に、利用者に対して利用できる部門を制限できる ようになります。

[導入処理]-[権限登録]-[部門権限登録]メニューで、当システムの利用者ごとに、部門権限 (「一:未設定」「○:許可」「△:参照」)を設定します。

権限がある部門に対してだけ、伝票の入力や参照、管理資料の集計ができます。

※[部門権限登録]メニューは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「部門権 限」にチェックが付いている場合に使用できます。

▼例

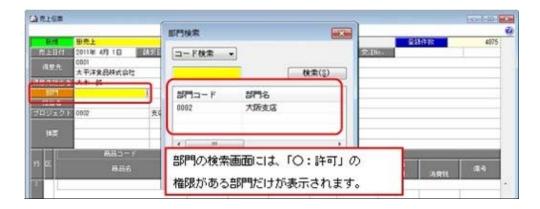
大阪支店に所属する山田さんに対して、以下のように部門のデータを制限する場合

- 〇大阪支店のデータだけを、参照・入力できるようにする
- 〇同じ関西エリアである神戸支店のデータだけを、参照できるようにする
- ○その他の部署のデータは、入力・参照できないようにする
- ※大阪支店・神戸支店などの各部署については、あらかじめ当システムの[導入処理]-[部門登 録]-[部門登録]メニューで登録しておきます。

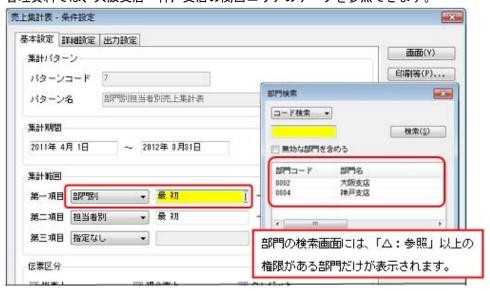
[導入処理]-[権限登録]-[部門権限登録]メニューで、山田さんに対して部門権限を設定しま す。



上記のように設定すると、山田さんは大阪支店の伝票だけを入力できます。



管理資料では、大阪支店・神戸支店の関西エリアのデータを参照できます。



【除 ● 伝票に対して承認機能を追加

伝票に対して、承認機能を使用できるようになります。

承認担当者が、[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承 認]メニューの各メニューで承認した伝票だけが、管理資料に反映されます。

伝票を複数の利用者で入力する場合に、入力ミスや不正な伝票の登録を防ぐことができます。

- 〇伝票の種類ごとに、承認機能を使用するかを設定できます。また、伝票の登録・修正方法によ って承認が必要かを設定できます。
- 〇最大で2段階の承認を行うことができます。
- 〇一度「承認」を付与した伝票に対して、承認を「解除」することもできます。

注意

承認機能を使用するには、以下の前準備が必要です。

- 〇[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「承認設定」で、承認機能を使用する伝 票の種類にチェックを付けます。
- ○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの【承認機能設定】で、伝票の種類ごとに 承認段数や承認内訳設定(承認する伝票の登録方法)などを設定します。
- ○[セキュリティ管理]-[権限管理]-[メニュー権限登録]メニューで、承認者に対して、[随時 処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニューの各 メニューのメニュー権限を付与します。

≪ 追加メニュー ≫

・[随時処理]-[承認処理]-[未承認伝票確認]メニュー

「未承認」「1次承認済」の伝票の件数を、一覧で確認できます。

承認する伝票の種類を選択し、 ジャンブ を押すと、 [随時処理] - [承認処理] - [販売データ承認]・ [仕入データ承認]・ [在庫データ承認]メニューの各メニューにジャンプできます。



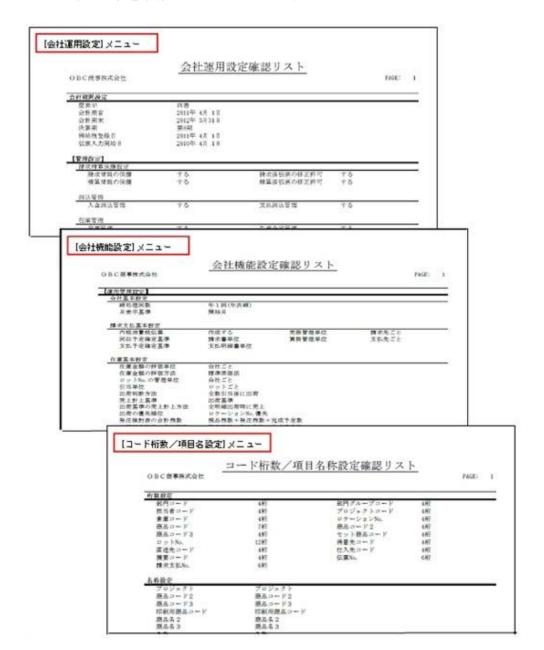
・[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニュー の各メニュー

伝票の内容を確認しながら、承認できます。



■ [会社運用設定]メニュー・[会社機能設定]メニュー・[コード桁数/項目名称設定]メニューに印刷機能を追加

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]・[会社機能設定]・[コード桁数/項目名称設定]メニューで、設定内容を印刷できるようになります。



● [部門グループ登録]メニューを追加

[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで、複数の部門をまとめる任意の部門グループを登録できます。

- ○管理資料で複数部門(部門グループ)の合計金額を確認できます。
- 〇部門グループの内訳として部門グループを設定することで、部門グループをまとめる部門グループを登録することができます。
- ※部門グループデータの[汎用データ作成]メニュー・[汎用データ受入]メニューも、あわせて 追加されています。

▼例



※「東京本店」「横浜支店」「大阪支店」「神戸支店」は、あらかじめ[導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニューで登録しておきます。

「東日本エリア」「西日本エリア」は、[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで登録しておきます。

● [在庫残数登録]メニューの出力項目に「単位」を追加

[導入処理]-[開始残登録]-[在庫残数登録]メニューで、出力項目に商品の「単位」を選択できるようになります。

■ 見積書・納品書・注文書のFAX送信機能を追加

伝票上から見積書・納品書・注文書をFAXで送信できるようになります。

FAXを送信する際に、送り状を付けて送信することもできます。

「株式会社リコー」のFAXドライバに対応した機種が必要です。

≪ 対応ドライバ例 ≫

- RICOH PC FAX (imagio)
- RICOH PC FAX(IPSiO)
- ・RICOH PC FAX(RIFAX) など

● 明細表の出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を追加

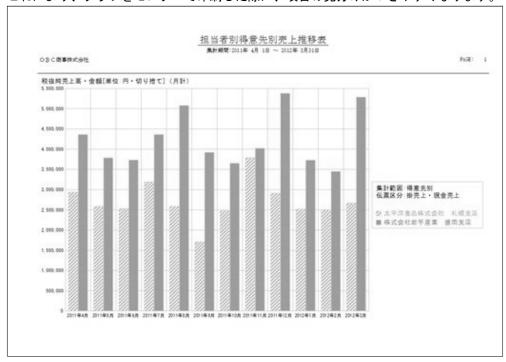
明細表で、出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を選択できるようになります。

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー

グラフをモノクロで印刷した際に、グラフの違いがわかるように網掛けで印刷できるように改善

[グラフ印刷条件設定]画面の[グラフ印刷設定]ページで、グラフを網掛けに印刷できるようになります。

これにより、グラフをモノクロで印刷した際に、項目の見分けがつきやすくなります。



≪ 関連メニュー ≫

- ・推移表 (受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推移 表)
- 対比表(売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表)
- · ABC分析(売上ABC分析・仕入ABC分析)
- · 行列表 (売上行列表 · 仕入行列表)

● [宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力条件を追加

- ○[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューの[基本設定]ページで、出力するデータの条件に「無効なマスターも含める」を設定できるようになります。
- 〇[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニューの[出力設定]ページで、「各マスターの名称2」および「担当者名」を出力するか選択できるようになります。

◉ 佐川急便(2010年)の送り状に対応

2010年10月から佐川急便の送り状が順次切り替わっています。

今回より、[随時処理]-[送り状印刷]メニューの送り状フォームで「0008:佐川急便(2010年)」が選択できるようになります。

※[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューにも、[送り状座標登録 - 複写元データ選択]画面の「テンプレートデータ」に「[ORG] 佐川急便(2010年)」が追加されています。

● オリジナルフォームの機能を強化

〇旧製品から転送したフォームデータを受け入れできるようになります。

旧製品の[SUPER]-[オリジナルフォーム処理]-[汎用フォーム処理]メニューで転送したフォームデータを、当システムで受け入れできるようになります。

オリジナルフォームの各メニューでフォームデータを受け入れる際に、[受入データ形式選択] 画面で「商蔵奉行21 汎用フォーム処理で転送したフォームデータ (種別番号 301~999)」を 選択します。

以下の条件に該当するフォームデータを受け入れできます。

- ・レイアウト形式 (フォームコードが「301~999」) のフォームデータ
- ※レイアウト形式のフォームデータは、『商奉行21Ver. Ⅱ以降』または『蔵奉行21Ver. Ⅱ 以降』で出力したフォームデータで作成できます。
- ・見積書、納品書、請求書、注文書、送り状のフォームデータ
- ※得意先元帳・仕入先元帳は、旧製品にオリジナルフォームがないため、受け入れできません。

注意

受け入れたフォームは、設定内容や項目、使用するコンピュータやプリンタなどのお客様の環境によって、**旧製品と同じ印字結果にならない場合があります。**

このため、受入後には印字微調整・用紙サイズ・給紙方法などを設定して、印字位置を確認・ 調整する必要があります。

○文字列の抽出機能を設定できる項目が追加されます。

[項目設定]画面の[表示形式]ページで、「文字列の抽出」の機能を、印字項目の「コード」 「日付」「郵便番号」にも設定できるようになります。



〇印字項目の「日付」の書式が追加されます。

以下の書式など、印字項目の「日付」に対して設定できる書式が増えます。

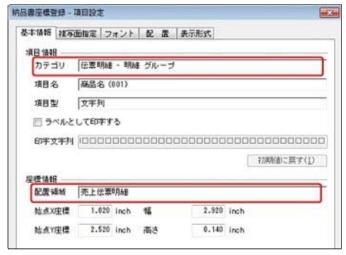


〇印字項目の「印刷用商品コード」に印字条件が追加されます。

印字項目の「印刷用商品コード」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページで「明細行商品コードを印字する」を設定できるようになります。

印刷用商品コードが登録されていない場合に、伝票上の商品コード (明細行商品コード) を印字するか、何も印字しないかを選択できます。

- 〇印字項目の[項目設定]画面に「カテゴリ」「配置領域」を表示する機能が追加されます。 印字項目の[項目設定]画面に、以下の情報が表示されるようになります。
 - ・「カテゴリ」には、印字項目が所属している「アイテムリスト」内のフォルダが表示されます。
 - ・「配置領域」には、印字項目が配置されている領域が表示されます。





【除 ● マスター(得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品)のリアルタ イム検索機能を追加

得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品を検索する際に、リアルタイム 検索(検索条件を入力すると同時に、検索候補を絞り込んで表示)できるようになります。 検索のスピードアップを図れます。

▼例



検索画面で「即時検索する」を選択し、検索条件で「コン」と入力するだけで、指定した条件 (商品名が「コン」を含む) に合致する商品だけが即時に絞り込まれます。

● [運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認可能

[運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューで、過去に更新されたデータの内容を 時系列に一覧で確認できるようになります。





≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニュー
- ・[導入処理]-[運用設定]-[コード桁数/項目名称設定]メニュー
- ・[セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[アカウントポリシー]メニュー
- ・[セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[パスワードポリシー]メニュー
- ・[セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[データ領域権限評価ポリシー]メニュー
- 「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに縮小する機能を追加

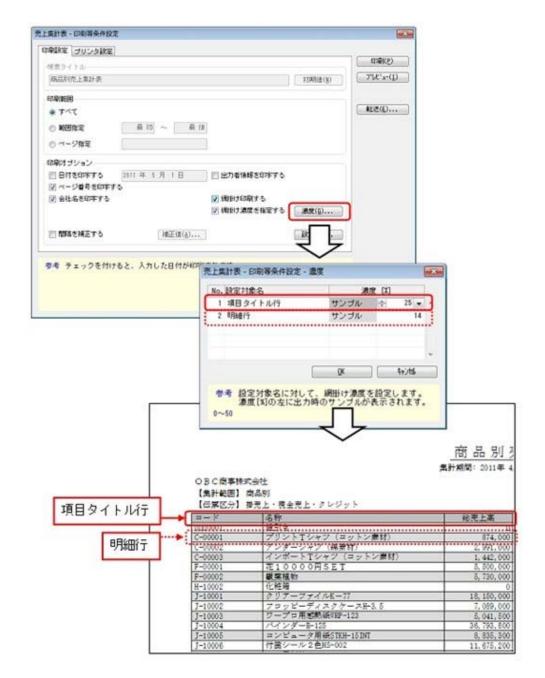
[データ領域管理]-[バックアップ/復元]-[バックアップ復元]メニューまたは[データ領域管理]-[バックアップ/復元]-[バックアップ履歴]メニューから、「OBC専用モード」で作成したバックアップデータを復元する際に、データ領域やログ領域のサイズを、自動的に適正サイズに縮小する機能が追加されます。

[作成先変更]ボタンをクリックして表示される[作成先変更]画面の[自動設定]ページで、自動的に縮小できます。

● 印刷する際に、項目タイトル行・明細行などの網掛けの濃度を調整可能

網掛け印字する帳票において、印刷する際に、[印刷設定]ページで網掛け部分の濃度を調整で きるようになります。

これにより、項目タイトル行・明細行ごとに、網掛けを濃くして強調したり、網掛けする欄を 見やすくするために網掛けを薄くしたりできます。



- XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成可能
 - <『奉行V ERPシリーズ with Citrix Access』をお使いの場合>
 - <『奉行V ERPシリーズ with Terminal Service』をお使いの場合>

今までは、XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、自動マッピング(リダイレクト)されたクライアント用コンピュータのドライブに作成できませんでした。今回より作成できるようになります。

■ 未消込額のリアルタイム表示機能を追加

〇入金金額を入力すると、同時にまだ消込を行っていない回収予定額が表示されるようになりま す。

[回収消込 [回収予定基準]]メニューの場合は、「回収予定額 - 入金金額」が「消込後回収予定額」に表示されます。

- ※消込していない回収予定額が表示される項目は、メニューによって異なります。
- 〇[設定]画面の差額手数料自動表示が「する」の場合は、入金金額を入力すると、同時にまだ消 込していない回収予定額が手数料欄に表示されます。
 - ※差額手数料自動表示は、[FB入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニューでは設定できません。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[入金データ作成]メニュー
- ・[販売管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金伝票作成]-[FB入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー

『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー

蔵奉行Vの機能アップ内容

■ 未消込額のリアルタイム表示機能を追加

支払金額を入力すると、同時にまだ消込を行っていない支払予定額が表示されるようになります。

[支払消込 [支払予定基準]]メニューの場合は、「支払予定額 - 支払金額」が「消込後支払予定額」に表示されます。

※消込していない支払予定額が表示される項目は、メニューによって異なります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー

『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー

■ [回収個別消込]メニューで、回収予定日を過ぎた回収予定を赤色で表示する機能を追加 <『入金消込オプション』をお使いの場合>

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニューで、回収予定日を過ぎた回収予定を赤色で表示できるようになります。



※あらかじめ、[設定]画面で予定日超過データの赤色表示を「する」に設定します。

■ [支払個別消込]メニューで、支払予定日を過ぎた支払予定を赤色で表示する機能を追加 <『支払消込オプション』をお使いの場合>

[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニューで、支払予定日を過ぎた支払予定を赤色で表示できるようになります。



※あらかじめ、[設定]画面で予定日超過データの赤色表示を「する」に設定します。

● 自動実行結果をメールで通知する機能を追加 <『自動実行結果をメールで通知する機能を追加

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

[スケジュール登録]画面の[通知設定]ページで、スケジュールが終了した時点で、メールで通知するかを設定できるようになります。

また、メールで通知したい場合は、今回追加された[管理ツール]-[メールサーバー設定]メニューで、メールサーバーを設定する必要があります。

- ※複数の製品の『自動実行管理オプション』をお使いの場合、または、『BACKUP for 奉行』を併用してお使いの場合は、いずれか 1 つの製品でメールサーバーを設定すれば、自動的に他の製品にも同じ設定が反映されます。
- ※奉行V ERPシリーズの統合運用管理システム『OBC Management Studio』をお使いの場合は、当システムには[メールサーバー設定]メニューは表示されません。『OBC Management Studio』の[運用環境管理]-[メール設定]-[メールサーバー設定]メニューで、一括で設定します。
- ※『運用管理ツール』をお使いの場合は、当システムには[メールサーバー設定]メニューは表示されません。『運用管理ツール』の[運用環境管理]-[メールサーバー設定]メニューで、一括で設定します。

上記の機能は、『運用管理ツール』のバージョン1.51以降で追加されています。バージョン1.50以前の『運用管理ツール』をお使いの場合は、『運用管理ツール』のバージョン1.51以降をセットアップしてください。

● [スケジュール履歴]メニューの機能を強化

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

以下の機能が追加されます。

- 〇[スケジュール履歴] 画面に[詳細] ボタンが追加され、スケジュール履歴の詳細を確認することで、具体的な件数まで把握できます。
- ○今までは、サーバー用コンピュータにセットアップされている当システムだけしか、[自動実行管理]-[スケジュール履歴]メニューでログファイルを確認できませんでした。今回より、クライアント用コンピュータにセットアップされている当システムの[自動実行管理]-[スケジュール履歴]メニューでも、ログファイルを確認できるようになります。
- ○[スケジュール履歴 条件設定]画面の[基本設定]ページに「失敗または未処理を含む履歴だけ表示する」が追加され、失敗した履歴だけを確認しやすくなります。

■ スケジュールを実行した結果の判定を一部変更

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

以下のメニューでスケジュールを実行した結果、該当データがない場合は、今までは処理の結果を「失敗」にしていましたが、今回から「成功」に変更されます。

[スケジュール登録]画面の[実行設定]ページの「エラーが発生した場合は、処理を中断する」にチェックを付けいている場合は、該当データがない場合の後の処理が中断されなくなります。

- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行契約売上データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行発注検討表]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行同時発注処理]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行同時仕入処理]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行同時生産処理]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行仕訳伝票作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]メニューの各メニュー

- 当システムのオプション製品を使用している場合に、奉行iメニューから、オプション 製品の保守サービスの加入状況が一目で確認可能
- <『オプション製品』をお使いの場合>

当システムのオプション製品を使用している場合に、奉行iメニューから、オプション製品の保守サービスの加入状況が一目で確認できるようになります。

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.50





※ 🔯 マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容】	
F	単価(単価区分別単価・数量別単価)を追加	2
	[単価登録]メニューのメニュー構成を変更	3
P	管理資料に「倉庫別」「倉庫区分別」の集計機能を追加	3
	[汎用データ作成]メニューの機能を強化	4
	[汎用データ受入]メニューの機能を強化	5
	[伝票消去処理]メニューを追加	5
	コンバート処理に対象外の指定機能を追加	5
	商品・得意先・仕入先を検索する際の絞込項目を追加	5
	マスターの検索画面で、検索結果をマスターのコード順に並べる設定を追加	6
	管理資料で指定できる並び順の設定を追加	6
	[バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを 指定できるように変更	6
	条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善	7
	[ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動	7
ľ		
F	売掛金の開始残高に対して回収予定を設定する機能を追加	7
	[売上行列表]メニューを追加	7
F	[請求書発行]メニューの機能を強化	9
	[請求一覧表]メニューの機能を強化	9
ľ	[売掛金残高一覧表]・[売掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加	9
	得意先元帳オリジナルフォームを追加	9
	伝票でスポット得意先(得意先コード[O]) の名称を変更した場合の機能を追加	10
ľ	【蔵奉行∨の機能アップ内容】	
f	買掛金・未払金の開始残高に対して支払予定を設定する機能を追加	10
	[同時発注処理]メニュー・[同時仕入処理]メニューで、作成される伝票の備考欄に作成元の「伝票No.」 を設定する機能を追加	10
	[仕入行列表]メニューを追加	10
	[支払明細書発行]メニューの機能を強化	12
ľ	[支払一覧表]メニューの機能を強化	12
	[買掛金残高一覧表]・[買掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加	12
	仕入先元帳オリジナルフォームを追加 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	12
	伝票でスポット仕入先(仕入先コード[O])の名称を変更した場合の機能を追加	13
Ī		
r	リレー機能を強化	13
	く『入出荷管理オプション』をお使いの場合>	
r	奉行シリーズ以外の外部システムからも、自動実行スケジュールを使用できる機能を追加	13
	<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

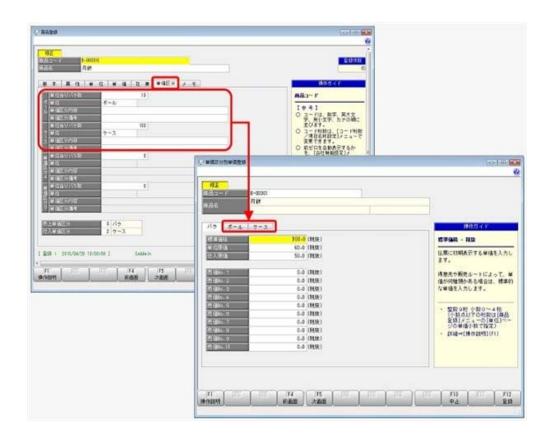
商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容

● 単価(単価区分別単価・数量別単価)を追加

〇単価区分別単価を追加

同じ商品でも荷姿ごとに単価が異なる場合に、荷姿ごと(単価区分ごと)に単価を設定できるようになります。

単価区分別単価・単価区分別期間単価・単価区分別数量別単価・単価区分別数量別期間単価を設定できます。



※[商品登録]メニューの[単価区分]ページは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合に表示されます。

なお、上記の画面では、[導入処理]-[運用設定]-[コード桁数/項目名称設定]メニューで、単価区分の名称を「バラ(単価区分1)」「ボール(単価区分2)」「ケース(単価区分3)」と変更しています。

≪ 追加メニュー ≫

- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー

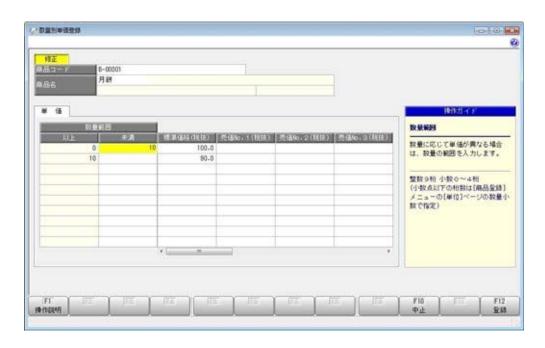
※対応する汎用データ作成・汎用データ受入・データー括削除メニューも、合わせて追加されています。

ただし、単価区分別期間単価・単価区分別数量別期間単価に対応するデーター括削除メニューはありません。

〇数量別単価を追加

数量によって商品の単価が変更になる場合に、数量範囲に対して商品の単価を設定できるようになります。

数量別単価・得意先別数量別単価・得意先別数量別期間単価・数量別期間単価を設定できます。



≪ 追加メニュー ≫

- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー
- ※対応する汎用データ作成・汎用データ受入・データー括削除メニューも、合わせて追加されています。

ただし、数量別期間単価に対応するデーター括削除メニューはありません。

■ [単価登録]メニューのメニュー構成を変更

「単価登録]メニューのメニュー構成を変更しました。

○変更前:[導入処理]-[商品登録]-[単価登録]メニュー

〇変更後:[導入処理]-[単価登録]メニュー

● 管理資料に「倉庫別」「倉庫区分別」の集計機能を追加

管理資料を「倉庫別」「倉庫区分別」で集計できるようになります。 合わせて、予算も「倉庫別」「倉庫区分別」で管理できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

・明細表 (受注明細表・受注残明細表・売上明細表・発注明細表・発注残明細表・仕入明 細表)

- ・集計表 (受注集計表・受注残集計表・売上集計表・発注集計表・発注残集計表・仕入集 計表)
- ・順位表 (売上順位表・仕入順位表)
- ・推移表(受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推 移表)
- 対比表(売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表)
- ・ABC分析(売上ABC分析・仕入ABC分析)
- 取引実績一覧表
- 予算登録
- 予算データ受入

[汎用データ作成]メニューの機能を強化

○マスターデータ・伝票データの汎用データ作成で、登録履歴・修正履歴を出力できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]メニュー (商品・セット商品・得意先・仕入先)
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]メニュー (見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票)
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]メニュー (発注伝票・仕入伝票・支払伝票)
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]メニュー (出荷指示・出荷伝票・入荷予定・入荷伝票・構成品・生産予定・生産伝票・分解伝 票・倉庫内振替伝票・倉庫間振替伝票・預り品伝票・仮出荷伝票・仮入荷伝票)
- ※対応する[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)
- 〇伝票データの汎用データ作成で、伝票のデータとともに、伝票で使用している担当者・倉庫・商品・得意先・仕入先の区分情報(担当者区分・倉庫区分・商品区分・得意先区分・仕入先区分)も合わせて出力できるようになります。

▼<u>例</u>

① [得意先登録]メニューで、「得意先1」に対して以下を設定します。 得意先区分1:得意先区分A

得意先区分2:得意先区分α

- ② [売上伝票]メニューで、①で登録した「得意先1」の伝票を入力します。
- ③ [売上伝票データ作成]メニューで、②で登録した伝票を転送します。

伝票のデータとともに、伝票で入力した「得意先1」の情報、得意先区分 1 「得意先区 分A」・得意先区分 2 「得意先区分 α 」も合わせて出力できるようになります。

区分情報以外にも、伝票で使用している以下のマスターの情報を出力できます。 得意先・請求先・仕入先・支払先・担当者・信販会社・商品・ロット・ロケーション・倉庫

≪ 関連メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]メニュー (見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票)
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]メニュー (発注伝票・仕入伝票・支払伝票)
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]メニュー

(出荷指示・出荷伝票・入荷予定・入荷伝票・構成品・生産予定・生産伝票・分解伝票・倉庫内振替伝票・倉庫間振替伝票・預り品伝票・仮出荷伝票・仮入荷伝票)

※対応する[自動実行管理]-[条件設定]-[自動実行汎用データ作成]メニューにも同じ機能が追加されています。(『自動実行オプション』をお使いの場合)

● [汎用データ受入]メニューの機能を強化

〇伝票データを受け入れる際に、原価割れチェック・与信額チェック・在庫割れチェック・引 当割れチェックを行えるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューで、チェックを行うかを設定します。

〇伝票No. を受け入れる際に、伝票No. を「システム自動付番設定」の設定に関わらず、受け入れるファイルの伝票No. で付番できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューで、優先する伝票No. を設定できます。

〇今までは、商品の単価や在庫残数・在庫残高データを受け入れる際に、「商品コード」を基準としての受け入れしかできませんでした。

今回より、「商品コード2~5」を基準として受け入れることもできるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ受入]メニュー

(得意先別単価・得意先別期間単価・仕入先別単価・仕入先別期間単価・期間単価・統一 伝票価格表・在庫残数・在庫残高)

● 「伝票消去処理]メニューを追加

[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、伝票の増加に伴うパフォーマンス劣化を防ぐ目的で過去の伝票を消去できるようになります。

消去した伝票をもとに売掛金残高・買掛金残高・在庫残数を更新します。伝票消去処理日以前の管理資料は集計できなくなりますが、伝票消去処理日より後の日付の管理資料の集計には影響しません。

■ コンバート処理に対象外の指定機能を追加

今までは、商奉行で開始残登録日から現在までの間に、請求情報(請求書発行を行った情報) が無い期間が存在する場合は、請求情報が無い期間に対する入金金額を、手動で対象外に指定 する必要がありました。

※蔵奉行では、開始残登録日から現在までの間に、精算情報(支払明細書発行を行った情報)が無い期間が存在する場合は、精算情報が無い期間に対する支払金額を、手動で対象外に指定する必要がありました。

今回より、コンバート処理時に自動で対象外が指定されるようになります。

◉ 商品・得意先・仕入先を範囲検索する際の絞込項目を追加

商品・得意先・仕入先を範囲検索する際に、以下の項目を指定して絞込できるようになります。

〇商品:主倉庫コード、主倉庫名、主ロケーションNo.、主仕入先コード、主仕入先略称、メモ1~3

〇得意先:共用区分、主担当者コード、主担当者名、主プロジェクトコード、主プロジェクト 名、売価No.、掛率、メモ1~3

〇仕入先: 主担当者コード、主担当者名、主プロジェクトコード、主プロジェクト名、メモ1 ~3

≪ 関連メニュー ≫

・マスター登録(商品・得意先・仕入先)

- ·一括登録(商品·得意先·仕入先)
- ・汎用データ作成(商品・得意先・仕入先)
- ・データー括削除(商品・得意先・仕入先)
- ・自動実行汎用データ作成(商品・得意先・仕入先) (『自動実行オプション』をお使いの場合)

マスターの検索画面で、検索結果をマスターのコード順に並べる設定を追加

今までは、マスターの検索画面でマスターコード以外を指定して検索すると、検索結果は「検索時に絞込項目に追加した項目の順序」で表示されていました。

今回より、検索時に「〇〇コード順で並べる」にチェックを付けると、マスターのコード順に 並べることができるようになります。

◉ 管理資料で指定できる並び順の設定を追加

[販売管理]-[債権回収処理]・[仕入管理]-[債務支払処理]メニューで、データの並び順に「部門コード」「プロジェクトコード」を設定できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- [販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定変更]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込対象外]-[回収消込個別対象外指定]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込対象外]-[回収消込対象外指定取消]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定変更]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込対象外]-[支払消込個別対象外指定]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込対象外]-[支払消込対象外指定取消]メニュー

『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込取消]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [売上伝票基準]]メニュー
- ・「販売管理]-「債権回収処理]-「回収個別消込]-「消込済照会「入金伝票基準]]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニュー

『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込取消]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-消込済照会 [仕入伝票基準]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-消込済照会 [支払伝票基準]メニュー
- ・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニュー

■ [バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを指定できるように変更

[随時処理]-[バックアップ]メニュー、[データ領域管理]-[バックアップ/復元]-[一括バックアップ]メニューで、OBC専用モードだけでなく<u>DB依存モード</u>でのバックアップ先にも、「USBフラッシュドライブ(USBメモリ)」や「MOドライブ」などのリムーバブルメディアドライブを指定できるようになります。

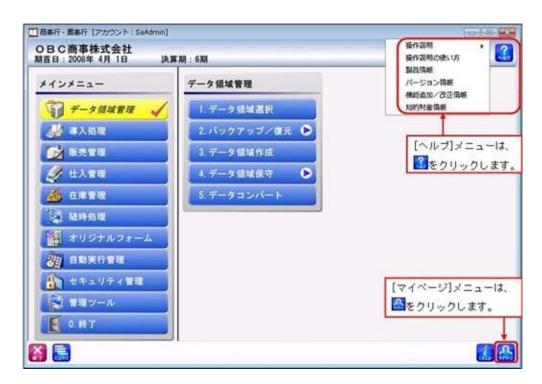
● 条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善

条件設定画面のコードの範囲指定において、「終了コード」を空欄にして[Enter]キーで確定すると、「開始コード」と同じコードが「終了コード」欄にもセットされるようになります。これにより、1つのコードを指定する際に、よりスムーズに指定できるようになります。



● [ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動

[ヘルプ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右上に移動します。 [マイページ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右下に移動します。



商奉行∨の機能アップ内容

● 売掛金の開始残高に対して回収予定を設定する機能を追加

[導入処理]-[開始残登録]-[売掛金残高登録]メニューで、売掛金の開始残高に対する回収予定を設定できるようになります。

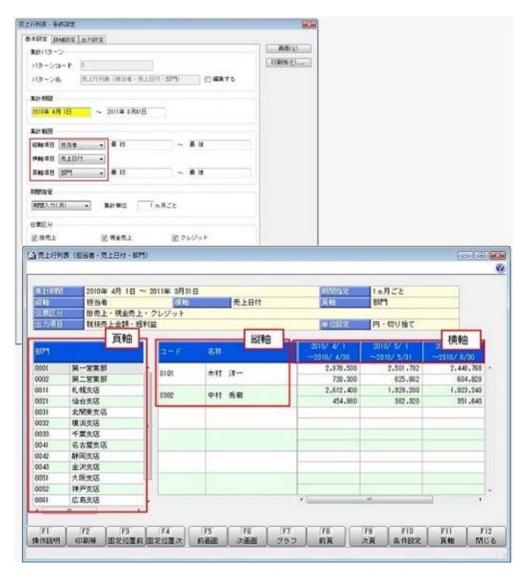
[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「入金消込管理」にチェックが付いている場合は、設定した回収予定をもとに、消込管理も行えます。

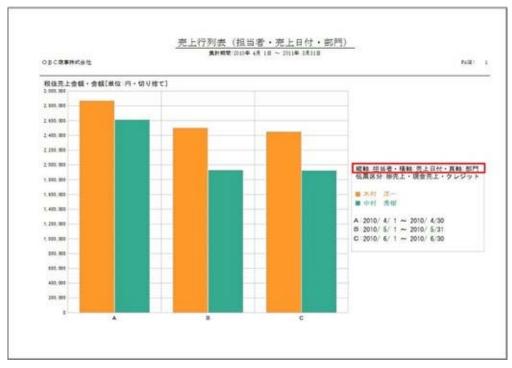
● [売上行列表]メニューを追加

[販売管理]-[売上処理]-[売上行列表]メニューで、売上明細を得意先や商品ごとに集計し、売上金額や売上数量のマトリックス表を出力できるようになります。

縦軸・横軸・頁軸に、お客様の任意の項目を設定できますので、お客様の用途に合わせた分析を行

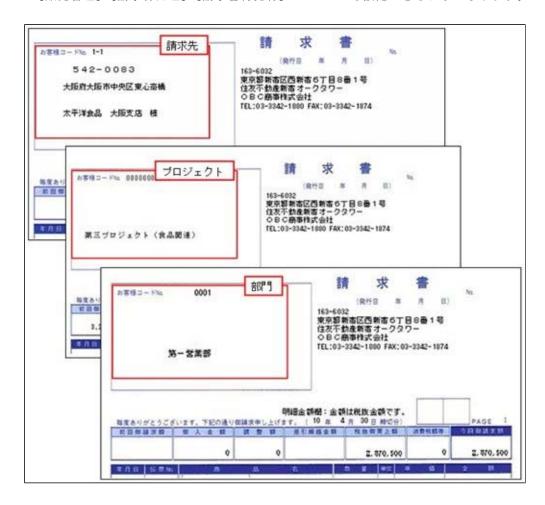
えます。 また、表形式での出力のほか、棒グラフや折れ線グラフで出力することもできます。





● [請求書発行]メニューの機能を強化

- 〇[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、請求書の請求先欄に内訳情報(得意 先・プロジェクト・部門)を印字できるようになります。
 - ※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。



〇[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、発行する請求書の一覧を印刷できるようになります。

● [請求一覧表]メニューの機能を強化

- 〇[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、出力する項目の条件に以下を設定できるようになります。
 - ・御買上額を税込みで出力する
 - ・御入金額に調整額も含める
- 〇[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、重複した請求期間の請求履歴があった場合に、その請求履歴を赤字で表示するようになります。

■ [売掛金残高一覧表]・[売掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加 [販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー・[販売管理]-[売掛金残高順位表]メニューで、「入金区分」ごとの金額も出力できるようになります。

● 得意先元帳オリジナルフォームを追加

[オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニューで、お客様独自の得意先元帳を印刷するための印刷形式(フォーム)を作成できるようになります。

得意先元帳の印刷時に印刷形式 (フォーム) を選択することで、作成した印刷形式 (フォーム) で印刷できます。

- 伝票でスポット得意先(得意先コード[O])の名称を変更した場合の機能を追加
 - ○[販売管理]-[得意先元帳]メニューで、摘要欄にスポット得意先名を出力するかを選択できるようになります。
 - 〇スポット得意先の伝票の場合は、[伝票検索一括表示]画面の得意先略称欄にスポット得意先 名が表示されるようになります。

蔵奉行Vの機能アップ内容

■ 買掛金・未払金の開始残高に対して支払予定を設定する機能を追加

[導入処理]-[開始残登録]-[買掛金残高登録]メニューで、買掛金・未払金の開始残高に対する 支払予定を設定できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「支払消込管理」にチェックが付いている場合は、設定した支払予定をもとに消込管理も行えます。

■ [同時発注処理]メニュー・[同時仕入処理]メニューで、作成される伝票の備考欄に作成元の「伝票No.」を設定する機能を追加

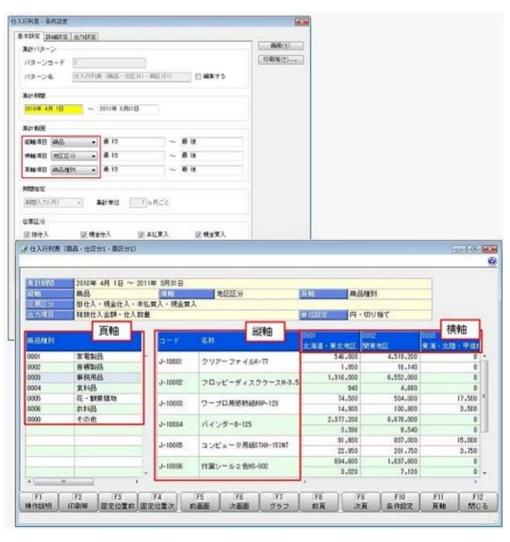
[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニューで、作成される発注伝票・仕入伝票の備考欄に、作成元の「伝票No.」を設定できるようになります。

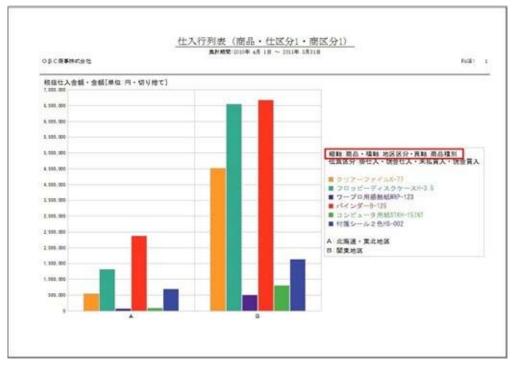
● [仕入行列表]メニューを追加

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入行列表]メニューで、仕入明細を仕入先や商品ごとに集計し、仕入金額や仕入数量のマトリックス表を出力できるようになります。

縦軸・横軸・頁軸に、お客様の任意の項目を設定できますので、お客様の用途に合わせた分析を行えます。

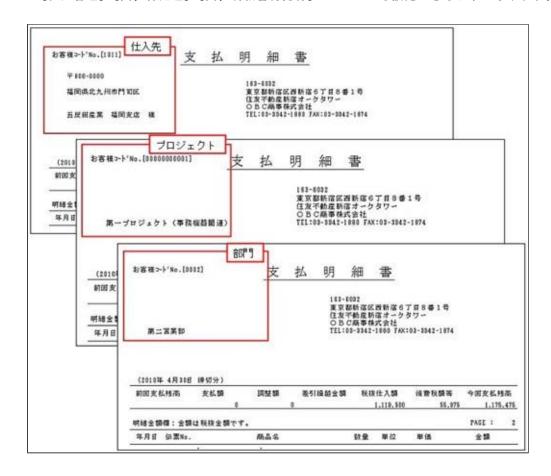
また、表形式での出力のほか、棒グラフや折れ線グラフで出力することもできます。





● [支払明細書発行]メニューの機能を強化

- 〇[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、支払明細書の支払先欄に内訳情報 (仕入先・プロジェクト・部門)を印字できるようになります。
 - ※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。



〇[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、発行する支払明細書の一覧を印刷できるようになります。

● 「支払一覧表]メニューの機能を強化

- 〇[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、出力する項目の条件に以下を設定できるようになります。
 - ・仕入額を税込みで出力する
 - ・支払額に調整額も含める
- 〇[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、重複した精算期間の精算履歴があった場合に、その精算履歴を赤字で表示するようになります。

● [買掛金残高一覧表]・[買掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加

[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー・[仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニューで、「支払区分」ごとの金額も出力できるようになります。

● 仕入先元帳オリジナルフォームを追加

[オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニューで、お客様独自の仕入先元帳を印刷するための印刷形式(フォーム)を作成できるようになります。

仕入先元帳の印刷時に印刷形式 (フォーム) を選択することで、作成した印刷形式 (フォーム) で印刷できます。

- 伝票でスポット仕入先(仕入先コード[O])の名称を変更した場合の機能を追加
 - ○[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、摘要欄にスポット仕入先名を出力するかを選択できるようになります。
 - 〇スポット仕入先の伝票の場合は、[伝票検索一括表示]画面の仕入先略称欄に、スポット仕入 先名が表示されるようになります。

オプション製品の機能アップ内容

● リレー機能を強化

<『入出荷管理オプション』をお使いの場合>

今までは、以下のメニューは伝票ごとにしか処理できませんでした。

- ・[販売管理]-[売上処理]-[検収処理]-[検収売上確定]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷指示]-[一括出荷指示]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷確定]メニュー
- ・「在庫管理]-「入荷予定]-「一括入荷予定]メニュー

今回より、より詳細に処理ができるように、伝票の明細ごとにも処理ができるようになります。

また、[販売管理]-[売上処理]-[検収処理]-[未検収リスト]メニューでは、[0:一般商品]以外の明細も集計できるようになります。

- ※明細単位で処理した場合の売上を計上するタイミングは、[会社機能設定]メニューで「出荷 した明細から順次売上」「全明細出荷時に売上」から選択できます。
- 奉行シリーズ以外の外部システムからも、自動実行スケジュールを使用できる機能を 追加

<『自動実行オプション』をお使いの場合>

当システムの[自動実行管理]メニューで登録したスケジュールを、奉行シリーズ以外の外部システムからも実行できるようになります。

※外部システム側から、一定のパラメータを渡すことで、スケジュールを実行できます。

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.22





機能追加/改正情報

Ver. 1. 22 変更内容

<u>奉行21・奉行21 R2・奉行21 Ver. II のすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるように対応</u>

機能追加/改正情報

Ver. 1. 22 変更内容の詳細

奉行21・奉行21 R2・奉行21 Ver. Ⅱのすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるように対応

<u>[データコンバート]メニュー</u> で、以下の製品の会社データもデータコンバートできるようになります。

- ※「データ変換ツール」で会社データを変換する必要があります。
- · 商奉行21 Ver. Ⅱ
- · 蔵奉行21 Ver. Ⅱ
- 商奉行21 R2
- 蔵奉行21 R2
- · 商奉行21
- · 蔵奉行21

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.21





機能追加/改正情報

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

Ver. 1. 21 変更内容

【商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容】

付箋機能を追加

同時生産処理を追加

入力権限に修正登録時の権限を追加

[取引実績一覧表]メニューを追加

コンバートできるデータを追加

メニューの名称を変更

[メニュー権限登録]・[データ領域権限登録]メニューに一括複写機能を追加

<u>監査用のアカウント(読み取り専用の利用者)を追加</u>

<u>奉行:メニューの操作性を変更</u>

【商奉行∨の機能アップ内容】

<u>クレジット販売の機能を追加</u>

得意先別期間単価を追加

【蔵奉行Vの機能アップ内容】

生産予定処理を追加

預り品処理を追加

仮出荷処理を追加

仮入荷処理を追加

ロットNo. の自動付番機能を追加

<『ロット管理オプション』をお使いの場合>

仕入先別期間単価を追加

在庫の管理資料を追加

[必要部品確認]メニューの強化

[自動実行汎用データ受入]メニューのメニュー追加

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合>

機能追加/改正情報

Ver. 1. 21 変更内容の詳細

商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容

● 付箋機能を追加

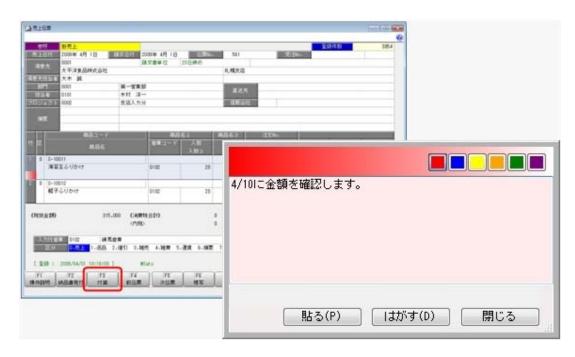
伝票の明細ごとに「付箋」を貼れるようになります。

明細に付箋を貼ることで、明細に目印を付けたり、メモを残すことができます。

また、<u>元帳</u> や明細表などの管理資料では、付箋での絞り込み、付箋の取り外し、内容の編集などが行えます。

≪ 対象伝票 ≫

見積書 ・受注伝票 ・売上伝票 ・入金伝票 ・発注伝票 ・仕入伝票 ・支払伝票



● 同時生産処理を追加

同時生産処理を行うことで、売上伝票をもとに、一括で生産伝票を作成できるようになります。 普段、構成品を在庫として持たず、得意先への売上に応じて必要数量を生産する場合などに行い ます。

生産伝票を再入力する手間を省いたり、入力ミスなどを防げます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[同時生産処理]メニュー
- ・ [自動実行同時生産処理]メニュー (『自動実行管理オプション』をお使いの場合)

● 入力権限に修正登録時の権限を追加

[入力権限登録]メニュー で、新規登録時と修正登録時の入力権限を別々に設定できるようになります。

● [取引実績一覧表]メニューを追加

[取引実績一覧表]メニュー で、対象期間内の取引内容 (見積書・受注伝票・売上伝票・発注伝票・仕入伝票・支払伝票・生産伝票・分解伝票) を日付や商品ごとに一覧で出力できるようになります。

また、取引の差益や在庫の回転率なども集計できます。



■ コンパートできるデータを追加

旧製品から『商奉行V』『蔵奉行V』へデータを移行(コンバート)する際に、以下のデータもコンバートできるようになります。

- 〇信販会社マスター
- 〇クレジット売上の売上伝票
- ○預り品台帳
- 〇仮出荷台帳
- 〇仮入荷台帳

● メニューの名称を変更

[データ領域権限設定]メニューの名称を、[データ領域権限評価ポリシー]に変更しました。

● [メニュー権限登録]・[データ領域権限登録]メニューに一括複写機能を追加 今までは、メニュー権限・データ領域権限を複写する際に、複写先に1名しか指定できませんで した。

今回より、複写先に複数名を指定して、一括で複写できるようになりました。

● 監査用のアカウント (読み取り専用の利用者) を追加

監査用のアカウント(読み取り専用の利用者)として、「SaGuest」が追加されました。(初期では「無効」に設定されています。)

「SaGuest」の利用者は、「読み取り専用」が初期で設定されており、メニュー権限を個々に設定しなくても、以下の制限された動作をシステム側で保証します。

- ・データを閲覧および更新するメニューは、閲覧(参照)だけに制限された状態で自動的に起動します。
- ・データを更新するだけのメニューは、起動自体が制限されます。

なお、この「読み取り専用」は、他の利用者にも設定できます。

●奉行iメニューの操作性を変更

[奉行 i メニュー] ボタンをクリックすると、「サポート時事情報」や「保守会員様向けダウンロード情報」の内容が、最新の情報に更新されるようになりました。

商奉行∨の機能アップ内容

● クレジット販売の機能を追加

クレジット販売(<u>売上伝票</u>) やファクタリングによる債権譲渡(<u>入金伝票</u>) を管理できるよう になります。

また、信託債権の管理資料や信販会社ごとの仕訳伝票 を作成できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[信販会社登録]メニュー
- ・[信託債権管理表]メニュー
 - ※[信販会社登録]メニューに対応する $\underline{\rm NH} \overline{r} \underline{\rm 9} + \underline{\rm MH} \overline{r} \underline{\rm 9} + \underline{\rm 7} \underline{\rm 9} + \underline{\rm 7} + \underline{\rm 7$

● 得意先別期間単価を追加

[得意先別期間単価登録]メニュー で、得意先によってある期間の商品の単価が変更になる場合に、その得意先と期間に対する商品の単価を設定できるようになります。

蔵奉行∨の機能アップ内容

● 生産予定処理を追加

生産予定処理を行うことで、構成品を生産する際の生産予定を管理できるようになります。 また、以下の処理も行えます。

- 〇<u>リレー機能</u>を使用して、登録した生産予定をもとに生産伝票の登録
- 〇引当処理による生産で使用する部品の予約(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- 〇<u>生産予定残</u> (生産伝票ヘリレーしていない生産予定) の管理(『入出荷管理オプション』をお使いの場合)

≪ 関連メニュー ≫

- ・[生産予定]メニュー
- ・[生産予定一覧表]メニュー
- ・[生産予定残一覧表]メニュー
- ・[部品引当状況確認]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- ・<u>[部品引当場所リスト]メニュー</u> (『入出荷管理オプション』『ロット管理オプション』を お使いの場合)
 - ※[生産予定]メニューに対応する<u>開始No. 登録</u> ・<u>入力権限登録</u> ・<u>汎用データ作成</u> ・<u>汎用 データ受入</u> ・<u>データー括削除</u> メニューも、あわせて追加されています。

● 預り品処理を追加

預り品処理を行うことで、売上は計上済みですが、何らかの先方の理由によって発送せずに預かっている商品を管理できるようになります。

また、以下の処理も行えます。

- ○売上伝票(出荷伝票)をもとに、預り品伝票の登録
- 〇納品書の印刷 (戻しの預り品伝票)

≪ 関連メニュー ≫

- ・[預り品伝票]メニュー
- <u>[預り品受払帳]メニュー</u>
- ・[預り品集計表]メニュー

※[預り品伝票]メニューに対応する<u>開始No. 登録 ・入力権限登録 ・汎用データ作成</u> ・<u>データー括削除</u> メニューも、あわせて追加されています。

● 仮出荷処理を追加

仮出荷処理を行うことで、委託販売などの売上を計上せずに得意先に商品を出荷する業務を管理 できるようになります。

また、以下の処理も行えます。

- 〇<u>リレー機能</u>を使用して、登録した仮出荷伝票をもとに売上伝票の登録
- ○納品書の印刷

≪ 関連メニュー ≫

- ・ [仮出荷伝票] メニュー
- ・[仮出荷受払帳]メニュー
- ・[仮出荷集計表]メニュー

● 仮入荷処理を追加

仮入荷処理を行うことで、受託販売などの仕入れを計上せずに仕入先から商品を入荷する業務を 管理できるようになります。

また、リレー機能を使用して、登録した仮入荷伝票をもとに仕入伝票の登録も行えます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[仮入荷伝票]メニュー
- ・[仮入荷受払帳]メニュー
- ・[仮入荷集計表]メニュー
 - ※[仮入荷伝票]メニューに対応する<u>開始No.登録 ・入力権限登録 ・汎用データ作成</u> ・<u>デ</u> ーター括削除 メニューも、あわせて追加されています。

■ ロットNo. の自動付番機能を追加

<『ロット管理オプション』をお使いの場合>

ロットを新規に登録する際に、ロットNo.を自動的に付番できるようになります。

ロットNo. の開始番号は[開始ロットNo. 登録]メニュー で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[ロット登録]メニュー
- ・[仕入伝票]メニュー
- ・[入荷伝票]メニュー
- ・[生産伝票]メニュー
- ・[分解伝票]メニュー
- [倉庫内振替伝票]メニュー
- ・[倉庫間振替伝票]メニュー

◉ 仕入先別期間単価を追加

[仕入先別期間単価登録]メニュー で、仕入先によってある期間の商品の単価が変更になる場合に、その仕入先と期間に対する商品の単価を設定できるようになります。

● 在庫の管理資料を追加

以下の管理資料を集計できるようになります。

- 〇[出荷集計表]メニュー
- 〇[入荷場所リスト]メニュー (『入出荷管理オプション』をお使いの場合)
- 〇[分解一覧表]メニュー

◉ [必要部品確認]メニューの強化

[必要部品確認]メニュー で、部品の中に構成品がある場合、その構成品の部品の数量を確認できるようになります。

● [自動実行汎用データ受入]メニューのメニュー追加

<『自動実行管理オプション』をお使いの場合> [自動実行汎用データ受入]メニューで、出荷伝票と入荷伝票の汎用データ受入が行えるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[自動実行出荷伝票データ受入]メニュー
- ・[自動実行入荷伝票データ受入]メニュー

商奉行死RP·蔵奉行死RP

機能アップガイド

Ver.1.20





機能追加/改正情報

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

Ver. 1. 20 変更内容

【商奉行V・蔵奉行V共通の機能アップ内容】

奉行:メニューを追加しました。

[運用設定]メニューの画面を変更

マスターの[一括登録]メニューに一括変更機能を追加

[得意先別単価]メニュー・[仕入先別単価]メニューの条件指定画面を変更

伝票の摘要数を追加

奉行21シリーズの汎用データ形式対応

仕訳伝票の発行機能を追加

管理資料の印刷機能を強化

管理資料から複数の伝票を表示できるように変更

コンバートできるデータを追加

汎用データレイアウト集をExcelファイルでの提供に変更

出力帳票一覧をDVD-ROM内に追加

【商奉行Vの機能アップ内容】

契約販売処理を追加

Ver. 1. 20 変更内容の詳細

商奉行Ⅴ・蔵奉行Ⅴ共通の機能アップ内容

● 奉行iメニューを追加しました。

奉行iメニューを追加しました。当メニューを起動すると、「メインメニュー」と「奉行iメニュー」が表示されます。



「奉行iメニュー」は、ご利用いただいている製品に関するサポート時事情報やFAQ、ダウンロード可能なプログラム情報、発送物に関するご案内などを確認できます。

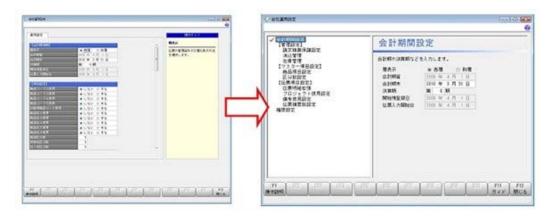
- ※奉行:メニューのご利用には、インターネット接続環境が必要となります。 インターネット接続環境がない場合は、奉行:メニューは表示されません。
- ※製品起動時に奉行(メニューを表示させたくない場合は、[管理ツール]-[利用者設定]メニューの[システム設定]ページで、「製品起動時に奉行(メニューを表示する」のチェックを外します。

● [運用設定]メニューの画面を変更

当システムで管理する情報や機能など、当システムを運用する上で必要な情報を登録する画面が変わります。画面の左側で設定する項目にチェックを付けると、右側に設定する画面が表示されます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[会社運用設定]メニュー
- ・[会社機能設定]メニュー
- ・[コード桁数/項目名称設定]メニュー



■ マスターの[一括登録]メニューに一括変更機能を追加

今までは、複数の商品(得意先・仕入先)に対して、ある項目を同様に修正する場合は、同じ内容を手入力する必要がありました。

今回より、手入力を行わなくても、一括で変更できるようになります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[商品一括登録]メニュー
- ・[得意先一括登録]メニュー
- ・[仕入先一括登録]メニュー

● [得意先別単価登録]メニュー・[仕入先別単価登録]メニューの条件指定画面を変更

今までは、得意先別単価(仕入先別単価)を変更する基準となる得意先(仕入先)及び商品を、単一コードで指定していました。

今回より、基準となる得意先(仕入先)及び商品を、コードで範囲指定できるようになります。



≪ 関連メニュー ≫

- ・[得意先別単価登録]メニュー
- ・[仕入先別単価登録]メニュー
- ・[得意先別単価データ作成]メニュー
- ・[仕入先別単価データ作成]メニュー
- ・[得意先別単価データー括削除]メニュー
- ・[仕入先別単価データー括削除]メニュー

● 伝票の摘要数を追加

各伝票で入力できる摘要数を1~3個から選択できるようになります。 [会社運用設定]メニュー に追加された「伝票摘要数設定」で設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[見積書]メニュー
- ・[受注伝票]メニュー
- ・[売上伝票]メニュー
- ・[契約書登録]メニュー
- ・ [発注伝票] メニュー
- ・ [仕入伝票]メニュー
- ・[個別出荷指示]メニュー

- ・[出荷伝票]メニュー
- ・[個別入荷予定]メニュー
- ・[入荷伝票]メニュー
- [生産伝票]メニュー
- ・ [分解伝票] メニュー
- ・[倉庫内振替伝票]メニュー
- ・[倉庫間振替伝票]メニュー

● 奉行21シリーズの汎用データ形式対応

〇汎用データ作成

商品・得意先・仕入先のデータを『商蔵奉行21』の転送データ形式で出力できるようになります。 「<u>奉行21シリーズの形式で出力する</u>」にチェックを付けます。

≪ 関連メニュー ≫

・マスターデータ作成 (商品・得意先・仕入先)

〇汎用データ受入

『商蔵奉行21』および『商蔵奉行21のオプション製品(ソリューション製品)』で作成した汎用データを『商蔵奉行V』で受け入れできるようになります。 受入データ形式 で選択します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・マスターデータ受入 (商品・得意先・仕入先)
- ・<u>販売データ受入</u> (受注伝票・売上伝票・入金伝票)
- ・仕入データ受入 (発注伝票・仕入伝票・支払伝票)

仕訳伝票の発行機能を追加

登録した<u>入金伝票・支払伝票</u>から仕訳伝票を発行できるようになります。 以下の用紙に印刷できます。

- ○[3381]単票仕訳伝票(OBCコクヨ式)
- ○[3382] 単票仕訳伝票 (OBC7行)



≪ 関連メニュー ≫

- ・[入金伝票]メニュー
- [支払伝票]メニュー

● 管理資料の印刷機能を強化

[印刷設定]ページで設定できる項目が増えます。

〇行間補正機能を追加

行の間隔を「0.00~10.00mm」から選択できるようになります。

〇網掛け印刷時の出力機能を強化

明細ごとに交互に網掛けを行うか、計行の明細に対して網掛けを行うかを選択できるようになります。

〇計行の出力機能を強化

計行を太字で出力したり、計行の後に空白行を挿入するかを選択できるようになります。

● 管理資料から複数の伝票を表示できるように変更

管理資料から伝票にジャンプする際に、一度に複数の伝票を起動できるようになりました。

■ <u>コンパート</u>できるデータを追加

旧製品から『商奉行V』『蔵奉行V』へデータを移行(コンバート)する際に、以下のデータもコンバートできるようになります。

- 〇契約書
- ○『入金消込』『支払消込』の消込情報

● 汎用データレイアウト集をExcelファイルでの提供に変更

今まで汎用データレイアウト集はPDFファイルで提供していました。 今回より、Excelファイルで提供するようになります。

社内用に加工される際などに、ご利用ください。

■ 出力帳票一覧をDVD-ROM内に追加

今回より、DVD-ROM内に「出力帳票一覧」を追加しています。

製品から出力される帳票イメージを、コンピュータ上で確認できるようになります。

DVD-ROM内の[出力帳票一覧]フォルダを開き、その中の「出力帳票一覧.html」をダブルクリックして確認します。

商奉行∨の機能アップ内容

● 契約販売処理を追加

契約販売処理とは、定期的に同一の売上伝票を作成する処理です。

契約販売処理を行うことで、売上伝票の入力の手間を省いたり、入力ミスなどを防げます。

〇[契約書登録]メニュー

定期的に作成する売上内容を「契約書」として登録します。

O[契約売上データ作成]メニュー

契約書をもとに、一括で売上処理(売上伝票 の作成)を行います。

※[契約書登録]メニューに対応する<u>開始No. 登録 ・入力権限登録 ・汎用データ作成 ・汎用データ受</u> 入 ・<u>データー括削除</u> メニューも、あわせて追加されています。